

項目別業務実績評価

<評価凡例>  
 S 計画に対し十分に取組み、顕著な成果が得られている。 A 計画に対し十分に取組み、成果が得られている。  
 B 計画に対し十分に取組んでいる。 C 計画に対する取組みは十分ではない。

中期計画		第1 県民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置					
中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価	
						暫定	説明
<b>前文</b> 地方独立行政法人静岡県立病院機構(以下「県立病院機構」という。)は、平成21年度の法人設立以降、県立3病院(県立総合病院、県立こころの医療センター、県立こども病院)を運営し、他の医療機関では対応困難な高度・専門医療等の提供をはじめ、救急医療や災害時医療の提供、公的医療機関への医師派遣など、本県の政策医療を担う重要な役割を果たし、地域医療の確保に貢献してきました。 平成26年度から平成30年度までの第2期中期目標期間においては、地方独立行政法人制度の特徴を活かした病院運営を行い、県立総合病院における先端医学棟の開棟をはじめ、先進的な医療施設の整備及び医療機器の導入など、医療の質の向上とその提供体制づくりに取り組んでいます。 また、経営面においても、設立以降毎年度経常収支黒字を達成しており、健全な病院運営が続いております。 医療の高度化や医療ニーズの多様化が進む一方で、超高齢社会が到来し、平成37年には全ての団塊世代が75歳以上となることから、平成37年における医療提供体制を確保するため、県では「信頼と根拠に基づく最適な医療を安全に提供する」ことを診療の基本姿勢に据え、本県医療の規範となるべく医療の提供に2 本県の地域医療を支える最後の砦たることを目指し、他の医療機関では対応困難な高度又は特殊な医療などの政策医療や不採算医療の提供に一層取り組むこと、3 医師の確保及び育成に努めるとともに、地域医療を担う公的医療機関への医師派遣を行うこと、また、県との協働により、本県の医師確保対策に「市町村」と連携し、様々な領域において医療の質の向上を目指した先駆的な取組に挑戦し、成果を上げること、これらの成果を情報発信し、県民や他の医療機関と共有すること、5 医療水準の向上及び医療人材の確保を目指し、臨床研究に取り組むこと、また、県立総合病院のリサーチサポートセンターは、第3期中期計画期間の最終年である5年目を迎えるにあたり、引き続き「第一級の病院」、「地域医療支援の中心的機能」など、中期目標において求められている役割を果たしていくことを最優先課題として取り組んでいく。 このため、積極的な人材確保、環境改善及び医療の質の向上、地域医療機関との更なる連携、業務量に基づく収支計画、法人の特色を活かした経営の効率化、将来を見据えた資本整備、経常収支比率100%の達成を念頭に、令和5年度重点事業、予算・収支計画・資金計画等を以下のとおり定める。							
<b>第1 中期目標の期間</b> 平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。	<b>第1 中期計画の期間</b> 平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。	- -		- -	- -		
<b>第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項</b>	<b>第2 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する事項</b>	<b>第1 県民に対して提供する医療サービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</b>					

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																	
						暫定	説明																																																
	県立病院では、県民の医療需要に的確に対応し、安全で質の高い医療の提供を図る。このためには、医療の品質管理が必要である。この医療の質を向上させるため、定量的目標を定め、適切な医療の提供を行い、県立病院にふさわしい優秀な人材の確保と育成、医療に関する調査及び研究、地域への支援、県民の安心、安全を守るための災害等における医療救護体制の整備に努める。																																																						
<b>1 医療の提供</b> 医療機関として求められる基本的な診療理念や県立病院が担う医療を明確にし、他の医療機関との機能分担や連携のもと、医療の質の向上に努め、患者や家族、地域から信頼される医療を提供すること。	<b>1 医療の提供</b> 県立病院機構の職員は、県立病院が担う役割と責任を認識するとともに、医療機関に求められる基本的な診療理念を理解し、医療の提供に当たってはそれを実践する。	<b>1 医療の提供</b>																																																					
(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者が最良の治療効果を得られるよう、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく最適な医療を患者への十分な説明と同意のもとに安全に提供すること。	(1) 基本的な診療理念 診療に当たっては、患者自らが選択し納得できるよう、患者への十分な説明など、患者との信頼関係の構築に努め、科学的根拠に基づく医療を安全に提供するため、医療技術の向上、チーム医療の推進、医療安全対策の充実などに取り組む。	(1) 基本的な診療理念 各県立病院は、患者が選択し納得できる最良の医療を提供するため、次の事項等に取り組む。 ①患者への十分な説明と同意の徹底 ②医療技術の向上 ③チーム医療の推進 ④医療安全対策の充実 ⑤患者満足度(入院・外来)の向上	-	-	-	-	-																																																
			1	①患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施する。	各病院 セカンドオピニオン数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>115</td> <td>90</td> <td>112</td> <td>114</td> <td>114</td> <td>82</td> <td>44</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>58</td> <td>58</td> <td>48</td> <td>74</td> <td>48</td> <td>45</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> セカンドオピニオン情報提供料算定件数(総合) (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>診療情報提供料(I)</td> <td>145</td> <td>150</td> <td>116</td> <td>116</td> <td>111</td> <td>116</td> <td>77</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	115	90	112	114	114	82	44	こころ	-	-	-	-	-	-	-	こども	58	58	48	74	48	45	16	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	診療情報提供料(I)	145	150	116	116	111	116	77	A	令和5年度についても、患者の適切な医療が受けられる権利を尊重し、セカンドオピニオンを実施した。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																
総合	115	90	112	114	114	82	44																																																
こころ	-	-	-	-	-	-	-																																																
こども	58	58	48	74	48	45	16																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																
診療情報提供料(I)	145	150	116	116	111	116	77																																																
			2	①②③運用実績などのエビデンスに基づくクリニカルパスの新規作成や見直しを行う。	総合 クリニカルパス管理委員会において、新規作成及び修正に係る審議、承認を行った。  クリニカルパスの新規作成、適用率等実績 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新規作成(件)</td> <td>15</td> <td>34</td> <td>9</td> <td>23</td> <td>17</td> <td>4</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>修正(件)</td> <td>130</td> <td>253</td> <td>103</td> <td>225</td> <td>66</td> <td>70</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>適用率(%)</td> <td>62.6</td> <td>63.3</td> <td>63.9</td> <td>68.3</td> <td>68.8</td> <td>68.2</td> <td>※ 75.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	新規作成(件)	15	34	9	23	17	4	5	修正(件)	130	253	103	225	66	70	11	適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.2	※ 75.0	A	クリニカルパスに関する運用・管理について、医療の質の向上や業務の効率化に繋がるよう、医療従事者が定期的に議論を行った。令和5年度は電子カルテの更新に伴い、パスの修正増加に向けた、患者の状態変化における評価・統計等の分析が容易となるBOMを導入し、また、計算方法の見直しを実施した。 ※BOM: 日本クリニカルパス学会の患者アウトカム用語基本マスター																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																
新規作成(件)	15	34	9	23	17	4	5																																																
修正(件)	130	253	103	225	66	70	11																																																
適用率(%)	62.6	63.3	63.9	68.3	68.8	68.2	※ 75.0																																																
			3	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、精神科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	各病院 令和4年度末現在 稼働クリニカルパス 4件 (m-ECT、転倒転落、鑑定入院、クロザピン) 稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4	4	A	令和5年9月現在、4件のクリニカルパスを導入済みである。医療の質の向上や業務の効率化に繋がるよう医療従事者が定期的に議論を行っており、今後必要に応じ新規のクリニカルパス作成もしくは既存クリニカルパスの見直しを行い、患者の負担軽減に努め、より良い医療を提供していく。																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																
稼働クリニカルパス	4	4	4	4	4	4	4																																																
			4	①②③入院における患者の負担軽減及び計画的でわかりやすい医療を提供するため、小児科に適したクリニカルパスを作成し導入する。	各病院 稼働クリニカルパス件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働クリニカルパス</td> <td>48</td> <td>51</td> <td>51</td> <td>52</td> <td>61</td> <td>54</td> <td>57</td> </tr> </tbody> </table> ※令和3年度は病棟工事に伴い、一時的に稼働させたクリニカルパスがあり件数が増加した。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	54	57	A	令和4年度に、次年度の電子カルテ更新を見据えてクリニカルパスの見直しを行った結果、令和5年度から新規で稼働させたパスがあり、令和5年度は前年度に比べ件数が増加している。																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																
稼働クリニカルパス	48	51	51	52	61	54	57																																																

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																	
						暫定	説明																																																																																																																																																																																																																																
			5	③チーム医療を推進し、多職種による病院横断的な活動を通して、質の高い医療を提供する。	<p>チーム医療の推進(カンファレンスの限外) 5年度9月末時点</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>チーム名</th> <th>開催頻度</th> <th>所属職種</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>2回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>隔週1回</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>抗生物質適正使用支援チーム</td> <td>毎日</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、臨床工学科、理学療法士</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師</td> </tr> <tr> <td>精神科リエゾンチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>排泄管理予防支援チーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>排尿ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">こころ</td> <td>嚥下対策チーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、言語聴覚士、栄養士</td> </tr> <tr> <td>認知症対策チーム</td> <td>週1回</td> <td>医師、看護師、理学療法士、社会福祉士</td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>隔週1回</td> <td>医師、看護師、薬剤師、栄養士</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>1回/月</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">子ども</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>随時</td> <td>医師、看護師、臨床検査技師等</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>隔週1回</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>1回/週</td> <td>医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士</td> </tr> <tr> <td>リハビリテーション</td> <td>随時</td> <td>医師、看護師、理学療法士等</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="7">チーム医療に対する診療報酬上の評価加算の状況 (単位:千円)</th> </tr> <tr> <th>病院</th> <th>項目</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">総合</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>1,345</td> <td>1,154</td> <td>904</td> <td>1,246</td> <td>1,092</td> <td>879</td> <td>596</td> </tr> <tr> <td>感染制御チーム</td> <td>75,792</td> <td>93,168</td> <td>92,879</td> <td>86,309</td> <td>86,701</td> <td>123,703</td> <td>61,851</td> </tr> <tr> <td>抗生物質適正使用支援チーム</td> <td>-</td> <td>15,985</td> <td>19,122</td> <td>17,563</td> <td>17,643</td> <td>-</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>褥瘡対策チーム</td> <td>3,905</td> <td>4,815</td> <td>2,082</td> <td>755</td> <td>1,630</td> <td>2,543</td> <td>805</td> </tr> <tr> <td>呼吸ケアチーム</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>133</td> <td>224</td> <td>129</td> <td>59</td> <td>59</td> </tr> <tr> <td>認知症ケアチーム</td> <td>6,248</td> <td>4,460</td> <td>4,450</td> <td>4,445</td> <td>4,297</td> <td>4,310</td> <td>1,941</td> </tr> <tr> <td>精神科リエゾンチーム</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1,743</td> <td>2,316</td> <td>4,164</td> <td>4,852</td> <td>2,210</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>-</td> <td>3,163</td> <td>20,389</td> <td>17,965</td> <td>20,606</td> <td>18,704</td> <td>8,908</td> </tr> <tr> <td>排泄管理予防支援チーム</td> <td>263</td> <td>303</td> <td>996</td> <td>431</td> <td>235</td> <td>163</td> <td>147</td> </tr> <tr> <td>排尿ケアチーム</td> <td>2</td> <td>200</td> <td>212</td> <td>288</td> <td>258</td> <td>250</td> <td>257</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">こころ</td> <td>嚥下対策チーム</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>108</td> </tr> <tr> <td>認知症対策チーム</td> <td>87,614</td> <td>123,456</td> <td>116,889</td> <td>101,561</td> <td>137,123</td> <td>154,622</td> <td>77,641</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>380</td> <td>322</td> <td>365</td> <td>290</td> <td>347</td> <td>344</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>380</td> <td>352</td> <td>365</td> <td>290</td> <td>347</td> <td>344</td> <td>270</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">子ども</td> <td>栄養サポートチーム</td> <td>-</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>40</td> <td>20</td> <td>34</td> <td>54</td> </tr> <tr> <td>感染防止対策チーム</td> <td>19,890</td> <td>37,610</td> <td>27,465</td> <td>25,990</td> <td>23,960</td> <td>29,540</td> <td>14,989</td> </tr> <tr> <td>緩和ケアチーム</td> <td>2,725</td> <td>2,200</td> <td>1,332</td> <td>2,550</td> <td>2,470</td> <td>2,290</td> <td>893</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>56,527</td> <td>52,394</td> <td>58,834</td> <td>59,137</td> <td>72,397</td> <td>71,689</td> <td>38,519</td> </tr> </tbody> </table>	区分	チーム名	開催頻度	所属職種	総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師	感染制御チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	抗生物質適正使用支援チーム	毎日	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士	呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学科、理学療法士	認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師	精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士	排泄管理予防支援チーム	1回/週	医師、看護師、栄養士	排尿ケアチーム	1回/週	医師、看護師	こころ	嚥下対策チーム	1回/週	医師、看護師、言語聴覚士、栄養士	認知症対策チーム	週1回	医師、看護師、理学療法士、社会福祉士	感染制御チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、栄養士	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	子ども	栄養サポートチーム	随時	医師、看護師、臨床検査技師等	感染防止対策チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士	リハビリテーション	随時	医師、看護師、理学療法士等	チーム医療に対する診療報酬上の評価加算の状況 (単位:千円)							病院	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	904	1,246	1,092	879	596	感染制御チーム	75,792	93,168	92,879	86,309	86,701	123,703	61,851	抗生物質適正使用支援チーム	-	15,985	19,122	17,563	17,643	-	-	褥瘡対策チーム	3,905	4,815	2,082	755	1,630	2,543	805	呼吸ケアチーム	0	0	133	224	129	59	59	認知症ケアチーム	6,248	4,460	4,450	4,445	4,297	4,310	1,941	精神科リエゾンチーム	-	-	1,743	2,316	4,164	4,852	2,210	緩和ケアチーム	-	3,163	20,389	17,965	20,606	18,704	8,908	排泄管理予防支援チーム	263	303	996	431	235	163	147	排尿ケアチーム	2	200	212	288	258	250	257	こころ	嚥下対策チーム	-	-	-	-	-	-	108	認知症対策チーム	87,614	123,456	116,889	101,561	137,123	154,622	77,641	感染防止対策チーム	380	322	365	290	347	344	270	計	380	352	365	290	347	344	270	子ども	栄養サポートチーム	-	2	8	40	20	34	54	感染防止対策チーム	19,890	37,610	27,465	25,990	23,960	29,540	14,989	緩和ケアチーム	2,725	2,200	1,332	2,550	2,470	2,290	893	計	56,527	52,394	58,834	59,137	72,397	71,689	38,519	S	<p>SARS-CoV-2(以下、「新型コロナウイルス」という。)感染症への対応のため、各部署の医師、看護師等の多職種による院内感染対策のチームを創設し、感染防止の取組、情報収集などを行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症が5類に分類された後も、各病院では引き続き、新型コロナウイルス感染症対応時には、当該チームが各種感染症への対応を行っている。</p> <p>また、令和5年度の精神科医師の着任以降、緩和ケアチーム及び精神科リエゾンチームによる診療報酬上の評価加算が高い水準で推移しており、収益面においても大きく貢献している。</p> <p>令和5年度は、精神科リエゾンチーム及び認知症ケアチームが中心となって認知症や精神科患者の身体合併症等に対して適切な医療を提供できる体制を整備し、精神科病棟(精神科身体合併症病棟)を開棟し運用を開始した。</p> <p>これにより、精神疾患及び身体疾患への専門治療を同時に提供することが可能となり、患者の精神的負担と身体的負担が軽減された。</p>
区分	チーム名	開催頻度	所属職種																																																																																																																																																																																																																																				
総合	栄養サポートチーム	2回/週	医師、看護師、薬剤師、栄養士、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																				
	感染制御チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																				
	抗生物質適正使用支援チーム	毎日	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																				
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	呼吸ケアチーム	1回/週	医師、看護師、臨床工学科、理学療法士																																																																																																																																																																																																																																				
	認知症ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、社会福祉士、公認心理師																																																																																																																																																																																																																																				
	精神科リエゾンチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師																																																																																																																																																																																																																																				
	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、公認心理師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	排泄管理予防支援チーム	1回/週	医師、看護師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	排尿ケアチーム	1回/週	医師、看護師																																																																																																																																																																																																																																				
こころ	嚥下対策チーム	1回/週	医師、看護師、言語聴覚士、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	認知症対策チーム	週1回	医師、看護師、理学療法士、社会福祉士																																																																																																																																																																																																																																				
	感染制御チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	褥瘡対策チーム	1回/月	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																				
子ども	栄養サポートチーム	随時	医師、看護師、臨床検査技師等																																																																																																																																																																																																																																				
	感染防止対策チーム	隔週1回	医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師																																																																																																																																																																																																																																				
	緩和ケアチーム	1回/週	医師、看護師、薬剤師、臨床心理士、栄養士																																																																																																																																																																																																																																				
	リハビリテーション	随時	医師、看護師、理学療法士等																																																																																																																																																																																																																																				
チーム医療に対する診療報酬上の評価加算の状況 (単位:千円)																																																																																																																																																																																																																																							
病院	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																																																															
総合	栄養サポートチーム	1,345	1,154	904	1,246	1,092	879	596																																																																																																																																																																																																																															
	感染制御チーム	75,792	93,168	92,879	86,309	86,701	123,703	61,851																																																																																																																																																																																																																															
	抗生物質適正使用支援チーム	-	15,985	19,122	17,563	17,643	-	-																																																																																																																																																																																																																															
	褥瘡対策チーム	3,905	4,815	2,082	755	1,630	2,543	805																																																																																																																																																																																																																															
	呼吸ケアチーム	0	0	133	224	129	59	59																																																																																																																																																																																																																															
	認知症ケアチーム	6,248	4,460	4,450	4,445	4,297	4,310	1,941																																																																																																																																																																																																																															
	精神科リエゾンチーム	-	-	1,743	2,316	4,164	4,852	2,210																																																																																																																																																																																																																															
	緩和ケアチーム	-	3,163	20,389	17,965	20,606	18,704	8,908																																																																																																																																																																																																																															
	排泄管理予防支援チーム	263	303	996	431	235	163	147																																																																																																																																																																																																																															
	排尿ケアチーム	2	200	212	288	258	250	257																																																																																																																																																																																																																															
こころ	嚥下対策チーム	-	-	-	-	-	-	108																																																																																																																																																																																																																															
	認知症対策チーム	87,614	123,456	116,889	101,561	137,123	154,622	77,641																																																																																																																																																																																																																															
	感染防止対策チーム	380	322	365	290	347	344	270																																																																																																																																																																																																																															
	計	380	352	365	290	347	344	270																																																																																																																																																																																																																															
子ども	栄養サポートチーム	-	2	8	40	20	34	54																																																																																																																																																																																																																															
	感染防止対策チーム	19,890	37,610	27,465	25,990	23,960	29,540	14,989																																																																																																																																																																																																																															
	緩和ケアチーム	2,725	2,200	1,332	2,550	2,470	2,290	893																																																																																																																																																																																																																															
	計	56,527	52,394	58,834	59,137	72,397	71,689	38,519																																																																																																																																																																																																																															
			6	④医療安全室及び感染対策委員会等を中心に、マニュアルの見直しや研修会を通じて院内感染防止対策・医療安全対策を実施する。	<p>3病院で、以下のとおり研修等を実施し安全・安心な医療の提供に対する職員への意識づけと、体制整備を行っている。</p> <p>医療安全対策、院内感染対策研修等</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="5">集団感染数(件)</th> <th colspan="2">院内感染対策研修</th> <th colspan="2">医療安全対策研修</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>研修数(回)</th> <th>参加者数(人)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>24</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>1,741</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>156</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>114</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>27</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>2,011</td> </tr> </tbody> </table> <p>※院内感染対策研修・医療安全対策研修ともに法定回数(2回)</p>	区分	集団感染数(件)					院内感染対策研修		医療安全対策研修		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	研修数(回)	参加者数(人)	総合	0	0	1	0	1	24	4	2	1,741	こころ	0	1	0	0	0	0	0	1	156	子ども	3	4	0	1	0	3	2	1	114	計	3	5	1	1	1	27	6	4	2,011	A	<p>各病院では、感染対策委員会や医療安全委員会を行う他、研修についても法定回数を上回る実績を積み重ねている等、継続的な対策研修の実施体制が確立している。</p> <p>令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の院内感染対策として、感染対策室を中心としたチームが感染防止に関する取組や情報収集などを担い、県との調整のうえ患者の受入を適切に行っている。</p>																																																																																																																																																																					
区分	集団感染数(件)						院内感染対策研修		医療安全対策研修																																																																																																																																																																																																																														
	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	研修数(回)	参加者数(人)																																																																																																																																																																																																																														
総合	0	0	1	0	1	24	4	2	1,741																																																																																																																																																																																																																														
こころ	0	1	0	0	0	0	0	1	156																																																																																																																																																																																																																														
子ども	3	4	0	1	0	3	2	1	114																																																																																																																																																																																																																														
計	3	5	1	1	1	27	6	4	2,011																																																																																																																																																																																																																														
			7	④⑤固定チームナーシングによる看護提供を行うことで、看護の継続性を図り、患者の安心を高める。	<p>「患者様の声」の推移(看護師) (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ご意見</td> <td>92</td> <td>85</td> <td>81</td> <td>53</td> <td>79</td> <td>85</td> <td>39</td> </tr> <tr> <td>感謝</td> <td>28</td> <td>29</td> <td>40</td> <td>34</td> <td>37</td> <td>44</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> <p>患者満足度調査 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> <td>99.0</td> <td>集計中</td> <td>90以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	ご意見	92	85	81	53	79	85	39	感謝	28	29	40	34	37	44	25	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	99.0	集計中	90以上	A	<p>令和5年度の看護師に対する「患者様の声」の件数は、前年度に比べて感謝の件数の増がご意見の増より上回る見込である。</p> <p>今後も寄せられた意見を参考に質の高い看護を提供できるよう努める。</p>																																																																																																																																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																																																																
ご意見	92	85	81	53	79	85	39																																																																																																																																																																																																																																
感謝	28	29	40	34	37	44	25																																																																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																																																																																																																																															
入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	99.0	集計中	90以上																																																																																																																																																																																																																															
			8	⑤患者の視点に立った質の高い医療の提供を目指し、患者満足度調査を行い、患者満足度の改善につなげる。	<p>患者満足度調査 (単位:%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>入院</td> <td>98.2</td> <td>98.9</td> <td>98.0</td> <td>98.2</td> <td>97.6</td> <td>99.0</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>94.0</td> <td>94.3</td> <td>93.6</td> <td>94.3</td> <td>95.6</td> <td>95.9</td> <td>集計中</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>入院</td> <td>94.4</td> <td>91.0</td> <td>95.7</td> <td>92.7</td> <td>100.0</td> <td>92.3</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>94.4</td> <td>91.0</td> <td>95.7</td> <td>92.7</td> <td>100.0</td> <td>92.3</td> <td>集計中</td> <td>85以上</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>入院</td> <td>97.5</td> <td>95.7</td> <td>98.0</td> <td>95.3</td> <td>100.0</td> <td>95.0</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>99.3</td> <td>98.9</td> <td>98.1</td> <td>96.5</td> <td>97.3</td> <td>100.0</td> <td>集計中</td> <td>90以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	総合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	99.0	90以上	外来	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6	95.9	集計中	85以上	こころ	入院	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	92.3	85以上	外来	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	92.3	集計中	85以上	子ども	入院	97.5	95.7	98.0	95.3	100.0	95.0	90以上	外来	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3	100.0	集計中	90以上	-	<p>各病院の満足度は令和4年度まで高い水準を維持している。</p> <p>令和5年度についても各病院で患者満足度の向上に努めているが、満足度調査は9月末時点で実施中である。</p>																																																																																																																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																																																																																																																																															
総合	入院	98.2	98.9	98.0	98.2	97.6	99.0	90以上																																																																																																																																																																																																																															
外来	94.0	94.3	93.6	94.3	95.6	95.9	集計中	85以上																																																																																																																																																																																																																															
こころ	入院	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	92.3	85以上																																																																																																																																																																																																																															
外来	94.4	91.0	95.7	92.7	100.0	92.3	集計中	85以上																																																																																																																																																																																																																															
子ども	入院	97.5	95.7	98.0	95.3	100.0	95.0	90以上																																																																																																																																																																																																																															
外来	99.3	98.9	98.1	96.5	97.3	100.0	集計中	90以上																																																																																																																																																																																																																															

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																															
						暫定	説明																																																																																																														
(2) 県立病院が担う役割 他の医療機関では対応困難な高度・特殊医療など、県の保健医療施策として求められている医療を誠実に提供するとともに、地域連携に努め、県内医療機関の中核病院としての役割を果たすこと。また、医療技術の進展等に対応し、高度・専門医療等の更なる充実・強化に努めること。	(2) 県立病院が担う役割 他の医療機関では対応困難な高度・専門・特殊医療が確実に提供できるように、先進的技術・治療法の導入に努める。情報通信技術を活用した医療連携や疾患ごとの地域連携を推進する。 県内医療機関の中核病院として、緊急時における後方病床の確保や人材育成などの支援体制の整備を行うとともに、地域の医療機関との機能分担や紹介率・逆紹介率の向上により、地域連携の強化を図る。  【目標値】 ・紹介率(総合、こころ、こども) ・逆紹介率(総合、こころ、こども)	(2) 県立病院が担う役割 県内の中核病院として高度・専門・特殊医療を提供するため、地域の医療機関との機能分担を推進し、地域の医療機関との連携を強化する。 ①紹介・逆紹介の推進 ②地域連携クリニカルパスの推進 ③かかりつけ医との診療情報の共有化の推進 ④ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル(ふじのくにねっと)の推進	-	-	-	-	-																																																																																																														
						9	①かかりつけ医との連携により、機能分担体制を推進する。 地域の医療機関との連携強化を図る	総合	紹介率・逆紹介率実績 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>90.6</td> <td>92.7</td> <td>92.4</td> <td>93.8</td> <td>93.5</td> <td>91.3</td> <td>91.8</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>175.5</td> <td>171.3</td> <td>174.7</td> <td>195.4</td> <td>200.3</td> <td>188.2</td> <td>169.5</td> <td>175以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	紹介率	90.6	92.7	92.4	93.8	93.5	91.3	91.8	90以上	逆紹介率	175.5	171.3	174.7	195.4	200.3	188.2	169.5	175以上	B	紹介先・逆紹介先となる地域のクリニックとの情報共有、広報及び訪問等を積極的に行って連携強化に努めた結果、紹介率を維持することができた。逆紹介率については、当院より患者紹介を積極的にを行い、向上に努める。																																																																															
						区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																							
						紹介率	90.6	92.7	92.4	93.8	93.5	91.3	91.8	90以上																																																																																																							
逆紹介率	175.5	171.3	174.7	195.4	200.3	188.2	169.5	175以上																																																																																																													
10	①地域の医療機関との連携を強化し、医療支援体制や救急・急性期、重症患者の受入など連携・機能分担体制を推進する。	各病院	紹介率・逆紹介率実績 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>56.3</td> <td>51.0</td> <td>56.1</td> <td>51.2</td> <td>45.6</td> <td>53.6</td> <td>51.6</td> <td>57以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>28.6</td> <td>37.0</td> <td>33.7</td> <td>30.1</td> <td>25.2</td> <td>26.9</td> <td>27.6</td> <td>30以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	紹介率	56.3	51.0	56.1	51.2	45.6	53.6	51.6	57以上	逆紹介率	28.6	37.0	33.7	30.1	25.2	26.9	27.6	30以上	B	紹介率・逆紹介率ともに目標値には達していないものの、逆紹介率については前年度実績を上回っている。																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																													
紹介率	56.3	51.0	56.1	51.2	45.6	53.6	51.6	57以上																																																																																																													
逆紹介率	28.6	37.0	33.7	30.1	25.2	26.9	27.6	30以上																																																																																																													
11	①地域の医療機関との機能分担を推進するため、紹介予約制を維持するとともに、積極的に逆紹介を行う。	各病院	紹介率・逆紹介率実績 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>94.1</td> <td>92.6</td> <td>90.9</td> <td>90.7</td> <td>91.1</td> <td>91.1</td> <td>89.1</td> <td>94以上</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>46.5</td> <td>43.7</td> <td>47.7</td> <td>44.8</td> <td>46.2</td> <td>61.4</td> <td>43.7</td> <td>53以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	紹介率	94.1	92.6	90.9	90.7	91.1	91.1	89.1	94以上	逆紹介率	46.5	43.7	47.7	44.8	46.2	61.4	43.7	53以上	B	令和5年度は、紹介率については前年度並の数値で推移している。一方で、逆紹介率については、令和4年度に目標を達成したが、令和5年度は令和3年度並の数値で推移している。今後はより一層、地域医療機関との連携強化等を図っていく。																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																													
紹介率	94.1	92.6	90.9	90.7	91.1	91.1	89.1	94以上																																																																																																													
逆紹介率	46.5	43.7	47.7	44.8	46.2	61.4	43.7	53以上																																																																																																													
12	②心疾患、脳卒中、がん、慢性腎臓病、大腿骨頸部骨折等の地域連携クリニカルパスを活用し、かかりつけ医やリハビリテーション病院との機能分担を推進する。	総合	地域連携クリニカルパス (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>脳 卒 中</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>49</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>大 腿 骨 頸 部 骨 折</td> <td>82</td> <td>57</td> <td>82</td> <td>104</td> <td>90</td> <td>85</td> <td>43</td> </tr> <tr> <td>腎 臓 病</td> <td>81</td> <td>81</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>55</td> <td>51</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>心 臓 病</td> <td>109</td> <td>84</td> <td>152</td> <td>102</td> <td>152</td> <td>138</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>乳 が ん</td> <td>191</td> <td>105</td> <td>128</td> <td>102</td> <td>116</td> <td>103</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>前 立 腺 が ん</td> <td>9</td> <td>10</td> <td>16</td> <td>20</td> <td>35</td> <td>43</td> <td>29</td> </tr> <tr> <td>虚 血 性 心 疾 患</td> <td>142</td> <td>92</td> <td>73</td> <td>67</td> <td>33</td> <td>32</td> <td>9</td> </tr> <tr> <td>心 房 細 動 脈 症</td> <td>1</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>慢 性 腎 臓 病</td> <td>25</td> <td>43</td> <td>40</td> <td>29</td> <td>25</td> <td>31</td> <td>25</td> </tr> <tr> <td>肺 が ん</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>肝 が ん</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>胆 嚢 性 大 腸 炎</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>682</td> <td>561</td> <td>605</td> <td>578</td> <td>585</td> <td>537</td> <td>252</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	脳 卒 中	42	62	83	102	92	49	4	大 腿 骨 頸 部 骨 折	82	57	82	104	90	85	43	腎 臓 病	81	81	55	51	55	51	25	心 臓 病	109	84	152	102	152	138	29	乳 が ん	191	105	128	102	116	103	48	前 立 腺 が ん	9	10	16	20	35	43	29	虚 血 性 心 疾 患	142	92	73	67	33	32	9	心 房 細 動 脈 症	1	7	4	1	2	1	0	慢 性 腎 臓 病	25	43	40	29	25	31	25	肺 が ん	0	0	2	0	0	0	0	肝 が ん	0	0	0	0	0	0	0	胆 嚢 性 大 腸 炎	0	0	0	0	0	0	0	計	682	561	605	578	585	537	252	A	令和5年度も、地域の医療機関等との連携により、地域連携クリニカルパスの適用を推進し、円滑な運用に努めた。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																														
脳 卒 中	42	62	83	102	92	49	4																																																																																																														
大 腿 骨 頸 部 骨 折	82	57	82	104	90	85	43																																																																																																														
腎 臓 病	81	81	55	51	55	51	25																																																																																																														
心 臓 病	109	84	152	102	152	138	29																																																																																																														
乳 が ん	191	105	128	102	116	103	48																																																																																																														
前 立 腺 が ん	9	10	16	20	35	43	29																																																																																																														
虚 血 性 心 疾 患	142	92	73	67	33	32	9																																																																																																														
心 房 細 動 脈 症	1	7	4	1	2	1	0																																																																																																														
慢 性 腎 臓 病	25	43	40	29	25	31	25																																																																																																														
肺 が ん	0	0	2	0	0	0	0																																																																																																														
肝 が ん	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																														
胆 嚢 性 大 腸 炎	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																														
計	682	561	605	578	585	537	252																																																																																																														
13	③④地域医療ネットワークシステムを整備・活用する。	各病院	ネットワーク実績 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開示施設数</td> <td>18</td> <td>17</td> <td>16</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> <tr> <td>開示件数(累計)</td> <td>24,375</td> <td>28,732</td> <td>33,400</td> <td>38,366</td> <td>44,142</td> <td>52,030</td> <td>55,711</td> </tr> <tr> <td>開示件数(新規)</td> <td>4,580</td> <td>4,357</td> <td>4,668</td> <td>4,966</td> <td>5,776</td> <td>7,888</td> <td>3,741</td> </tr> <tr> <td>参照施設数</td> <td>134</td> <td>126</td> <td>118</td> <td>123</td> <td>129</td> <td>129</td> <td>127</td> </tr> <tr> <td>病院</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>15</td> <td>16</td> <td>16</td> <td>16</td> </tr> <tr> <td>診療所</td> <td>78</td> <td>76</td> <td>72</td> <td>73</td> <td>77</td> <td>73</td> <td>77</td> </tr> <tr> <td>医療薬局</td> <td>81</td> <td>87</td> <td>85</td> <td>29</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>介護療養施設</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>介護福祉施設</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table> <p>「ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル」について、情報の開示施設である各地域の中核病院、自治体病院、診療所・医師会とともに「ふじのくにパーチャル・メガ・ホスピタル協議会」を運営し、複数医療機関相互の診療情報共有のため広域ネットワーク基盤を構築して運用している。</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	開示施設数	18	17	16	19	19	20	20	開示件数(累計)	24,375	28,732	33,400	38,366	44,142	52,030	55,711	開示件数(新規)	4,580	4,357	4,668	4,966	5,776	7,888	3,741	参照施設数	134	126	118	123	129	129	127	病院	13	13	13	15	16	16	16	診療所	78	76	72	73	77	73	77	医療薬局	81	87	85	29	31	31	30	介護療養施設	9	8	7	5	4	3	3	介護福祉施設	2	2	1	1	1	1	1	A	医療機関を標的としたサイバー攻撃が発生していることから、開示施設と協力してネットワーク遮断の初動訓練を実施し、ふじのくにねっとのセキュリティ対策に努めた。																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																														
開示施設数	18	17	16	19	19	20	20																																																																																																														
開示件数(累計)	24,375	28,732	33,400	38,366	44,142	52,030	55,711																																																																																																														
開示件数(新規)	4,580	4,357	4,668	4,966	5,776	7,888	3,741																																																																																																														
参照施設数	134	126	118	123	129	129	127																																																																																																														
病院	13	13	13	15	16	16	16																																																																																																														
診療所	78	76	72	73	77	73	77																																																																																																														
医療薬局	81	87	85	29	31	31	30																																																																																																														
介護療養施設	9	8	7	5	4	3	3																																																																																																														
介護福祉施設	2	2	1	1	1	1	1																																																																																																														

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																					
						暫定	説明																																																																																																																																																																				
(3) 県立病院が重点的に取り組む医療  県立総合病院においては、先端医療棟の設備・機能を最大限に活用し、3大疾患(がん、脳血管疾患、心疾患)を中心に高度・専門医療や急性期医療等を提供すること。また、高度救命救急センターの運用による広範囲熱傷等の特殊疾病患者の受入れ等、高度救急医療を継続して提供するほか、広域的な救急医療の提供への対応を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率90%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こころの医療センターにおいては、精神科救急・急性期医療の提供や他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図るほか、多様な精神疾患への対応や早期入院・早期社会復帰を支援する医療提供体制の充実を図ること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率85%以上、外来患者満足度85%以上の達成を目指すこと。 県立こども病院においては、小児重症心疾患患者やハイリスク胎児・妊婦、新生児に対する高度・先進医療を提供すること。また、小児がん拠点病院としての機能強化、高度な小児救急医療の充実及び児童精神分野の医療の充実を図るほか、患者の円滑な退院・在宅移行を支援する体制整備に努めること。 なお、中期目標期間の各事業年度において、病床利用率75%以上、入院患者満足度90%以上、外来患者満足度90%以上の達成を目指すこと。 さらに、県立3病院は、結核、エイズ等の感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療等を提供すること。また、認知症をはじめとした精神科患者の身体合併症、周産期医療における産科合併症以外の合併症及び二次的障害を含む発達障害への対応など、一病院では対応が困難な分野においては、県立3病院のそれぞれの特性を活かし、相互に連携を取り、適切な対応を図ること。 その他、移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題に取り組む。今後の疾病構造や県民の医療ニーズの変化等に対応し、県が求める政策医療に協力すること。また、医療施設や機器の整備については計画的に実施するとともに、県民の医療ニーズの変化や医療技術の進展に応じ、機動的な対応を行うこと。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療  県が掲げる6疾病5事業を念頭に、各県立病院が専門性を活かしつつ、県立病院間や地域の医療機関との連携を強化して、病態に即した的確な医療を提供する。特に、全国的な課題とされている救急医療や急性期医療の充実に重点的に取り組む。  ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。  イ 周産期医療における産科合併症及び脳卒中中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。  ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に着実に取り組む。  特に、SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)など新興感染症については、感染拡大防止のため、県との連携・協力体制を整備し、診療機能の強化に努める。 ・新興感染症について、県と連携・協力して病床を確保するなど拡大防止に対応できる体制を充実し、県の中核病院としての役割を果たす。 【総・子】・腎臓移植、造血幹細胞移植、単角膜片作成(総合病院のみ)等への取組みを継続する。 【子】・アレルギー疾患拠点病院として、講習会の実施等の取組みを継続する。	(3) 県立病院が重点的に取り組む医療  各県立病院は、県が求める政策医療を念頭に、それぞれの特性を生かし、以下の重点的に取り組む。  ア 循環器疾患・がん疾患については、小児は県立こども病院が成人は県立総合病院がそれぞれ県内の中核病院の機能を果たしていく。  イ 周産期医療における産科合併症及び脳卒中中等産科以外の疾患による合併症や精神科患者の身体合併症などについては、各県立病院が連携して取り組む。  ウ 結核指定医療機関、エイズ拠点病院及び難病医療協力病院等として感染症医療や難病医療、移植医療、アレルギー疾患医療に着実に取り組む。  特に、SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)など新興感染症については、感染拡大防止のため、県との連携・協力体制を整備し、診療機能の強化に努める。 ・新興感染症について、県と連携・協力して病床を確保するなど拡大防止に対応できる体制を充実し、県の中核病院としての役割を果たす。 【総・子】・腎臓移植、造血幹細胞移植、単角膜片作成(総合病院のみ)等への取組みを継続する。 【子】・アレルギー疾患拠点病院として、講習会の実施等の取組みを継続する。	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																				
								各病院	児童の措置入院等、こども病院での受入れが困難な場合はこころの医療センターにて受入れている。  周産期医療における搬送実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子ども総合</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>総合こども</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位:人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> <tr> <td>子ども総合</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>こころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位:人)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> <tr> <td>子ども総合</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	子ども総合	7	8	7	3	3	2	3	総合こども	15	13	13	13	9	9	7	こころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位:人)								区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	子ども総合	0	0	1	2	2	3	2	こころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位:人)								区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	子ども総合	4	9	6	4	3	3	3	A	3病院1法人のミットを活かし、患者の搬送、医師の応援体制等病院間の連携協力体制を構築している。 総合病院に常勤の精神科医師を5名配置し、精神科医療体制の構築に向けた連携を実施しており、令和5年度は、精神科患者の身体合併症に対応した病棟を開棟した。 こころの医療センターから総合病院へ医師2名を配置している。入院患者で身体障害を持つ患者の総合病院への搬送は3件行われており、同一機体内の病院間への連携が図られている。 こども病院から総合病院に母体搬送が行われている。同一法人のミットを活かし、搬送時のスムーズな医師の応援派遣や設備の有効活用が図られている。																																																																																								
									区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																											
子ども総合	7	8	7	3	3	2	3																																																																																																																																																																				
総合こども	15	13	13	13	9	9	7																																																																																																																																																																				
こころの医療センターの精神科医師の総合病院への配置状況 (単位:人)																																																																																																																																																																											
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
子ども総合	0	0	1	2	2	3	2																																																																																																																																																																				
こころの医療センターから総合病院への身体合併症による搬送件数 (単位:人)																																																																																																																																																																											
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
子ども総合	4	9	6	4	3	3	3																																																																																																																																																																				
総合	結核病棟は50床で運用している。 エイズ拠点病院としてエイズ患者の受入体制を整えている。  入院患者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エイズ</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>結核</td> <td>108</td> <td>111</td> <td>92</td> <td>95</td> <td>85</td> <td>48</td> <td>24</td> </tr> </tbody> </table> 移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎移植</td> <td>18</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>12</td> <td>10</td> <td>13</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>造血幹細胞移植</td> <td>8</td> <td>17</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>単角膜片作成</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>30</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>26</td> <td>22</td> <td>29</td> <td>12</td> </tr> </tbody> </table> (こども) 造血幹細胞移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>2</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>臍帯血</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>自家末梢血</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>同種末梢血</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> 腎臓移植は、令和2年度以降は行われていない。  アレルギー疾患に関する研修会・講演会開催件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> アレルギー疾患開催実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> 新型コロナウイルス感染症受入体制(令和5年9月末時点) <table border="1"> <thead> <tr> <th>病棟</th> <th>病床数</th> <th>時 期</th> <th>備 考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>24床</td> <td>令和4年12月～</td> <td>6A病棟 最大24床(※令和5年5月より一般病棟で受入れ)</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>4床</td> <td>令和2年4月～</td> <td>2床はスタッフ用(※令和5年5月より解除)</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>8床</td> <td>令和5年7月～</td> <td>PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	エイズ								結核	108	111	92	95	85	48	24	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	腎移植	18	14	17	12	10	13	5	造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	14	7	単角膜片作成	4	2	3	1	0	2	0	計	30	33	34	26	22	29	12	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	骨髄移植	2	5	2	8	3	3	2	臍帯血	1	3	3	2	2	2	1	自家末梢血	7	4	4	1	1	4	1	同種末梢血	0	2	1	1	0	1	1	計	10	14	10	12	6	10	5	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合								こども	4	4	3	2	2	2	2	区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	3	3	3	1	2	2	2	病棟	病床数	時 期	備 考	総合	24床	令和4年12月～	6A病棟 最大24床(※令和5年5月より一般病棟で受入れ)	こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用(※令和5年5月より解除)	こども	8床	令和5年7月～	PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU	A	(総合) 新型コロナウイルス感染症患者の受入について、令和5年5月8日より5類に移行後は、国の方針に基づき、一般病棟での対応を行い、地域の新型コロナウイルス感染症患者の受入を行っている。 結核病棟については、結核病棟を有する病院の多くが新型コロナウイルス感染症病棟へ切り替える状況において、当院は50床を維持し、県内における結核患者の8割以上を受入可能な体制を整えている。 移植については、生体移植を含めた腎移植、造血幹細胞移植、単角膜片作成を実施している。令和5年度も、前年度に引き続き同水準で移植をしている。 (こども) 県の要請により新型コロナウイルス感染症に対応する病床を4床(うち2床をスタッフ用)を整備し、令和2年4月から令和5年5月まで運用していた。なお、令和5年度中の患者受け入れ実績はなかった。 (こども) 新型コロナウイルス感染症に対応するため、令和5年度は8床(PICU1床、MFICU1床、NICU1床、北4病棟3床、CCU2床)を確保し、新型コロナウイルス感染症患者を受け入れた。 今回の日本における新型コロナウイルス感染症パンデミックの経験を踏まえ、第8次静岡県保健医療計画中間見直しにおいて新興・再興感染症対策が追加されたことから、当院が県内小児医療の最後の砦としての役割を果たすべく、県と感染症指定医療機関の指定に向けた調整を行っている。 また、移植医療に関しては、先進的医療である造血幹細胞移植に取り組む。令和4年度実績の推移となっている。 その他、アレルギー疾患に関する県民向け・医療者向けの講習会を実施しており、令和5年度は9月末までに2回開催した。
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
エイズ																																																																																																																																																																											
結核	108	111	92	95	85	48	24																																																																																																																																																																				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
腎移植	18	14	17	12	10	13	5																																																																																																																																																																				
造血幹細胞移植	8	17	14	13	12	14	7																																																																																																																																																																				
単角膜片作成	4	2	3	1	0	2	0																																																																																																																																																																				
計	30	33	34	26	22	29	12																																																																																																																																																																				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
骨髄移植	2	5	2	8	3	3	2																																																																																																																																																																				
臍帯血	1	3	3	2	2	2	1																																																																																																																																																																				
自家末梢血	7	4	4	1	1	4	1																																																																																																																																																																				
同種末梢血	0	2	1	1	0	1	1																																																																																																																																																																				
計	10	14	10	12	6	10	5																																																																																																																																																																				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
総合																																																																																																																																																																											
こども	4	4	3	2	2	2	2																																																																																																																																																																				
区 分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																				
件数	3	3	3	1	2	2	2																																																																																																																																																																				
病棟	病床数	時 期	備 考																																																																																																																																																																								
総合	24床	令和4年12月～	6A病棟 最大24床(※令和5年5月より一般病棟で受入れ)																																																																																																																																																																								
こころ	4床	令和2年4月～	2床はスタッフ用(※令和5年5月より解除)																																																																																																																																																																								
こども	8床	令和5年7月～	PICU、MFICU、NICU、北4病棟、CCU																																																																																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																	
						暫定	説明																																																																
	エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	エ リハビリテーションや相談援助の体制を充実し、患者の社会復帰、生活支援、就学・就労につながる支援等に取り組む。	16 ~ 18	<p>【総】・リハビリテーション、相談援助・支援を強化し、退院調整を積極的に行う。</p> <p>【心】・患者の社会復帰に向け、リハビリテーション活動を充実させる。</p> <p>【子】・言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他への充実を図る。</p>	<p>患者サポートセンター退院調整件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>3,217</td><td>6,810</td><td>5,217</td><td>6,007</td><td>6,517</td><td>6,661</td><td>3,284</td></tr> </table> <p>退院支援関係診療報酬算定件数実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>退院調整加算(旧)</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>退院支援加算1(新)</td><td>1,879</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>入院支援加算1率</td><td>---</td><td>4,816</td><td>3,987</td><td>5,403</td><td>6,008</td><td>5,890</td><td>3,917</td></tr> <tr><td>退院時ペーパードキュメント</td><td>705</td><td>530</td><td>1,113</td><td>3,529</td><td>2,557</td><td>2,839</td><td>1,524</td></tr> <tr><td>計</td><td>2,584</td><td>5,346</td><td>5,100</td><td>8,932</td><td>8,565</td><td>8,729</td><td>4,441</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	6,661	3,284	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	退院調整加算(旧)	---	---	---	---	---	---	---	退院支援加算1(新)	1,879	---	---	---	---	---	---	入院支援加算1率	---	4,816	3,987	5,403	6,008	5,890	3,917	退院時ペーパードキュメント	705	530	1,113	3,529	2,557	2,839	1,524	計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,565	8,729	4,441	A	患者サポートセンターの看護師、MSWや理学療法士等が中心となり、入院早期から退院調整を積極的に支援している。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
件数	3,217	6,810	5,217	6,007	6,517	6,661	3,284																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
退院調整加算(旧)	---	---	---	---	---	---	---																																																																
退院支援加算1(新)	1,879	---	---	---	---	---	---																																																																
入院支援加算1率	---	4,816	3,987	5,403	6,008	5,890	3,917																																																																
退院時ペーパードキュメント	705	530	1,113	3,529	2,557	2,839	1,524																																																																
計	2,584	5,346	5,100	8,932	8,565	8,729	4,441																																																																
				<p>リハビリテーション活動及び訪問看護を通じて、患者の社会復帰を支援している。また、在宅においてよりの確な支援を行うため、訪問看護の充実を図り、看護師に加えて精神保健福祉士や作業療法士などを含めた複数訪問の積極的な実施に努めている。</p> <p>リハビリテーション活動実施件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>精神科作業療法</td><td>5,992</td><td>5,494</td><td>4,483</td><td>5,427</td><td>4,561</td><td>3,897</td><td>2,063</td></tr> <tr><td>デイケア</td><td>5,955</td><td>6,023</td><td>4,402</td><td>2,653</td><td>1,988</td><td>1,875</td><td>1,193</td></tr> <tr><td>計</td><td>11,947</td><td>11,517</td><td>8,945</td><td>8,080</td><td>5,949</td><td>5,772</td><td>3,256</td></tr> </table> <p>訪問看護実施件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>訪問看護実施件数</td><td>4,068</td><td>3,996</td><td>3,704</td><td>3,841</td><td>3,643</td><td>3,726</td><td>1,971</td></tr> <tr><td>(うち複数訪問)</td><td>76</td><td>31</td><td>38</td><td>46</td><td>37</td><td>71</td><td>29</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	3,897	2,063	デイケア	5,955	6,023	4,402	2,653	1,988	1,875	1,193	計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	5,772	3,256	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	3,726	1,971	(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	71	29	B	令和5年度は、デイケア活動を中止することなく継続出来ており、徐々にコロナ流行前の実施体制に移行している。また、院内の窓口や売店などで案内ボスターの掲示やパンフレットの配架を行う等の広報活動により、患者の増加に努めている。訪問看護活動についても、特に制限等もなく実施出来ているが、各部署の活動が再開されたことによりスケジュールの確保が難しくなったため、前年度と比較して複数の職種での訪問が難しくなっていることから、後期の複数訪問の進め方を検討している。									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
精神科作業療法	5,992	5,494	4,483	5,427	4,561	3,897	2,063																																																																
デイケア	5,955	6,023	4,402	2,653	1,988	1,875	1,193																																																																
計	11,947	11,517	8,945	8,080	5,949	5,772	3,256																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
訪問看護実施件数	4,068	3,996	3,704	3,841	3,643	3,726	1,971																																																																
(うち複数訪問)	76	31	38	46	37	71	29																																																																
				<p>リハビリ実施実績 (単位: 件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>理学療法</td><td>18,244</td><td>17,309</td><td>22,985</td><td>24,683</td><td>25,770</td><td>12,847</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>6,656</td><td>6,039</td><td>4,946</td><td>3,813</td><td>7,794</td><td>11,495</td><td>6,164</td></tr> <tr><td>言語聴覚療法</td><td>7,306</td><td>7,901</td><td>9,744</td><td>10,162</td><td>10,045</td><td>9,555</td><td>4,720</td></tr> <tr><td>計</td><td>32,206</td><td>31,249</td><td>37,119</td><td>36,960</td><td>42,522</td><td>46,820</td><td>23,733</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	理学療法	18,244	17,309	22,985	24,683	25,770	12,847	15,000	作業療法	6,656	6,039	4,946	3,813	7,794	11,495	6,164	言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	9,555	4,720	計	32,206	31,249	37,119	36,960	42,522	46,820	23,733	S	令和5年度リハビリ実施件数は、過去最大件数であった令和4年度の数値を上回る推移となっている。特に作業療法件数は、前年度比147%となった令和4年度の件数を超えることが想定される。作業療法に関しては、令和3年度に増員された療法士が経験を積みこにより運用の幅が広がり、入院患者のうち集中治療系病棟の患者にも対応することで件数が増加している。また、理学療法に関して、令和4年4月から算定可能となったPICUでの早期離床・リハビリテーション加算(入室後14日間に500点/人/日)について、令和5年度もPICU入室患者のほぼ全例に早期離床の介入ができています。早期離床への意識も高まりPICU退室後もシームレスな機能回復の継続を目的に各主治医からのリハビリの処方が増加した。今後さらなる質の向上を図っていく。																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
理学療法	18,244	17,309	22,985	24,683	25,770	12,847	15,000																																																																
作業療法	6,656	6,039	4,946	3,813	7,794	11,495	6,164																																																																
言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	9,555	4,720																																																																
計	32,206	31,249	37,119	36,960	42,522	46,820	23,733																																																																
オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	オ 遺伝子解析・診断を活用した疾患の予防、治療及び相談支援に取り組む。	・遺伝子診療に関して、体制の整備・充実を図る。	19	<p>遺伝診療科受診者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>86</td><td>101</td><td>146</td><td>227</td><td>233</td><td>270</td><td>111</td></tr> </table> <p>【参考】エキスパートパネル実施件数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>38</td><td>46</td><td>46</td><td>46</td></tr> </table> <p>【参考】遺伝カウンセリング件数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>受診者数</td><td>227</td><td>233</td><td>270</td><td>111</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	受診者数	86	101	146	227	233	270	111	区分	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	受診者数	38	46	46	46	区分	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	受診者数	227	233	270	111	A	臨床遺伝専門医、認定遺伝カウンセラーを始めとする遺伝分野の専門スタッフを配置したゲノム医療センターでは、令和3年度には臨床遺伝専門医を1名増員するなど体制を強化し、がんゲノム関連検査、遺伝性腫瘍症候群、遺伝性疾患等の診療を行っている。遺伝診療に関する診療は年々増加傾向にあるが、令和5年度の受診者数は、令和4年度実績と同程度を維持する見込み。また、遺伝カウンセリングの件数についても、令和4年度実績と同程度を維持する見込み。																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																
受診者数	86	101	146	227	233	270	111																																																																
区分	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																			
受診者数	38	46	46	46																																																																			
区分	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																			
受診者数	227	233	270	111																																																																			

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																										
						暫定	説明																																																																																																																																																																									
	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につながる鑑別診断や治療を実施する。また、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。	カ 認知症については、鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、専門医療相談等の実施に取り組む。発達障害については、早期療育につながる鑑別診断や治療を実施する。これらを含む多様な精神疾患や身体合併症など精神科医療に対する要望を受け、総合的に必要な医療を受けられる体制の整備を進める。 また、地域の保健福祉関係者への助言等の医学的支援や、医療従事者や教育関係者に対する研修の実施に取り組む。	20 ～ 22	【総】・精神科身体合併症病棟においては、総合的な医療機能を活かし、精神障害者のあらゆる身体合併症への高度医療を提供する。 ・鑑別診断や周辺症状と身体合併に対する急性期治療、認知症ケアチームの介入、専門医療相談等を推進する。 ・精神科リエゾンチームの運営を開始し、精神科外来の業務を確立する。 【心】・症状が重篤な認知症患者を受入れるための、精神科救急・急性期医療体制を確保する。 【心】・老年期特有の専門外来(老年期こころと物忘れ外来)により専門的な医療相談を実施する。 【子】・発達障害については、従来からの新生児退院診察や、新生児包括外来における低体重出生児の発達フォローを継続し、保護者向けのペアレントトレーニングについても継続して取り組む。	総合 こころ 子ども	<table border="1"> <tr><th colspan="8">脳FDG-PET (単位:件)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>実施件数</td><td>147</td><td>161</td><td>160</td><td>128</td><td>142</td><td>149</td><td>89</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="8">認知症ケア及び精神科リエゾンチームに係る加算 (単位:件)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>認知症ケア</td><td>10,494</td><td>8,306</td><td>7,163</td><td>6,202</td><td>5,246</td><td>5,194</td><td>2,242</td></tr> <tr><td>精神科リエゾンチーム</td><td>—</td><td>—</td><td>1,743</td><td>2,316</td><td>1,671</td><td>1,284</td><td>744</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td>8,906</td><td>8,518</td><td>6,917</td><td>6,478</td><td>2,986</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="8">認知症入院患者数 (単位:件)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>認知症入院患者</td><td>11</td><td>9</td><td>6</td><td>6</td><td>12</td><td>11</td><td>8</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="8">老年期こころと物忘れ外来実施件数 (単位:件)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>老年期こころと物忘れ外来実施件数</td><td>441</td><td>483</td><td>387</td><td>330</td><td>340</td><td>361</td><td>169</td></tr> </table> <p>発達障害児を持つ保護者を対象にした、医師や保育士によるペアレント・トレーニングについて、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響で実施していなかったが、令和5年度に新プログラムを開発し再開する予定である。 中期計画期間中、新生児退院診察を実施している。また、新生児包括外来における低出生体重児の発達フォローを隔週1回実施している。</p> <table border="1"> <tr><th colspan="8">発達小児科外来患者数等 (単位:人、件数)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>発達小児科外来延患者数</td><td>3,871</td><td>4,014</td><td>4,233</td><td>4,272</td><td>4,439</td><td>4,051</td><td>2,199</td></tr> <tr><td>ペアレントトレーニング等件数</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><th colspan="8">新生児包括外来実績 (単位:件数)</th></tr> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>低出生体重児への発達フォロー件数</td><td>170</td><td>207</td><td>207</td><td>175</td><td>184</td><td>166</td><td>89</td></tr> </table>	脳FDG-PET (単位:件)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	実施件数	147	161	160	128	142	149	89	認知症ケア及び精神科リエゾンチームに係る加算 (単位:件)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	5,194	2,242	精神科リエゾンチーム	—	—	1,743	2,316	1,671	1,284	744				8,906	8,518	6,917	6,478	2,986	認知症入院患者数 (単位:件)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	認知症入院患者	11	9	6	6	12	11	8	老年期こころと物忘れ外来実施件数 (単位:件)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	330	340	361	169	発達小児科外来患者数等 (単位:人、件数)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	発達小児科外来延患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	4,051	2,199	ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0	0	新生児包括外来実績 (単位:件数)								区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	166	89	A	<p>脳疾患(てんかん、認知症)及び脳腫瘍の診断等に用いる脳FDG-PETの実施件数は順調に件数を増やし新型コロナウイルス感染症以前の件数を上回る見込みとなった。 認知症ケア加算と精神科リエゾンチーム加算については、算定可能対象患者が少なかったため、介入件数が減少し、算定減少となった。</p> <p>重度の認知症患者の受入や専門外来による専門的な医療相談体制を確保しており、概ね前年度並みの医療活動を実施している。</p> <p>令和5年度の発達小児科の外来延患者数は例年と同程度の数値で推移している。また、発達小児科医師や保育士による患者家族へのペアレントトレーニングは、新型コロナウイルス感染症の影響により開催できていなかったが、養育者が参加しやすく、かつ継続的な支援を可能にする新プログラムの開発を進めており、令和5年11月を目標に再開する予定である。 なお、新生児科では、新生児包括外来における低出生体重児への発達フォローを実施しており、令和4年度も例年並の実績であった。</p>
脳FDG-PET (単位:件)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
実施件数	147	161	160	128	142	149	89																																																																																																																																																																									
認知症ケア及び精神科リエゾンチームに係る加算 (単位:件)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
認知症ケア	10,494	8,306	7,163	6,202	5,246	5,194	2,242																																																																																																																																																																									
精神科リエゾンチーム	—	—	1,743	2,316	1,671	1,284	744																																																																																																																																																																									
			8,906	8,518	6,917	6,478	2,986																																																																																																																																																																									
認知症入院患者数 (単位:件)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
認知症入院患者	11	9	6	6	12	11	8																																																																																																																																																																									
老年期こころと物忘れ外来実施件数 (単位:件)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
老年期こころと物忘れ外来実施件数	441	483	387	330	340	361	169																																																																																																																																																																									
発達小児科外来患者数等 (単位:人、件数)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
発達小児科外来延患者数	3,871	4,014	4,233	4,272	4,439	4,051	2,199																																																																																																																																																																									
ペアレントトレーニング等件数	10	10	10	0	0	0	0																																																																																																																																																																									
新生児包括外来実績 (単位:件数)																																																																																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																									
低出生体重児への発達フォロー件数	170	207	207	175	184	166	89																																																																																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																													
						暫定	説明																																																																																												
	キ 移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	キ 移行期医療支援センターの運用などによる移行期医療や医療的ケア児への対応など新たな課題については、県と連携して取り組む。	23	各病院 <ul style="list-style-type: none"> <li>・SARS-CoV-2(新型コロナウイルス)などの感染症について、県と連携、協力して拡大防止に対応できる体制を整備する。(No.15再掲)</li> <li>・機構内各病院や他医療機関、県などと連携して移行期医療及び成人期医療を提供する。</li> <li>・【こころ】総合病院、こども病院と連携した県立3病院の精神科医療体制構築を進める。</li> <li>・【子】県担当課と協議しつつ、受託した移行期医療支援センターの運営を行い、業務内容の充実を図る。</li> <li>・【子】No.59</li> </ul>	移行期医療件数 (単位: 件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>こども一総合</td><td>650</td><td>610</td><td>666</td><td>995</td><td>1,367</td><td>1,100</td><td>494</td></tr> <tr><td>こども一こころ</td><td>-</td><td>-</td><td>19</td><td>18</td><td>15</td><td>28</td><td>15</td></tr> </table> 関連するカンファレンス等の開催実績 (単位: 回) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績</td><td>-</td><td>2</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数</td><td>-</td><td>1</td><td>6</td><td>4</td><td>3</td><td>2</td><td>2</td></tr> <tr><td>医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数</td><td>-</td><td>5</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table> ※ 令和2年度に短期入所事業者の指定を受け、令和4年度から入所している 移行期医療推進協議会の開催 (単位: 件数) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>移行期医療推進協議会の開催</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>1</td><td>0</td></tr> </table> 移行期医療センターに関する委員会等の実施回数 (単位: 件数) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>移行期医療センターに関する委員会等の実施回数</td><td>-</td><td>11</td><td>18</td><td>9</td><td>3</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	こども一総合	650	610	666	995	1,367	1,100	494	こども一こころ	-	-	19	18	15	28	15	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0	0	移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	2	2	医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	3	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	移行期医療推進協議会の開催	-	-	-	-	-	1	0	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	9	3	A 新型コロナウイルス感染症への対応については、総合病院及びこども病院が県から重点医療機関に指定されており、各病院において患者受入体制を整備し、県と調整のうえ患者の受入を行ってきた。 移行期医療への対応については、機構内における医療情報システム(電子カルテシステム)の統合を予定している。これにより、患者情報の病院間の相互参照が可能となり、医療サービスの向上が期待される。 (総合) 令和2年2月に開設した成人先天性心疾患科では、こども病院循環器科との連携により、先天性心疾患や遺伝性心疾患を持つ患者を対象に診察を行っている。 令和5年度の実診患者数は、令和4年度実績と同程度を維持する見込み。 (こころ) 当院とこども病院間で医師による合同カンファレンスについては実施していないものの、相互の医局間で連携し、こども病院で対応出来ない重篤な精神疾患症例の児童の受け入れや、必要に応じた患者や症例の相談に対応している。 (こども) 県から移行期医療支援センター運営事業を受託し、県と連携して移行期医療支援体制の推進に取り組んでいる。 令和5年度は小児科から成人医療施設への紹介実績調査のほか、こども病院として、患者の自立を促すための自立支援外来の実施、静岡市医師会と重症心身障がい児の移行のためのカンファレンスを行った。 在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応について、令和2年度に指定障害福祉サービスによる短期入所事業者の指定を受け、令和5年度は1人(延人数)の利用があった。									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																												
こども一総合	650	610	666	995	1,367	1,100	494																																																																																												
こども一こころ	-	-	19	18	15	28	15																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																												
こころ・こども精神科医師合同カンファレンスの開催実績	-	2	5	0	0	0	0																																																																																												
移行期医療センターに関する県との打合せ実施回数	-	1	6	4	3	2	2																																																																																												
医療的ケア児のレスパイト対応に関する打合せ実施回数	-	5	3	6	6	3	0																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																												
移行期医療推進協議会の開催	-	-	-	-	-	1	0																																																																																												
区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																														
移行期医療センターに関する委員会等の実施回数	-	11	18	9	3																																																																																														
ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術、放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実を図る。	ク 高度・専門・特殊医療を県民に提供する第一級の病院であり続けるために、ハイブリッド手術室の活用、ロボット支援手術、放射線治療等の拡充など、高度な治療への対応の強化や適切な治療の提供に取り組む。また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実を図る。 また、医療を取り巻く環境変化に応じて、先進的な施設や設備等の充実を図る。	24	各病院・本部へ(経営) <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画に記載した施設及び機器等の整備を計画的に実施する。</li> <li>・3病院の医療情報システム統合を実施し、セキュリティを強化した上で、地域医療連携などICTを利用したサービスの向上を目指す。</li> </ul>	施設及び機器等の整備状況 (単位: 百万円) <table border="1"> <tr><th rowspan="2">区分</th><th colspan="5">経費累計</th><th colspan="5">設備品率</th></tr> <tr><th>第2期累計(実績)</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>3年度9月末</th><th>第2期累計(実績)</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>第2期累計</th></tr> <tr><td>総合</td><td>16,132</td><td>1,091</td><td>1,472</td><td>1,895</td><td>2,833</td><td>2,633</td><td>4,813</td><td>6,788</td><td>706</td><td>894</td><td>708</td><td>1,049</td><td>3,653</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>992</td><td>139</td><td>246</td><td>5</td><td>0</td><td>0</td><td>390</td><td>169</td><td>31</td><td>31</td><td>8</td><td>14</td><td>21</td></tr> <tr><td>こども</td><td>1,764</td><td>148</td><td>829</td><td>191</td><td>136</td><td>28</td><td>1,303</td><td>1,834</td><td>308</td><td>247</td><td>567</td><td>717</td><td>2,330</td></tr> <tr><td>共計</td><td>0</td><td>0</td><td>77</td><td>292</td><td>359</td><td>3,241</td><td>831</td><td>0</td><td>0</td><td>44</td><td>0</td><td>30</td><td>45</td></tr> <tr><td>合計</td><td>18,887</td><td>1,378</td><td>2,626</td><td>2,494</td><td>3,777</td><td>3,633</td><td>7,338</td><td>8,791</td><td>1,045</td><td>1,176</td><td>1,285</td><td>1,786</td><td>673</td></tr> </table> 医療情報システム統合の実施状況 ・質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合、令和5年5月から稼働を開始した。	区分	経費累計					設備品率					第2期累計(実績)	元年度	2年度	3年度	4年度	3年度9月末	第2期累計(実績)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	第2期累計	総合	16,132	1,091	1,472	1,895	2,833	2,633	4,813	6,788	706	894	708	1,049	3,653	こころ	992	139	246	5	0	0	390	169	31	31	8	14	21	こども	1,764	148	829	191	136	28	1,303	1,834	308	247	567	717	2,330	共計	0	0	77	292	359	3,241	831	0	0	44	0	30	45	合計	18,887	1,378	2,626	2,494	3,777	3,633	7,338	8,791	1,045	1,176	1,285	1,786	673	A 令和5年度の減価償却費は42.8億円を見込む(前年度比+6.9億円)。 質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムの統合を進め、令和5年5月に稼働を開始した。 こころの医療センターの厨房改修や、こども病院の患者宿泊施設の建設等、一部の事業については第4期中期計画へ先送りすることとなった。 引き続き経営状況を見ながら、減価償却費への影響を考慮し、適切に投資判断を行っている。 令和3年にこころの医療センターにサーバー棟が完成しており、質の高い医療の提供と効率的な病院運営を目指すため、3病院の医療情報システムを統合し、医療情報の共有化を進めている。 総合病院では、北館1階へ移設した高度救命救急センターの跡地(循環器病センター1階)に中央処置室をリニューアル整備し、令和3年7月から運用している。 こころの医療センターでは、医用テレメーターの更新や他項目自動血球分析装置及び歯科用パノラマX線撮影装置を購入し、診療行為の向上に努めた。 こども病院では、昇降機改修工事(令和3年12月～令和5年11月)を執行中で、令和5年9月末現在、本館1～4号機・8号機、北館1～3号機、西館1～6号機、医師宿舎1号機の改修工事が完成し、本館6・7号機を竣工のみとなった。また、外来天井改修工事(令和5年2月～令和5年12月)を執行中で、令和5年9月末現在、足場等の仮設工事が完了している。
区分	経費累計					設備品率																																																																																													
	第2期累計(実績)	元年度	2年度	3年度	4年度	3年度9月末	第2期累計(実績)	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	第2期累計																																																																																						
総合	16,132	1,091	1,472	1,895	2,833	2,633	4,813	6,788	706	894	708	1,049	3,653																																																																																						
こころ	992	139	246	5	0	0	390	169	31	31	8	14	21																																																																																						
こども	1,764	148	829	191	136	28	1,303	1,834	308	247	567	717	2,330																																																																																						
共計	0	0	77	292	359	3,241	831	0	0	44	0	30	45																																																																																						
合計	18,887	1,378	2,626	2,494	3,777	3,633	7,338	8,791	1,045	1,176	1,285	1,786	673																																																																																						
ケ 各県立病院は、質の高い医療を継続的に提供するため、次のとおり重点的に取り組む。	ケ 各県立病院は医療の提供に当たり、次のとおり重点的に取り組む。	-	-	-	-	-	-																																																																																												
県立総合病院	県立総合病院診療事業 県内医療機関の中核的病院として、各疾患に対する総合的な医療をはじめ、3大疾患(心疾患、脳血管疾患、がん疾患)に対する高度・専門医療や救急・急性期医療等を提供する。 各診療事業を推進するため、医師・看護師確保に取り組む。 県民に提供する医療 県民に提供する医療<業務予定量> 病床数 718床 一般病床 662床 結核病床 50床 精神病床 6床 外来患者 455,056人 入院患者 227,436人	25	総合	入院・外来患者数 (単位: 人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>5年度目標</th></tr> <tr><td>入院患者数</td><td>232,585</td><td>233,305</td><td>225,595</td><td>203,298</td><td>207,398</td><td>199,210</td><td>105,885</td><td>227,436</td></tr> <tr><td>(うち結核病床)</td><td>6,580</td><td>6,406</td><td>4,967</td><td>5,223</td><td>4,918</td><td>3,260</td><td>1,496</td><td>-</td></tr> <tr><td>外来患者数</td><td>430,118</td><td>436,699</td><td>448,945</td><td>425,092</td><td>455,056</td><td>455,776</td><td>231,142</td><td>455,056</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	199,210	105,885	227,436	(うち結核病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	3,260	1,496	-	外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	455,776	231,142	455,056	B 入院患者数については、新型コロナウイルス感染症の対応を継続しながら、令和3年度以前の数字まで戻りつつあり、順調に増加している。 一方、外来患者数については、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響のない令和元年度実績を超え過去最高を更新する見込みである。																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																											
入院患者数	232,585	233,305	225,595	203,298	207,398	199,210	105,885	227,436																																																																																											
(うち結核病床)	6,580	6,406	4,967	5,223	4,918	3,260	1,496	-																																																																																											
外来患者数	430,118	436,699	448,945	425,092	455,056	455,776	231,142	455,056																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																													
						暫定	説明																																																																																																																																												
	・急性心筋梗塞、脳卒中等の循環器疾患において、常時高度な専門的治療を提供する。加えて、生活習慣病としての危険因子を管理するため、地域の医療機関との連携を強化する。	○循環器疾患患者に対して循環器病センター機能を活かした常時高度な専門的治療を提供する体制の充実 ①重症心不全疾患の患者に対して冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)機能を最大限に活かした高度な専門的治療の提供 ②急性心筋梗塞、脳卒中発症患者に対応する常時救急受入体制の強化 ③循環器関連診療科の有機的な連携によるチーム医療の推進 ④ハイブリッド手術室の使用による経カテーテル大動脈弁置換術(TAVI)、ステントグラフト内挿術、経皮的僧帽弁接合不全修復術(Mitra Clip)等の低侵襲かつ高度な手術の実施	26	①冠動脈疾患集中治療室(CCU/ICU)を中心に常時対応できる体制を構築し、高度専門診療を提供する。	CCU/ICUは平成30年9月より14床で運用している。 <table border="1"> <caption>CCU/ICU稼働率 (単位: %)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率(%)</td> <td>113.1</td> <td>119.1</td> <td>100.3</td> <td>88.6</td> <td>95.7</td> <td>87.4</td> <td>90.7</td> </tr> <tr> <td>入室患者数(人)</td> <td>780</td> <td>771</td> <td>866</td> <td>802</td> <td>925</td> <td>795</td> <td>401</td> </tr> <tr> <td>1日平均(人)</td> <td>13.6</td> <td>14.3</td> <td>14.0</td> <td>12.4</td> <td>13.4</td> <td>12.2</td> <td>12.7</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	87.4	90.7	入室患者数(人)	780	771	866	802	925	795	401	1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.2	12.7	A	ICU/CCUの稼働率及び1日平均入室患者数は、令和4年度は新型コロナウイルス感染症に伴い、一時的に稼働の制限を行っていたが、今年度は制限はなくなり、稼働率の向上に努めている。																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
稼働率(%)	113.1	119.1	100.3	88.6	95.7	87.4	90.7																																																																																																																																												
入室患者数(人)	780	771	866	802	925	795	401																																																																																																																																												
1日平均(人)	13.6	14.3	14.0	12.4	13.4	12.2	12.7																																																																																																																																												
			27	②脳卒中発症患者に対する急性期医療の提供体制を整備するとともに、在宅医療への情報提供等、在宅復帰に向けた取り組みを推進する。	<table border="1"> <caption>脳卒中地域連携クリニカルパス適用患者数 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>42</td> <td>62</td> <td>83</td> <td>102</td> <td>92</td> <td>49</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>超急性期脳卒中加算 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>27</td> <td>16</td> <td>35</td> <td>28</td> <td>32</td> <td>20</td> <td>11</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	算定件数	42	62	83	102	92	49	4	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	算定件数	27	16	35	28	32	20	11	A	脳卒中地域連携クリニカルパス適用患者数について、対象となる患者が減少したことにより、令和5年度は前年度に引き続き減少傾向となっている。院内においても地域連携パスについて再周知し、引き続き、地域の医療機関等との連携により、パスの適用を推進し、円滑な運用に努める。																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
算定件数	42	62	83	102	92	49	4																																																																																																																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
算定件数	27	16	35	28	32	20	11																																																																																																																																												
			28	③生活習慣病を心血管疾患の発症危険因子としてとらえ、循環器内科、腎臓内科、腎臓内科、心臓血管外科等が有機的に連携して、チーム医療の推進を図る。	<table border="1"> <caption>糖尿病透析予防指導管理料 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>算定件数</td> <td>75</td> <td>145</td> <td>285</td> <td>123</td> <td>67</td> <td>48</td> <td>42</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>(単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>腎代替療法指導管理料</td> <td>211</td> <td>164</td> <td>88</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	算定件数	75	145	285	123	67	48	42	区分	3年度	4年度	5年度9月末	腎代替療法指導管理料	211	164	88	A	糖尿病透析予防指導管理料は糖尿病・内分沁内科外、さらまめ外来、透析室における指導により算定する。また、糖尿病透析予防指導管理料と腎代替療法指導管理料の対象患者は重複しているため、腎代替療法患者の増加に伴い、糖尿病透析予防管理料の患者数は減少している。 令和4年度の算定件数は、新型コロナウイルス感染症の影響に加え、人員配置の変更が大きく影響したが、令和5年度は、前年度を上回る見込みである。																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
算定件数	75	145	285	123	67	48	42																																																																																																																																												
区分	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																
腎代替療法指導管理料	211	164	88																																																																																																																																																
			29	④ハイブリッド手術室を運用する体制を整備し、高度専門医療を提供する。	<table border="1"> <caption>ハイブリッド手術室稼働状況 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハイブリッド手術室使用件数</td> <td>479</td> <td>706</td> <td>486</td> <td>484</td> <td>512</td> <td>525</td> <td>255</td> <td>400以上</td> </tr> <tr> <td>TAVI案件数 ※上記の内数</td> <td>67</td> <td>74</td> <td>67</td> <td>65</td> <td>105</td> <td>81</td> <td>39</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>ステントグラフト挿入 ※上記の内数</td> <td>91</td> <td>91</td> <td>125</td> <td>76</td> <td>99</td> <td>120</td> <td>33</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>Mitra Clip件数 ※上記の内数</td> <td>-</td> <td>12</td> <td>24</td> <td>14</td> <td>21</td> <td>11</td> <td>5</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>(単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>PCI</td> <td>447</td> <td>450</td> <td>368</td> <td>363</td> <td>349</td> <td>287</td> <td>154</td> </tr> <tr> <td>アブレーション</td> <td>256</td> <td>253</td> <td>284</td> <td>267</td> <td>305</td> <td>262</td> <td>140</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	ハイブリッド手術室使用件数	479	706	486	484	512	525	255	400以上	TAVI案件数 ※上記の内数	67	74	67	65	105	81	39	-	ステントグラフト挿入 ※上記の内数	91	91	125	76	99	120	33	-	Mitra Clip件数 ※上記の内数	-	12	24	14	21	11	5	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	PCI	447	450	368	363	349	287	154	アブレーション	256	253	284	267	305	262	140	A	MRIハイブリッド手術室は、手術室にMRI検査室を併設しており、主に脳神経外科の脳腫瘍切除術に使用される。CTハイブリッド手術室は、手術室にCT検査装置を併設しており、主に脳神経外科の脳血管障害や脳腫瘍の手術に使用される。血管造影ハイブリッド手術室は、手術室にX線血管造影装置を併設しており、主に心臓血管外科、循環器内科のTAVI、ステントグラフト内挿術、MitraClip等の手術に使用される。 ハイブリッド手術室の稼働状況は、毎年下半期における循環器疾患及び脳疾患例数の増加に比例して稼働率が上昇し、令和5年度は令和4年度と同程度となる見込みである。 令和5年度の稼働状況については、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、TAVI、ステントグラフト挿入術、MitraClipの実施件数は令和4年度実績と同程度を維持している。																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																											
ハイブリッド手術室使用件数	479	706	486	484	512	525	255	400以上																																																																																																																																											
TAVI案件数 ※上記の内数	67	74	67	65	105	81	39	-																																																																																																																																											
ステントグラフト挿入 ※上記の内数	91	91	125	76	99	120	33	-																																																																																																																																											
Mitra Clip件数 ※上記の内数	-	12	24	14	21	11	5	-																																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
PCI	447	450	368	363	349	287	154																																																																																																																																												
アブレーション	256	253	284	267	305	262	140																																																																																																																																												
	・がん患者に対し、地域がん診療連携拠点病院として、最新・最良の診断、ロボット支援手術などの先進的手術及び化学療法、放射線治療を組み合わせた高度な集学的治療や予防医療を提供する体制を整備し、地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療を提供していく。	○がん疾患患者に対して地域がん診療連携拠点病院としての高度な集学的治療を提供する体制の充実及び地域の医療機関等と連携した緩和ケアや終末期医療の提供 ①先端医療棟の設備・機能を最大限に活用し、手術、放射線治療、化学療法に係るがん診療体制の充実 ②地域の医療機関等との連携による緩和ケアや終末期ケアの推進 ③がん相談及び情報提供機能の強化 ④ロボット支援手術の活用	30	①がん患者が速やかに検査や治療を受けられる体制を構築し、手術件数の増加に努める。	<table border="1"> <caption>がん手術件数 (単位: 件・%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>163</td> <td>340</td> <td>366</td> <td>351</td> <td>351</td> <td>392</td> <td>241</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>287</td> <td>687</td> <td>696</td> <td>759</td> <td>776</td> <td>739</td> <td>376</td> </tr> <tr> <td>肺がん</td> <td>115</td> <td>366</td> <td>260</td> <td>328</td> <td>255</td> <td>232</td> <td>139</td> </tr> <tr> <td>胆がん</td> <td>149</td> <td>134</td> <td>194</td> <td>213</td> <td>180</td> <td>184</td> <td>78</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>352</td> <td>449</td> <td>511</td> <td>440</td> <td>454</td> <td>441</td> <td>210</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>1,210</td> <td>1,241</td> <td>1,549</td> <td>1,355</td> <td>1,630</td> <td>1,600</td> <td>706</td> </tr> <tr> <td>がん手術合計</td> <td>2,276</td> <td>3,217</td> <td>3,576</td> <td>3,446</td> <td>3,446</td> <td>3,581</td> <td>1,750</td> </tr> <tr> <td>非がん手術</td> <td>8,206</td> <td>8,465</td> <td>9,285</td> <td>8,513</td> <td>8,798</td> <td>8,526</td> <td>4,509</td> </tr> <tr> <td>がん手術割合</td> <td>27.1</td> <td>37.2</td> <td>38.3</td> <td>40.5</td> <td>41.4</td> <td>42.0</td> <td>38.3</td> </tr> </tbody> </table> ※年度別各種がん手術は1患者が複数手術をした場合は、それぞれ計上 ※がん手術合計、手術全体は複数手術をした場合は、主たる手術に計上 <table border="1"> <caption>内視鏡検査・処置 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>上部消化管検査</th> <th>下部消化管検査</th> <th>ERCP検査</th> <th>気管支鏡検査</th> <th>その他</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>元年度</td> <td>10,489</td> <td>2,213</td> <td>445</td> <td>389</td> <td>56</td> <td>14,192</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>9,817</td> <td>2,774</td> <td>404</td> <td>291</td> <td>38</td> <td>13,324</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>10,540</td> <td>2,749</td> <td>420</td> <td>350</td> <td>54</td> <td>14,113</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>10,058</td> <td>2,727</td> <td>445</td> <td>306</td> <td>47</td> <td>13,583</td> </tr> <tr> <td>5年度9月末</td> <td>4,935</td> <td>1,383</td> <td>190</td> <td>145</td> <td>26</td> <td>6,679</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <caption>放射線治療 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>15,795</td> <td>15,772</td> <td>1,100</td> <td>1,104</td> <td>1,257</td> <td>980</td> <td>472</td> <td>1,000</td> </tr> </tbody> </table> ※令和元年度より放射線治療管理料算定件数とする。	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	胃がん	163	340	366	351	351	392	241	大腸がん	287	687	696	759	776	739	376	肺がん	115	366	260	328	255	232	139	胆がん	149	134	194	213	180	184	78	乳がん	352	449	511	440	454	441	210	その他	1,210	1,241	1,549	1,355	1,630	1,600	706	がん手術合計	2,276	3,217	3,576	3,446	3,446	3,581	1,750	非がん手術	8,206	8,465	9,285	8,513	8,798	8,526	4,509	がん手術割合	27.1	37.2	38.3	40.5	41.4	42.0	38.3	年度	上部消化管検査	下部消化管検査	ERCP検査	気管支鏡検査	その他	合計	元年度	10,489	2,213	445	389	56	14,192	29年度	9,817	2,774	404	291	38	13,324	30年度	10,540	2,749	420	350	54	14,113	4年度	10,058	2,727	445	306	47	13,583	5年度9月末	4,935	1,383	190	145	26	6,679	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	980	472	1,000	A	がん手術件数は、令和4年度若干減少したものの、令和5年度の件数は順調に推移しており、コロナ禍前の令和元年度当時の水準を上回る見込み。 放射線治療件数は、高精度放射線治療に比重を置いていることで件数自体は抑えられているが、その中でも件数は順調に推移しており、目標値と同程度の件数を見込んでいる。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																												
胃がん	163	340	366	351	351	392	241																																																																																																																																												
大腸がん	287	687	696	759	776	739	376																																																																																																																																												
肺がん	115	366	260	328	255	232	139																																																																																																																																												
胆がん	149	134	194	213	180	184	78																																																																																																																																												
乳がん	352	449	511	440	454	441	210																																																																																																																																												
その他	1,210	1,241	1,549	1,355	1,630	1,600	706																																																																																																																																												
がん手術合計	2,276	3,217	3,576	3,446	3,446	3,581	1,750																																																																																																																																												
非がん手術	8,206	8,465	9,285	8,513	8,798	8,526	4,509																																																																																																																																												
がん手術割合	27.1	37.2	38.3	40.5	41.4	42.0	38.3																																																																																																																																												
年度	上部消化管検査	下部消化管検査	ERCP検査	気管支鏡検査	その他	合計																																																																																																																																													
元年度	10,489	2,213	445	389	56	14,192																																																																																																																																													
29年度	9,817	2,774	404	291	38	13,324																																																																																																																																													
30年度	10,540	2,749	420	350	54	14,113																																																																																																																																													
4年度	10,058	2,727	445	306	47	13,583																																																																																																																																													
5年度9月末	4,935	1,383	190	145	26	6,679																																																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																											
件数	15,795	15,772	1,100	1,104	1,257	980	472	1,000																																																																																																																																											
			31	①外来化学療法センターの環境整備を行い、化学療法の充実を図る。	<table border="1"> <caption>外来化学療法加算 (単位: 件)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>11,680</td> <td>12,159</td> <td>12,707</td> <td>12,660</td> <td>12,812</td> <td>13,854</td> <td>6,946</td> <td>12,000以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	13,854	6,946	12,000以上	S	外来化学療法については、外来化学療法センターの移転リニューアルや前日採血の運用を導入するなど、患者の療養環境や利便性が大幅に向上し、令和5年度の外来化学療法加算算定件数は13,000件を上回り、過去最多の実施件数となる見込み。 また、がん薬物療法(抗がん剤治療)による脱毛抑制のための頭部冷却装置(PAXXMAN)を導入し乳がん患者を対象に治療を開始している。乳がんを含む固形癌に対する薬物療法を受ける患者の、治療中及び治療後の脱毛抑制が期待でき、患者サービスの向上、及び対象患者のQOLの向上が図られる。																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																											
件数	11,680	12,159	12,707	12,660	12,812	13,854	6,946	12,000以上																																																																																																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																							
						暫定	説明																																																																						
			32	②地域の医療機関等と連携し、緩和ケアや終末期ケアを推進する。	<p>緩和ケアチーム介入症例数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>389</td> <td>418</td> <td>527</td> <td>482</td> <td>548</td> <td>396</td> <td>213</td> </tr> </tbody> </table> <p>緩和ケア診療加算算定件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>—</td> <td>812</td> <td>5249</td> <td>4,417</td> <td>5,308</td> <td>4,796</td> <td>2,276</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	症例数	389	418	527	482	548	396	213	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	—	812	5249	4,417	5,308	4,796	2,276	A	緩和ケアチームは、緩和医療科医師、精神科医師、がんに関連する専門・認定看護師等で構成され、院内のがん患者に対して適切な緩和医療を提供する他、地域の医療機関等との定期的なカンファレンスを通じて連携強化に取り組んでいる。 また、がん患者等の社会復帰を支援するため、院内にハローワーク、産業保健総合支援センターとの連携による就労支援出張相談窓口を設置し、通院中又は入院中の患者に対して専門スタッフによる無料の就労相談を行っている。																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																						
症例数	389	418	527	482	548	396	213																																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																						
件数	—	812	5249	4,417	5,308	4,796	2,276																																																																						
			33	③がん相談支援センターの機能を増強し、がんに関する相談支援、情報の提供に努める。	<p>がん相談件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん相談</td> <td>5,896</td> <td>4,374</td> <td>4,742</td> <td>4,458</td> <td>3,493</td> <td>2,456</td> <td>1,221</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	2,456	1,221	A	がん相談支援センターにおいて、がんに関連する専門・認定看護師を中心に対面及び電話による相談を実施している。 がん相談件数については、令和5年度も、新型コロナウイルス感染症の影響により、対面での相談件数が減少傾向であるため、前年度と同水準になる見込み。																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																						
がん相談	5,896	4,374	4,742	4,458	3,493	2,456	1,221																																																																						
			34	④手術支援ロボットを増設するなど、高度・先進医療に対応できる手術体制の充実を図り、質の高い医療の提供を行う。	<p>ダ・ヴィンチ使用手術件数 (単位: 件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>診療科</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>泌尿器科</td> <td>122</td> <td>112</td> <td>104</td> <td>135</td> <td>132</td> <td>132</td> <td>73</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>婦人科</td> <td>4</td> <td>18</td> <td>25</td> <td>23</td> <td>25</td> <td>18</td> <td>21</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>消化器外科</td> <td>30</td> <td>83</td> <td>70</td> <td>82</td> <td>92</td> <td>163</td> <td>88</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>心臓血管外科</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>15</td> <td>11</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>156</td> <td>213</td> <td>199</td> <td>243</td> <td>261</td> <td>328</td> <td>193</td> <td>230以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ダ・ヴィンチ使用術者数 (単位: 人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>11</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>23</td> <td>21</td> <td>22</td> </tr> </tbody> </table>	診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	泌尿器科	122	112	104	135	132	132	73	—	婦人科	4	18	25	23	25	18	21	—	消化器外科	30	83	70	82	92	163	88	—	心臓血管外科	—	—	—	3	12	15	11	—	計	156	213	199	243	261	328	193	230以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	人数	7	11	12	16	23	21	22	S	ロボット支援手術(ダ・ヴィンチ使用手術)は、患者にとっては低侵襲というメリットがあるが、経営面においては消耗品や機器の保守費用等を現在の診療報酬では賅うことができないという問題点があるため、手術部において適用症例を見極めたうえで実施している。 ダ・ヴィンチ使用手術件数については、目標値及び令和4年度実績を大きく上回る見込。 ロボット支援手術機器(ダ・ヴィンチ)の運用に当たっては、手術講師を東京大学医学部、東京医科大学等から招聘し、術者の指導に充て、常に高度医療技術の習得に努めている。 令和4年度からはロボット手術運営部会を立ち上げ、より良いロボット支援手術の運営に努めているほか、総合病院の婦人科医師がロボット手術学会の学会会長を務めるなど、婦人科のロボット支援手術の普及、発展、技術の向上に貢献している。
診療科	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																					
泌尿器科	122	112	104	135	132	132	73	—																																																																					
婦人科	4	18	25	23	25	18	21	—																																																																					
消化器外科	30	83	70	82	92	163	88	—																																																																					
心臓血管外科	—	—	—	3	12	15	11	—																																																																					
計	156	213	199	243	261	328	193	230以上																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																						
人数	7	11	12	16	23	21	22																																																																						

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																									
						暫定	説明																																																																																								
	・認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制を整備する。	○認知症や精神科患者の身体合併症などに対応できる体制の運用開始 ①認知症や精神科患者の身体合併症に対応する病棟の開棟(精神科身体合併症病棟)など医療提供体制の充実	No.20 35		こころの医療センターとの連携による常勤の精神科医師5名の着任により、精神科患者の身体合併症に対応する精神科リエゾンチームと認知症ケアチームが協働しながら治療を行っている。 また、精神疾患と身体疾患を併せ持つ精神・身体合併症に対する医療ニーズを踏まえ、令和5年4月から精神科病棟(精神科身体合併症病棟)を開棟した。	A	令和5年4月から精神科病棟の運用を開始し、静岡県精神科救急身体合併症対応事業を受託している。これにより、県内の身体合併症治療における地域偏在の改善を図った。																																																																																								
	・先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用により、適切な治療を提供していく。	○先端医学棟に整備した各種ハイブリッド手術室や放射線治療室の運用による適切な治療の提供 ①ハイブリッド手術室を活用した高度専門医療の推進 ②高度放射線治療の推進	36	先端医学棟の設備・機器を最大限に活用する。 ①No.29 ②No.30	手術件数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>手術件数</td> <td>9,115</td> <td>9,327</td> <td>9,814</td> <td>9,126</td> <td>9,395</td> <td>9,160</td> <td>4,836</td> <td>9,400以上</td> </tr> </tbody> </table> HCU延患者数 (単位: 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>5,875</td> <td>6,872</td> <td>6,426</td> <td>5,569</td> <td>5,759</td> <td>5,669</td> <td>3,265</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	手術件数	9,115	9,327	9,814	9,126	9,395	9,160	4,836	9,400以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	人数	5,875	6,872	6,426	5,569	5,759	5,669	3,265	A	先端医学棟では、最新の設備と医療機器を最大限に活用した高度・先進医療を実施している。特に、3階、4階に設置したハイブリッド手術室、内視鏡手術室、ロボット支援手術室を含む23室の手術室と術後管理を行うHCU20床の一体的かつ効率的な運用に努めている。なお、令和5年度については、新型コロナウイルス感染症の影響のない令和元年度以前と同様の件数まで回復する見込である。令和4年9月に総合病院先端医学棟で発生した火災により、病理学部の機能をリサーチ・サポートセンターに移転して診療を継続していたが、令和5年9月末に復旧工事が完了した。																																																						
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																							
手術件数	9,115	9,327	9,814	9,126	9,395	9,160	4,836	9,400以上																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
人数	5,875	6,872	6,426	5,569	5,759	5,669	3,265																																																																																								
	・高度救命救急センターとして一層の充実を図り、広範囲熱傷等の特殊疾患患者に対応していく。	○重篤な救急患者に対応する高度救命救急センターの運営 ①救急搬送患者の受入体制の充実	37	①②医師の増員を図るとともに、働きやすさに配慮した変則勤務が可能な体制を維持する。	医師の変則勤務試行状況 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>該当者(人)</td> <td>1,722</td> <td>1,717</td> <td>1,717</td> <td>1,784</td> <td>1,893</td> <td>1,838</td> <td>1,864</td> </tr> <tr> <td>利用者(人)</td> <td>889</td> <td>966</td> <td>1,047</td> <td>1,224</td> <td>1,139</td> <td>1,170</td> <td>623</td> </tr> <tr> <td>利用率(%)</td> <td>51.6</td> <td>56.3</td> <td>58.7</td> <td>64.7</td> <td>61.9</td> <td>63.1</td> <td>63.7</td> </tr> </tbody> </table> ※該当者: 変則勤務を行うことが可能な延べ医師数 ※利用者: 変則勤務を行った延べ医師数	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	該当者(人)	1,722	1,717	1,717	1,784	1,893	1,838	1,864	利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,170	623	利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	63.1	63.7	A	救急患者の円滑な受入体制を維持するため、各診療科の協力のもと、医師の変則勤務を進めている。令和5年度の利用率は前年度をやや上回る見込である。																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
該当者(人)	1,722	1,717	1,717	1,784	1,893	1,838	1,864																																																																																								
利用者(人)	889	966	1,047	1,224	1,139	1,170	623																																																																																								
利用率(%)	51.6	56.3	58.7	64.7	61.9	63.1	63.7																																																																																								
			38	③救急車の受入を確実にできる診療体制を維持する。 ・ドクターカーの運用に関して、出動可能な市町の拡大に努める。	救急科医師9名体制で稼働 救急車受入率 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働日</td> <td>94.6</td> <td>97.1</td> <td>90.9</td> <td>87.7</td> <td>94.4</td> <td>93.3</td> <td>94.0</td> </tr> <tr> <td>稼働率</td> <td>94.9</td> <td>97.4</td> <td>92.3</td> <td>92.5</td> <td>94.4</td> <td>93.4</td> <td>94.4</td> </tr> </tbody> </table> 特殊疾患患者受入数 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急搬送</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>15</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>救急搬送</td> <td>539</td> <td>578</td> <td>590</td> <td>631</td> <td>555</td> <td>410</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>急性中絶</td> <td>15</td> <td>30</td> <td>46</td> <td>26</td> <td>39</td> <td>60</td> <td>集計中</td> </tr> <tr> <td>病院外心停止</td> <td>207</td> <td>186</td> <td>174</td> <td>201</td> <td>182</td> <td>236</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>776</td> <td>808</td> <td>897</td> <td>872</td> <td>581</td> <td>720</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> ドクターカー出動状況 (単位: 件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>19</td> <td>19</td> <td>12</td> <td>2</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> 【参考】救急患者数 令4: 11,245人、令5: 6,025人(9月末時点) 【参考】救急車受入件数 令4: 6,144件、令5: 3,260件(9月末時点)	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	稼働日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	93.3	94.0	稼働率	94.9	97.4	92.3	92.5	94.4	93.4	94.4	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	救急搬送	15	14	17	15	3	4	41	救急搬送	539	578	590	631	555	410	-	急性中絶	15	30	46	26	39	60	集計中	病院外心停止	207	186	174	201	182	236	-	計	776	808	897	872	581	720	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	19	19	12	2	11	4	-	A	救急科医師数に変化はない。救急当直体制の見直しを行っているが、現在も医師数が充足しているとは言えない状況である。令和5年度の救急患者数及び救急車受入件数は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、令和4年度実績を上回ると見込まれる。特殊疾患患者も積極的に受け入れ、高度救命救急センターとしての機能を果たしている。 ドクターカーは事故による重症外傷や胸痛等の循環器疾患が疑われる病態に対して出動している。令和5年度9月末の出動件数は、令和4年度9月末とほぼ同様。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
稼働日	94.6	97.1	90.9	87.7	94.4	93.3	94.0																																																																																								
稼働率	94.9	97.4	92.3	92.5	94.4	93.4	94.4																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
救急搬送	15	14	17	15	3	4	41																																																																																								
救急搬送	539	578	590	631	555	410	-																																																																																								
急性中絶	15	30	46	26	39	60	集計中																																																																																								
病院外心停止	207	186	174	201	182	236	-																																																																																								
計	776	808	897	872	581	720	-																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
件数	19	19	12	2	11	4	-																																																																																								
	・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。	○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①手術件数の増加 ②病床稼働率90%以上の維持 ③患者満足度(入院・外来)の向上	39	①No.36 ②効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する ③No.8	病床稼働率 (単位: %) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般病棟</td> <td>93.5</td> <td>93.9</td> <td>91.1</td> <td>84.8</td> <td>88.2</td> <td>82.6</td> <td>86.4</td> <td>90以上</td> </tr> <tr> <td>全体</td> <td>89.5</td> <td>89.8</td> <td>86.6</td> <td>80.7</td> <td>83.7</td> <td>78.0</td> <td>80.6</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	一般病棟	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.6	86.4	90以上	全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	78.0	80.6	-	B	令和5年度は、目標値を下回るが、前年度よりも増加する見込である。5月8日以降、一般病棟にて新型コロナウイルス感染症患者を受け入れている。入院中に発生した患者も含め新型コロナウイルス発症入院患者数は183名となる。																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																							
一般病棟	93.5	93.9	91.1	84.8	88.2	82.6	86.4	90以上																																																																																							
全体	89.5	89.8	86.6	80.7	83.7	78.0	80.6	-																																																																																							
	【目標値】 ・手術件数(総合) ・病床稼働率(総合) ・患者満足度[入院・外来](総合)	【目標値】県立総合病院 ・手術件数(総合) ・病床稼働率(総合) ・患者満足度[入院・外来](総合) ・ハイブリッド手術件数(総合) ・放射線治療症例件数(総合) ・外来化学療法件数(総合) ・ロボット支援手術件数 (ダヴィンチ等使用手術件数)	-	-	-	-	-	-																																																																																							
	県立こころの医療センター	○県立こころの医療センター診療事業 県内精神医療の中核病院として、総合的・専門的な精神科医療を提供するとともに、精神科救急・急性期医療や、他の医療機関では対応困難な治療の実施及び司法精神医療の充実を図る。 県民に提供する医療 <業務予定量> 病床数 274床 精神病床 274床 外来患者 39,647人 入院患者 55,551人	40		入院・外来患者数 (単位: 人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>55,144</td> <td>57,217</td> <td>54,037</td> <td>53,246</td> <td>49,296</td> <td>50,282</td> <td>26,286</td> <td>55,551</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>41,140</td> <td>42,454</td> <td>39,647</td> <td>37,285</td> <td>36,692</td> <td>36,761</td> <td>18,049</td> <td>39,647</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	50,282	26,286	55,551	外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	36,761	18,049	39,647	B	入院患者数は前年度をの同時期の患者数を上回っており、コロナ前の状況に近づいている。 外来患者数は、デイクア活動は中止することなく実施出来ているものの、患者数は前年度実績を下回っている。																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																							
入院患者数	55,144	57,217	54,037	53,246	49,296	50,282	26,286	55,551																																																																																							
外来患者数	41,140	42,454	39,647	37,285	36,692	36,761	18,049	39,647																																																																																							

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5(暫定))	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																									
						暫定	説明																																																																								
	・常時精神科救急医療相談に応じ、患者の支援体制の充実を図る。 ・救急患者を受け入れ、新たな入院患者が早期に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の充実を図る。	○精神科救急・急性期医療の提供体制の充実 ①常時精神科救急医療相談に対応可能な体制の整備 ②救急患者を常時受入可能な体制の整備及び新たな入院患者の早期退院を支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備	41	①24時間体制で精神科救急医療相談に応じ患者を受け入れるとともに、新たな入院患者が90日以内に退院し社会復帰できるよう支援する精神科救急・急性期医療の提供体制の整備を図る。	平成15年4月より、県の委託事業として県内全域を対象とする「精神科救急ダイヤル」を敷設し、24時間体制で救急医療相談に対応している。 年4回発行し、関係機関、公的機関及び就労支援施設等に配布する当センター広報誌「ぬくもり」や、当センターホームページへ「精神科救急ダイヤル」に関する情報を登録し、周知を図っている。  精神科救急ダイヤル件数 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>全相談件数</td><td>3,020</td><td>2,718</td><td>3,957</td><td>3,649</td><td>1,857</td><td>2,111</td><td>1,105</td></tr> <tr><td>うち時間外</td><td>2,365</td><td>1,482</td><td>2,153</td><td>2,678</td><td>1,288</td><td>1,530</td><td>808</td></tr> </table> 時間外における救急診療件数 (単位:件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>毎年度目標</th></tr> <tr><td>件数</td><td>270</td><td>331</td><td>390</td><td>335</td><td>313</td><td>252</td><td>116</td><td>300以上</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	全相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	2,111	1,105	うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,288	1,530	808	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	件数	270	331	390	335	313	252	116	300以上	A	24時間365日対応可能な相談・診療体制を整え、県との委託契約により全県の精神科救急の窓口となる「精神科救急ダイヤル」を運営しており、必要時に必要な相談を受け、必要な診療を実施出来る体制を整えている。令和5年4月からは、県の精神科救急医療対策事業において、従来の志太榛原圏域の病院群輪番型に加え、全県域常時対応型の後方支援施設としての指定を受けており、よりスピード感を持った対応と、断らない精神科救急の実践が求められる。																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																								
全相談件数	3,020	2,718	3,957	3,649	1,857	2,111	1,105																																																																								
うち時間外	2,365	1,482	2,153	2,678	1,288	1,530	808																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																							
件数	270	331	390	335	313	252	116	300以上																																																																							
			42	①新たな入院患者が90日以内に退院できるよう促進し、精神科救急入院料の施設基準を維持する。	早期治療、早期退院の実践により、救急病棟（南2・北2）における「新規患者率」、「新規患者3ヶ月以内在宅移行率」はそれぞれの施設基準を満たしている。  新規患者率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>施設基準</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>救急</td><td>30%以上</td><td>72.0</td><td>71.0</td><td>71.4</td><td>61.7</td><td>69.7</td><td>69.0</td><td>68.3</td></tr> <tr><td>救急</td><td>40%以上</td><td>74.7</td><td>72.4</td><td>64.8</td><td>60.8</td><td>67.4</td><td>67.0</td><td>65.3</td></tr> </table> 新規患者3ヶ月以内在宅移行率 (単位:%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>施設基準</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>救急</td><td>20%以上</td><td>79.2</td><td>79.0</td><td>79.2</td><td>88.4</td><td>84.4</td><td>79.3</td><td>86.3</td></tr> <tr><td>救急</td><td>40%以上</td><td>87.4</td><td>88.2</td><td>88.2</td><td>89.7</td><td>86.3</td><td>77.3</td><td>85.0</td></tr> </table>	区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	救急	30%以上	72.0	71.0	71.4	61.7	69.7	69.0	68.3	救急	40%以上	74.7	72.4	64.8	60.8	67.4	67.0	65.3	区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	救急	20%以上	79.2	79.0	79.2	88.4	84.4	79.3	86.3	救急	40%以上	87.4	88.2	88.2	89.7	86.3	77.3	85.0	A	令和5年9月末の新規患者率及び新規患者3か月以内在宅移行率ともにほぼ前年度並みであり、基準を満たしている。 救急・急性期治療病棟の役割を適切に果たすとともに、精神科救急入院料の施設基準を維持することができている。																		
区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																							
救急	30%以上	72.0	71.0	71.4	61.7	69.7	69.0	68.3																																																																							
救急	40%以上	74.7	72.4	64.8	60.8	67.4	67.0	65.3																																																																							
区分	施設基準	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																							
救急	20%以上	79.2	79.0	79.2	88.4	84.4	79.3	86.3																																																																							
救急	40%以上	87.4	88.2	88.2	89.7	86.3	77.3	85.0																																																																							
	・他の医療機関では対応困難な精神疾患患者への先進的治療に積極的に取り組む。	○他の医療機関では対応困難な精神疾患患者に対する高度医療への積極的な取組 ①高度専門医療(クロザピン、m-ECT(修正型電気けいれん療法)、心理・社会的治療(心理教育、家族教室等))への取組	43	①薬物療法による治療効果が低い重症患者に対する治療法として、m-ECT(修正型電気けいれん療法)を積極的に実施する。 高度・専門医療の積極的な実施	m-ECTの治療を令和4年度も継続して積極的に実施している。  m-ECT実施件数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>毎年度目標</th></tr> <tr><td>施設数(件)</td><td>495</td><td>535</td><td>870</td><td>372</td><td>372</td><td>495</td><td>370</td><td>700以上</td></tr> <tr><td>実施患者数</td><td>60</td><td>66</td><td>70</td><td>59</td><td>56</td><td>51</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>中部地区</td><td>54</td><td>56</td><td>62</td><td>55</td><td>53</td><td>51</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>(静岡市)</td><td>48</td><td>43</td><td>50</td><td>43</td><td>43</td><td>43</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>東海地区</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>関西地区</td><td>3</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td><td>1</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td></tr> <tr><td>その他</td><td>0</td><td>1</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>---</td><td>---</td><td>---</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	施設数(件)	495	535	870	372	372	495	370	700以上	実施患者数	60	66	70	59	56	51	---	---	中部地区	54	56	62	55	53	51	---	---	(静岡市)	48	43	50	43	43	43	---	---	東海地区	3	3	3	1	1	---	---	---	関西地区	3	3	3	1	1	---	---	---	その他	0	1	0	0	0	---	---	---	A	m-ECT治療については、令和5年9月末現在で379件の治療を実施しており、前年度を上回るペースとなっている。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																							
施設数(件)	495	535	870	372	372	495	370	700以上																																																																							
実施患者数	60	66	70	59	56	51	---	---																																																																							
中部地区	54	56	62	55	53	51	---	---																																																																							
(静岡市)	48	43	50	43	43	43	---	---																																																																							
東海地区	3	3	3	1	1	---	---	---																																																																							
関西地区	3	3	3	1	1	---	---	---																																																																							
その他	0	1	0	0	0	---	---	---																																																																							
			44	①先端薬物療法(クロザピンなど)を積極的に実施する。	平成23年度に作成したクリニックルパスに基づき治療を開始し、令和4年末現在83名に対して継続投与中である。 静岡県内においては、現在10件の登録機関があるが、当院は3番目に承認を受けている。  クロザピン投与患者数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>5年度目標</th></tr> <tr><td>患者数</td><td>44</td><td>55</td><td>60</td><td>65</td><td>73</td><td>83</td><td>86</td><td>75以上</td></tr> </table>	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	患者数	44	55	60	65	73	83	86	75以上	A	令和5年度9月末現在で投与患者数は86人となっており、目標を大きく上回っている。																																																						
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																							
患者数	44	55	60	65	73	83	86	75以上																																																																							
			45	①心理・社会的治療についての取組を積極的に実施する。	平成22年度から取組を始めた認知行動療法プロジェクトを、心理・社会的治療プロジェクトに発展し、認知行動療法に加え、新たに心理教育・家族教室への取り組みを実施している。また、心理教育に関する院内外研修会を開催し、スタッフのレベルアップに努めている。  心理教育参加者数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>230</td><td>210</td><td>154</td><td>86</td><td>93</td><td>83</td><td>84</td></tr> </table> 心理教育研修会参加者数 (単位:人) <table border="1"> <tr><th>項目</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>参加者数</td><td>155</td><td>196</td><td>66</td><td>35</td><td>29</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table>	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	参加者数	230	210	154	86	93	83	84	項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	参加者数	155	196	66	35	29	0	0	A	令和5年度は外部活動を徐々に再開していることもあり、研修参加者数は5月末現在で前年度実績を上回っている。 院内の心理教育研修会については後期に実施する予定である。																																								
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																								
参加者数	230	210	154	86	93	83	84																																																																								
項目	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																								
参加者数	155	196	66	35	29	0	0																																																																								
	・入院患者が早期に退院し、地域で安心して生活できるように、多職種チームによる包括的在宅医療支援体制を構築する。	○多職種チームによる包括的在宅医療支援体制の構築 ①入院患者が早期に退院し、地域で安心して生活できるようになるための、多職種チームによる包括的在宅医療支援体制の構築	46	①在宅医療支援部を中心とした包括的在宅ケア(ACT)チームによる退院支援と手厚い24時間365日サポート体制による退院後の地域生活を支援する。	平成21年度に作成したガイドラインに沿って、ACTによる支援を実施している。平成22年2月の支援開始以来延べ28名の支援活動を実施している。令和5年9月末現在で、入院患者1名及び外来患者4名の支援を実施している。  ACT実施状況 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>対象者</td><td>外来</td><td>9人</td><td>11人</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td></tr> <tr><td></td><td>公営</td><td>0人</td><td>0人</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td><td>1</td></tr> <tr><td>活動状況</td><td>入院</td><td>多職種による定期訪問、ケースカンファレンス</td><td>多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	対象者	外来	9人	11人	4	4	4	4		公営	0人	0人	1	1	1	1	活動状況	入院	多職種による定期訪問、ケースカンファレンス	多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス					A	令和5年度9月末現在で、入院患者1名及び外来患者4人の外来患者に対して実施している。10月以降にも支援する予定の患者が増加する見込みである。																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																								
対象者	外来	9人	11人	4	4	4	4																																																																								
	公営	0人	0人	1	1	1	1																																																																								
活動状況	入院	多職種による定期訪問、ケースカンファレンス	多職種による退院前訪問、ケースカンファレンス																																																																												
	・「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の司法精神医療について、指定医療機関としての役割を積極的に果たす。	○医療観察法等の司法精神医療への積極的な関与 ①「心神喪失等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」の司法精神医療への指定医療機関としての積極的な関与	47	①医療観察法による入院処遇対象者を受け入れ、指定医療機関としての機能を最大限に発揮する。	令和5年度については、9月末現在で、2名の退院、1名の新規入院があった。  医療観察法病棟の稼働状況 (単位:床・%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>病床数(床)</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td><td>12</td></tr> <tr><td>病床利用率(%)</td><td>96.6</td><td>96.0</td><td>84.1</td><td>98.2</td><td>102.4</td><td>110.3</td><td>100.2</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	病床数(床)	12	12	12	12	12	12	12	病床利用率(%)	96.6	96.0	84.1	98.2	102.4	110.3	100.2	A	令和5年9月末現在での医療観察法病棟は12床満床となっている。なお、5月まで司法患者1名が特定病床に在院していたことから、稼働率は100%を超えている。																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																								
病床数(床)	12	12	12	12	12	12	12																																																																								
病床利用率(%)	96.6	96.0	84.1	98.2	102.4	110.3	100.2																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																			
						暫定	説明																		
	<p>・認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期及び小児から成人への移行期における精神疾患への対応を図る。</p>	<p>○認知症・依存症・摂食障害など多様な精神疾患に対応できる体制を構築し、発達障害や思春期及び小児から成人への移行期における精神疾患への対応 ①多様な精神疾患及び小児から成人への移行期における精神疾患等に対応するための体制の構築に向けた取組</p>	48	<p>①総合病院における身体合併症患者への精神科医療の提供体制を整備する。 ・公立病院経営強化プラン等の精神医療の方針を踏まえ、県内精神医療の中核病院としての役割を担う体制を整備する。 また、病棟整備計画の策定や県民要望に対応した新たな体制を構築し、病床病床の解消を行う。 ・総合病院、こども病院などと連携し、児童精神分野における精神科医療の提供体制の整備を図る。</p>	<p>令和2年4月より総合病院へ精神科医師1名を追加配置し、医師2名の体制とし、身体合併症の精神科リエゾン機能を強化するとともに、病棟整備に向けた検討会に参画している。</p>	A	<p>身体合併症の精神科リエゾン機能を強化するため、精神科医2名を当院からの総合病院へ配置している。 今後、認知症や依存症、発達障害、思春期における症状等の多様な精神疾患への対応するため、必要な施設整備を進めていく。</p>																		
	<p>・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。</p>	<p>○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①国の公立病院経営強化政策指針や県、病院機構における精神科のあり方検討を踏まえた医療体制及び病棟の整備 ②クロザピン投与患者数の増加 ③病床稼働率85%以上の維持 ④患者満足度(外来)の向上</p>	49	<p>①No.48 ②No.44 ③常時、救急患者を受け入れる体制の維持と、多職種連携による早期退院促進による効率的な病院運営に努める。 ④No.8</p>	<p>病床稼働率 (単位: %)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>毎年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>稼働率</td> <td>87.9</td> <td>91.1</td> <td>85.8</td> <td>84.8</td> <td>78.5</td> <td>80.1</td> <td>83.5</td> <td>85以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	稼働率	87.9	91.1	85.8	84.8	78.5	80.1	83.5	85以上	B	<p>こころの医療センターでは、新型コロナウイルス感染症の影響が少なくなったこともあり、令和5年9月現在の病床稼働率は目標値(85.0%以上)を下回っているものの、83.5%となっている。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																	
稼働率	87.9	91.1	85.8	84.8	78.5	80.1	83.5	85以上																	

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																																				
						暫定	説明																																																																																																																																																																																			
	<p>【目標値】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロザピン投与患者数(こころ)</li> <li>・病床稼働率(こころ)</li> <li>・患者満足度[外来](こころ)</li> </ul> <p>県立こども病院</p>	<p>【目標値】県立こころの医療センター</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・クロザピン投与患者数(こころ)</li> <li>・病床稼働率(こころ)</li> <li>・患者満足度[外来](こころ)</li> <li>・時間外診療件数(こころ)</li> <li>・m-ECT実施件数(こころ)</li> </ul> <p>(5) 県立こども病院診療事業 県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療を提供する。また、小児期から成人期への移行期医療に取組む。 県民に提供する医療 &lt;業務予定量&gt; 病床数 279床 一般病床 243床 精神病床 36床 外来患者 121,675人 入院患者 75,900人</p>	50	—	<p>入院・外来患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>75,586</td> <td>75,395</td> <td>75,736</td> <td>65,681</td> <td>66,476</td> <td>67,877</td> <td>32,748</td> <td>75,900</td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>105,763</td> <td>110,185</td> <td>111,874</td> <td>103,773</td> <td>121,675</td> <td>117,697</td> <td>57,765</td> <td>121,675</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院患者数	75,586	75,395	75,736	65,681	66,476	67,877	32,748	75,900	外来患者数	105,763	110,185	111,874	103,773	121,675	117,697	57,765	121,675	—	—																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院患者数	75,586	75,395	75,736	65,681	66,476	67,877	32,748	75,900																																																																																																																																																																																		
外来患者数	105,763	110,185	111,874	103,773	121,675	117,697	57,765	121,675																																																																																																																																																																																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小児重症心疾患患者に対してハイブリッド手術室等の先進設備を活用し、常時高度な先進的治療を提供する。小児心疾患治療の先進的施設として専門医等の育成に努める。</li> </ul>	<p>○小児重症心疾患患者に対し、常時高度な専門的治療を提供する体制の充実及び小児心疾患治療の先進的な施設としての専門医等の育成</p> <p>①小児重症心疾患患者へ常時対応による専門的治療の提供体制の充実 ②小児循環器疾患治療スタッフに対する教育体制の充実や小児集中治療室(PICU)及び新生児集中治療室(NICU)及び循環器集中治療室(CCU)の相互研修の実施を通じた治療レベルの向上による循環器センターの機能を強化 ③小児用補助人工心臓装置の活用に向けた体制整備 ④心エコー画像のリアルタイム遠隔診断の実施 ⑤血管造影装置の2台化による循環器治療の提供体制の整備</p>	51	<p>①心臓血管外科、循環器科の連携による専門治療と、術後管理を行う小児集中治療室(PICU)を加えた循環器センターの体制を維持・充実させる。 ②新生児集中治療室(NICU)・小児集中治療室(PICU)と共同でカンファレンスを実施し、より研修効果をあげ、治療レベルの向上を図る。 ③小児用補助人工心臓装置の活用のために職員を研修に派遣する。 ④心エコー画像の遠隔診断を継続実施する。 ⑤カテーテル2室化工事及び血管造影装置を設置する。</p>	<p>平成28年に循環器病棟に設置した準重症患者対応病室は、順調に運用されている。今後も効果的な運用を継続していく。</p> <p>心臓カテーテル治療実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施件数</td> <td>200</td> <td>179</td> <td>206</td> <td>192</td> <td>204</td> <td>187</td> <td>125</td> <td>230以上</td> </tr> </tbody> </table> <p>ハイブリッド手術実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>6</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>8</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> </tr> </tbody> </table> <p>CCU稼働率 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>2,939</td> <td>3,063</td> <td>3,176</td> <td>3,021</td> <td>3,011</td> <td>3,994</td> <td>1,994</td> <td>1,994</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>80.5</td> <td>83.9</td> <td>86.8</td> <td>82.8</td> <td>71.7</td> <td>91.2</td> <td>90.8</td> <td>90.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>循環器センターにおける研修医の人数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>8</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> <p>小児用補助人工心臓装置の使用状況 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>心エコー画像遠隔診断実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>症例数</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	実施件数	200	179	206	192	204	187	125	230以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	件数	6	8	5	8	6	4	3	3	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院延患者数	2,939	3,063	3,176	3,021	3,011	3,994	1,994	1,994	病床稼働率	80.5	83.9	86.8	82.8	71.7	91.2	90.8	90.8	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	人数	6	5	9	7	9	8	10	10	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	件数	1	1	0	0	0	0	0	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	症例数	7	5	3	0	2	5	5	5	<p>B</p> <p>令和5年5月の電子カルテの更新に伴い、安全確保を優先し、入院及び外来患者の受け入れ調整を行ったことあり、入院患者数、外来患者数ともに、目標値には届かない見込みだが、令和4年度並の数値で推移している。 県内小児医療の中核病院として、一般医療機関では対応困難な小児患者に対する高度・専門医療やハイリスク妊婦に対する周産期医療の提供に努めた。</p>																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
実施件数	200	179	206	192	204	187	125	230以上																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
件数	6	8	5	8	6	4	3	3																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院延患者数	2,939	3,063	3,176	3,021	3,011	3,994	1,994	1,994																																																																																																																																																																																		
病床稼働率	80.5	83.9	86.8	82.8	71.7	91.2	90.8	90.8																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
人数	6	5	9	7	9	8	10	10																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
件数	1	1	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
症例数	7	5	3	0	2	5	5	5																																																																																																																																																																																		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の医療機関と連携して、ハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの構築に努めるほか、新生児に対して、高度な先進的治療を提供するための体制を拡充する。</li> </ul>	<p>○地域の医療機関と連携したハイリスク胎児・妊婦を早期に把握、治療するための一貫した医療システムの維持・充実と新生児に対しての高度な専門的治療を提供する体制の拡充</p> <p>①先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置のための機器整備 ②新生児集中治療室(NICU)における低侵襲手術の実施</p>	52	<p>①最新式の超音波診断装置を導入する。 ②必要に応じてNICU内での手術を継続実施する。</p>	<p>産科入院患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>6,305</td> <td>5,850</td> <td>5,810</td> <td>4,461</td> <td>4,823</td> <td>3,642</td> <td>1,575</td> <td>1,575</td> </tr> </tbody> </table> <p>周産期医療に係る地域医療機関向け研修会等開催実績 (単位:回、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>91</td> <td>81</td> <td>94</td> <td>81</td> <td>75</td> <td>71</td> <td>41</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>参加者数</td> <td>439</td> <td>373</td> <td>377</td> <td>355</td> <td>155</td> <td>45</td> <td>20</td> <td>20</td> </tr> </tbody> </table> <p>NICU診療実績 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>2,318</td> <td>2,579</td> <td>2,507</td> <td>2,029</td> <td>2,094</td> <td>2,121</td> <td>2,590</td> <td>2,590</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>96.1</td> <td>84.0</td> <td>79.7</td> <td>76.5</td> <td>77.5</td> <td>77.0</td> <td>70.2</td> <td>70.2</td> </tr> </tbody> </table> <p>CCU診療実績 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>4,526</td> <td>4,646</td> <td>4,223</td> <td>4,085</td> <td>4,072</td> <td>5,001</td> <td>2,597</td> <td>2,597</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>69</td> <td>70.7</td> <td>71.2</td> <td>71.3</td> <td>75.8</td> <td>76.1</td> <td>78.8</td> <td>78.8</td> </tr> </tbody> </table> <p>MFCU診療実績 (単位:人、%)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院延患者数</td> <td>2,498</td> <td>2,579</td> <td>2,524</td> <td>1,574</td> <td>1,632</td> <td>1,620</td> <td>1,590</td> <td>1,590</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>94.4</td> <td>85.8</td> <td>86.3</td> <td>68.3</td> <td>65.4</td> <td>66.0</td> <td>45.5</td> <td>45.5</td> </tr> </tbody> </table> <p>新生児出生体重別入院患者数実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>体重(kg)</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> <th>5年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>500未満</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>34</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>4</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>500-1,000</td> <td>28</td> <td>24</td> <td>41</td> <td>19</td> <td>25</td> <td>24</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1,000-1,500</td> <td>28</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>28</td> <td>15</td> <td>24</td> <td>10</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>1,500以上</td> <td>143</td> <td>165</td> <td>130</td> <td>168</td> <td>248</td> <td>180</td> <td>169</td> <td>169</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>207</td> <td>224</td> <td>219</td> <td>219</td> <td>291</td> <td>229</td> <td>133</td> <td>133</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院患者数	6,305	5,850	5,810	4,461	4,823	3,642	1,575	1,575	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	開催回数	91	81	94	81	75	71	41	41	参加者数	439	373	377	355	155	45	20	20	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院延患者数	2,318	2,579	2,507	2,029	2,094	2,121	2,590	2,590	病床稼働率	96.1	84.0	79.7	76.5	77.5	77.0	70.2	70.2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院延患者数	4,526	4,646	4,223	4,085	4,072	5,001	2,597	2,597	病床稼働率	69	70.7	71.2	71.3	75.8	76.1	78.8	78.8	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	入院延患者数	2,498	2,579	2,524	1,574	1,632	1,620	1,590	1,590	病床稼働率	94.4	85.8	86.3	68.3	65.4	66.0	45.5	45.5	体重(kg)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標	500未満	28	24	34	19	25	25	4	4	500-1,000	28	24	41	19	25	24	10	10	1,000-1,500	28	26	25	28	15	24	10	10	1,500以上	143	165	130	168	248	180	169	169	合計	207	224	219	219	291	229	133	133	<p>A</p> <p>最新式の超音波診断装置など最先端の機器整備を整備し、先天異常の出生前超音波診断や、出生後の管理・処置等を適切に行った。 こども病院は、他の医療機関では対応が困難な超低出生体重児、極低出生体重児を数多く受け入れている。令和5年度も、1,500g未満の新生児入院患者について、1年を通して患者数に波はあるものの、受け入れ実績を著実に重ねている。 また、NICUの入院延患者数は徐々に回復しており、令和5年度の稼働率は新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度並の数値で推移している。 なお、地域医療機関を対象とした研修会、検討会については、令和5年度は9月末までに1回開催した。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院患者数	6,305	5,850	5,810	4,461	4,823	3,642	1,575	1,575																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
開催回数	91	81	94	81	75	71	41	41																																																																																																																																																																																		
参加者数	439	373	377	355	155	45	20	20																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院延患者数	2,318	2,579	2,507	2,029	2,094	2,121	2,590	2,590																																																																																																																																																																																		
病床稼働率	96.1	84.0	79.7	76.5	77.5	77.0	70.2	70.2																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院延患者数	4,526	4,646	4,223	4,085	4,072	5,001	2,597	2,597																																																																																																																																																																																		
病床稼働率	69	70.7	71.2	71.3	75.8	76.1	78.8	78.8																																																																																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
入院延患者数	2,498	2,579	2,524	1,574	1,632	1,620	1,590	1,590																																																																																																																																																																																		
病床稼働率	94.4	85.8	86.3	68.3	65.4	66.0	45.5	45.5																																																																																																																																																																																		
体重(kg)	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	5年度目標																																																																																																																																																																																		
500未満	28	24	34	19	25	25	4	4																																																																																																																																																																																		
500-1,000	28	24	41	19	25	24	10	10																																																																																																																																																																																		
1,000-1,500	28	26	25	28	15	24	10	10																																																																																																																																																																																		
1,500以上	143	165	130	168	248	180	169	169																																																																																																																																																																																		
合計	207	224	219	219	291	229	133	133																																																																																																																																																																																		

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																																																									
						暫定	説明																																																																																																																																																																																																								
	・本県における小児がんの拠点機能を有する病院として、高度な集学的治療に積極的に取り組む。	○小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として、高度な集学的治療への積極的な取組 ①小児がんの集学的治療推進、セカンドオピニオンの受入れなど、がん診療の機能強化 ②院内がん登録の推進 ③県立静岡がんセンターとの連携強化 ④AYA世代がん診療の連携等を推進 ⑤がん公開講座や研修会(脳腫瘍関連)等の開催	53	小児がん拠点病院として、整備した施設及び体制の活用により、小児がん診療の更なる充実を行う。 ①静岡県小児がん拠点病院(厚生労働省指定)として血液腫瘍に対しては、骨髄・末梢血幹細胞・臍帯血移植などの治療法を利用して対応する。 ③県立静岡がんセンターとの共同カンファレンスを実施する。 ④AYA世代がんに携わる医療従事者向け研修会を開催する。 ⑤がん公開講座や研修会(脳腫瘍関連)等を開催する。	血液腫瘍科延患者数実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院</td> <td>7,977</td> <td>8,656</td> <td>7,849</td> <td>7,335</td> <td>4,810</td> <td>6,268</td> <td>3,405</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>3,711</td> <td>3,601</td> <td>3,713</td> <td>3,298</td> <td>3,665</td> <td>3,516</td> <td>1,558</td> </tr> </tbody> </table> 血液幹細胞移植実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>骨髄移植</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>末梢血</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>臍帯血</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>12</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> 小児がん登録件数 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>登録件数</td> <td>58</td> <td>47</td> <td>50</td> <td>53</td> <td>53</td> <td>42</td> <td>18</td> </tr> </tbody> </table> がんセンターとの共同カンファレンス回数 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>7</td> <td>3</td> <td>9</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> AYA世代がん研修会実施回数 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> </tbody> </table> がん公開講座件数 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>件数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 【参考】北5病棟改修にかかる打ち合わせ回数 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>17</td> <td>25</td> </tr> </tbody> </table> 令和3年度7月に完成済  研修会(脳腫瘍関係) (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>開催回数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>-</td> <td>64</td> <td>61</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	6,268	3,405	外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	3,516	1,558	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	骨髄移植	1	3	3	2	3	2	1	末梢血	2	4	3	1	1	1	1	臍帯血	10	14	10	12	6	10	5	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	登録件数	58	47	50	53	53	42	18	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	回数	2	3	3	7	3	9	6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	回数	1	1	4	2	2	2	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	件数	-	-	1	0	1	1	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	回数	-	-	-	17	25	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	開催回数	-	-	-	-	1	1	0	参加人数	-	-	-	-	64	61	0	A	こども病院は、全国で15施設しか認定されない厚生労働省指定の小児がん拠点病院に平成31年4月に初めて指定され、小児がん相談室の設置、院内がん登録中級認定者の専任化等により体制整備に努めてきた。 令和3年度には、クリーンエリアを拡大するために病棟を改築し、併せて病棟のWi-Fi環境を整備した。令和4年度には、そのハード面での整備を入院している小児がん患者のオンライン学習の支援につなげた。特に高校生のオンライン授業については、県教育委員会、学校との連携により、正式に履修修得可能となり、留年や通信制の高校に編入することなく、高校を卒業できるようになった。こうした着実な取組により、拠点病院としての指定を令和4年度に再度受け、令和5年4月から2期目の取組を開始している。 令和5年度、小児がん登録件数は9月末で18件であるが、造血幹細胞移植は計5件、がんセンターとの共同カンファレンスは6回と実績を伸ばした。また、AYA世代を対象とした研修会は、9月末時点で2回実施している。																																												
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
入院	7,977	8,656	7,849	7,335	4,810	6,268	3,405																																																																																																																																																																																																								
外来	3,711	3,601	3,713	3,298	3,665	3,516	1,558																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
骨髄移植	1	3	3	2	3	2	1																																																																																																																																																																																																								
末梢血	2	4	3	1	1	1	1																																																																																																																																																																																																								
臍帯血	10	14	10	12	6	10	5																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
登録件数	58	47	50	53	53	42	18																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
回数	2	3	3	7	3	9	6																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
回数	1	1	4	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
件数	-	-	1	0	1	1	0																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度																																																																																																																																																																																																										
回数	-	-	-	17	25																																																																																																																																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
開催回数	-	-	-	-	1	1	0																																																																																																																																																																																																								
参加人数	-	-	-	-	64	61	0																																																																																																																																																																																																								
	・重篤な小児救命救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化し、救急医療全般にわたって地域の医療機関と連携して受け入れる体制を整備する。	○重篤な小児救急患者を常時受け入れ可能な体制を維持・強化及び地域で不足する小児救急医療体制の充実等、小児救急医療のモデルとなる体制整備 ①院内各専門領域のバックアップによる、小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした小児救急医療全般にわたる受入体制の強化、拡充 ②小児救命救急センターとしてメディカルコントロール体制整備への協力 ③小児救急専門スタッフの教育の充実 ④患者家族宿泊施設の建替え	54	①PICU(小児集中治療センター)・救急総合診療科を中心とした小児救急医療体制の強化を図る。 ①小児救急センター・小児集中治療センターを中心とした、365日24時間小児救急患者の受け入れ可能な体制を維持、充実させる。 ③院内の小児救急専門スタッフ(医師、看護師)育成に努める。 ④患者家族宿泊施設の工事に着手する。	小児救急センターの患者数 (単位:人・%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> </tbody> </table> PICU診療実績 (単位:人・%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> </tbody> </table> PICU入院患者数 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>2,499</td> <td>4,388</td> <td>4,696</td> <td>4,254</td> <td>4,044</td> <td>4,334</td> <td>763</td> </tr> </tbody> </table> ドクターへ見送実績 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>34</td> <td>41</td> <td>33</td> <td>22</td> <td>19</td> <td>21</td> <td>14</td> </tr> </tbody> </table> ドクターへ見送実績 (単位:回) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>回数</td> <td>293</td> <td>271</td> <td>271</td> <td>193</td> <td>212</td> <td>222</td> <td>86</td> </tr> </tbody> </table> PICU医師・看護師 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>24</td> <td>29</td> <td>29</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> <td>23</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	回数	34	41	33	22	19	21	14	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	回数	293	271	271	193	212	222	86	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	医師	14	15	15	15	15	15	15	看護師	24	29	29	23	23	23	23	A	PICU入院患者数は、令和3年6月に実施したICUの統合(PICUとCCUの統合)の結果、心臓重症患者の受入を開始したことにより大幅に増加しており、令和5年度は令和4年度を上回る数値で推移している。 病床稼働率についても、PICU患者数が増加したことに加え、CCU病床をICUの役割を持たせた後方病床としたことにより集中治療系の効率的な病床運用が可能となった。結果、令和5年度は令和4年度を上回る90%以上の病床稼働率となっている。 また、ER患者数も前年度並となり、富士・富士宮、志太棟原等の地域で脆弱化する小児救急体制を確保している。 なお、令和5年度においても、PICU病棟の医師確保に努め、専門スタッフを配置し、小児救急体制の充実を図っている。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	2,499	4,388	4,696	4,254	4,044	4,334	763																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
回数	34	41	33	22	19	21	14																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
回数	293	271	271	193	212	222	86																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
医師	14	15	15	15	15	15	15																																																																																																																																																																																																								
看護師	24	29	29	23	23	23	23																																																																																																																																																																																																								
	・精神疾患を持つ小児患者やその家族に対して、児童精神科分野における中核的機能の発揮に努める。	○子どものこころの診療分野について、総合病院、こころの医療センターとの連携を図り、県内の児童精神科医療に貢献 ①「子どもの心の診療ネットワーク事業」の拠点病院として、教育・福祉・医療機関の連携ネットワークの更なる拡大、充実 ②臨床研修の充実による児童精神科医の継続的育成	55	①児童精神科医療について、県立病院機構精神科あり方検討を踏まえ、総合病院、こころの医療センターなどと連携し、体制の見直し・充実を図る。	各地域の医療機関、消防機関が参加するメディカルコントロール協議会に集中治療科、小児救急科等の医師が参加している。救急隊員等を対象とした研修会等は、新型コロナウイルス感染症の影響により実施できなかった。 救急関係等開催実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>対象</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児救命救急研究会</td> <td>小児救命、救急関係関係者</td> <td>135</td> <td>161</td> <td>86</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>救急救命士再教育病院実習</td> <td>救急救命士</td> <td>10</td> <td>6</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	対象	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	小児救命救急研究会	小児救命、救急関係関係者	135	161	86	0	0	0	0	救急救命士再教育病院実習	救急救命士	10	6	0	0	0	0	0	-	令和5年度は、県メディカルコントロール推進作業部に集中治療科医師が参加している。また、静岡市消防局が主催する静岡地域メディカルコントロール協議会についても小児救急科等の医師が参加し、体制整備に協力している。 救急隊員等を対象とした研修会等は実施できていないが、重篤な小児患者の受け入れ等救急体制を継続的に整備しており、小児救命救急センターとしての責務を果たしている。																																																																																																																																																																													
区分	対象	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																							
小児救命救急研究会	小児救命、救急関係関係者	135	161	86	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																							
救急救命士再教育病院実習	救急救命士	10	6	0	0	0	0	0																																																																																																																																																																																																							
			56		こころの診療科診療実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>入院患者数</td> <td>10,864</td> <td>10,011</td> <td>9,445</td> <td>7,890</td> <td>10,353</td> <td>11,238</td> <td>4,656</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>58</td> <td>57</td> <td>50</td> <td>42</td> <td>71</td> <td>53</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>12,607</td> <td>12,376</td> <td>11,604</td> <td>11,416</td> <td>13,211</td> <td>12,506</td> <td>6,013</td> </tr> <tr> <td>外来初診患者数</td> <td>502</td> <td>466</td> <td>514</td> <td>579</td> <td>617</td> <td>542</td> <td>266</td> </tr> </tbody> </table> こころの診療科地域別患者数実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>東部</td> <td>766</td> <td>779</td> <td>759</td> <td>744</td> <td>829</td> <td>796</td> <td>664</td> </tr> <tr> <td>中部</td> <td>1,157</td> <td>1,190</td> <td>1,227</td> <td>1,329</td> <td>1,423</td> <td>1,424</td> <td>1,215</td> </tr> <tr> <td>西部</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>59</td> <td>56</td> <td>53</td> <td>44</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>県外</td> <td>15</td> <td>10</td> <td>14</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>1,997</td> <td>2,035</td> <td>2,059</td> <td>2,142</td> <td>2,318</td> <td>2,273</td> <td>1,931</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	入院患者数	10,864	10,011	9,445	7,890	10,353	11,238	4,656	入院患者数	58	57	50	42	71	53	41	入院患者数	12,607	12,376	11,604	11,416	13,211	12,506	6,013	外来初診患者数	502	466	514	579	617	542	266	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	東部	766	779	759	744	829	796	664	中部	1,157	1,190	1,227	1,329	1,423	1,424	1,215	西部	59	56	59	56	53	44	41	県外	15	10	14	13	13	9	5	合計	1,997	2,035	2,059	2,142	2,318	2,273	1,931	A	こころの診療科の令和5年度外来延患者数は、令和4年度並の数値で推移している。 また、県内の児童精神科医療の中核機関として、中部地域だけでなく、児童精神科の医療機関が少ない東部地域からも多くの患者を受け入れている。																																																																																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	10,864	10,011	9,445	7,890	10,353	11,238	4,656																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	58	57	50	42	71	53	41																																																																																																																																																																																																								
入院患者数	12,607	12,376	11,604	11,416	13,211	12,506	6,013																																																																																																																																																																																																								
外来初診患者数	502	466	514	579	617	542	266																																																																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)																																																																																																																																																																																																								
東部	766	779	759	744	829	796	664																																																																																																																																																																																																								
中部	1,157	1,190	1,227	1,329	1,423	1,424	1,215																																																																																																																																																																																																								
西部	59	56	59	56	53	44	41																																																																																																																																																																																																								
県外	15	10	14	13	13	9	5																																																																																																																																																																																																								
合計	1,997	2,035	2,059	2,142	2,318	2,273	1,931																																																																																																																																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																												
						暫定	説明																																																											
			57	②厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に静岡県の拠点病院として参加する。	<p>事業を行っている全国19都府県1政令指定都市にある29の拠点病院の一つとして参加し、学校・地域との連携強化を図った。 (拠点病院を配置している都府県等) 岩手県、千葉県、東京都、石川県、山梨県、長野県、静岡県、三重県、大阪府、兵庫県、鳥取県、島根県、岡山県、香川県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県、沖縄県、札幌市</p> <p>精神保健講座等開催実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">5年度9月末</th> </tr> <tr> <th>講座</th> <th>施設巡回</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象</td> <td>県内小中・子ども 学校教諭・家族</td> <td>11回</td> <td>県内小中・子ども 学校教諭・家族</td> <td>5回</td> <td>県内小中・子ども 学校教諭・家族</td> <td>5回</td> <td>県内小中・子ども 学校教諭・家族</td> <td>11回</td> <td>2回</td> <td>11回</td> <td>4回</td> <td>10回</td> <td>3回</td> <td>11回</td> </tr> <tr> <td>参加者数等</td> <td>5回 156人</td> <td>11回 11施設</td> <td>5回 159人</td> <td>10回 10施設</td> <td>5回 96人</td> <td>11回 11施設</td> <td>2回 49人</td> <td>11回 11施設</td> <td>4回 140人</td> <td>10回 10施設</td> <td>3回 75人</td> <td>11回 11施設</td> <td>2回 60人</td> <td>7回 7施設</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		5年度9月末		講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	対象	県内小中・子ども 学校教諭・家族	11回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	5回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	5回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	11回	2回	11回	4回	10回	3回	11回	参加者数等	5回 156人	11回 11施設	5回 159人	10回 10施設	5回 96人	11回 11施設	2回 49人	11回 11施設	4回 140人	10回 10施設	3回 75人	11回 11施設	2回 60人	7回 7施設	A	<p>こども病院は、厚生労働省の「子どもの心の診療ネットワーク事業」に静岡県の拠点病院として参加しており、令和5年度も医療機関、学校、地域等との連携強化に努めるとともに、診療関係者の研修・育成事業に取り組んでいる。 令和5年度、9月末時点で、児童養護施設の巡回事業は7回実施しており、教員を対象とした精神保健講座は2回実施している。</p>
区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		5年度9月末																																																					
	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回	講座	施設巡回																																																				
対象	県内小中・子ども 学校教諭・家族	11回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	5回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	5回	県内小中・子ども 学校教諭・家族	11回	2回	11回	4回	10回	3回	11回																																																				
参加者数等	5回 156人	11回 11施設	5回 159人	10回 10施設	5回 96人	11回 11施設	2回 49人	11回 11施設	4回 140人	10回 10施設	3回 75人	11回 11施設	2回 60人	7回 7施設																																																				
			58	③児童精神科医の育成に努める。	<p>有期職員医師を1名採用し(平成25年度から延べ10名)、専門的な児童精神科医を育成している。</p> <p>有期職員医師採用実績 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>令和5年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>採用人数</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	令和5年度	採用人数	1	1	1	1	1	1	1	A	<p>児童精神科臨床研修として有期職員医師を1名採用し、児童精神科医の育成を行った。</p>																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	令和5年度																																																											
採用人数	1	1	1	1	1	1	1																																																											

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																																																
						暫定	説明																																																																																																																																																																																															
	・重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制について、県と連携して整備を図る。	○重症心身障害児等の医療的ケア児の退院、在宅移行を支援する体制を県と連携して具体化 ①医療的ケア児のレスパイト対応のため、障害者総合支援法に基づく「短期入所サービス」の実施	59	①言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォロー、作業療法における急性期作業療法他の実施を図る。 ①医療的ケア児の在宅移行支援病棟の設置を検討する。 ①「短期入所サービス」事業の実施	<p>医療的ケア児に関する検討会開催実績 (単位:回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>回数</td><td>-</td><td>5</td><td>3</td><td>6</td><td>6</td><td>3</td><td>0</td></tr> </table> <p>リハビリ実施実績 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>毎年度目標</th></tr> <tr><td>理学療法</td><td>18,944</td><td>17,309</td><td>22,829</td><td>22,985</td><td>24,683</td><td>25,770</td><td>12,847</td><td>15,000</td></tr> <tr><td>作業療法</td><td>6,656</td><td>6,039</td><td>4,546</td><td>3,813</td><td>7,794</td><td>11,495</td><td>6,166</td><td>-</td></tr> <tr><td>言語聴覚療法</td><td>7,306</td><td>7,901</td><td>9,744</td><td>10,162</td><td>10,045</td><td>9,555</td><td>4,720</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>32,906</td><td>31,249</td><td>37,119</td><td>36,960</td><td>42,522</td><td>46,820</td><td>23,733</td><td>-</td></tr> </table> <p>短期入所利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>利用者数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>0</td><td>3</td><td>1</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	回数	-	5	3	6	6	3	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	25,770	12,847	15,000	作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	11,495	6,166	-	言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	9,555	4,720	-	計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	46,820	23,733	-	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	利用者数	-	-	-	-	0	3	1	A	<p>こども病院では、言語聴覚業務における学校現場との連携、理学療法における退院後のフォローなどを行っており、令和5年度のハビリ実施件数は、過去最大件数であった令和4年度を上回る数値で推移している。</p> <p>在宅移行の推進や在宅移行後の医療的ケア児への対応については、令和2年度に指定障害福祉サービスによる、短期入所者の指定を受け、令和5年度は9月末で1人の利用があった。</p> <p>県内唯一の小児専門病院として小児の高度専門医療を担っているが、慢性期医療・福祉の分野となる医療的ケア児については、在宅移行、在宅移行後の患児・家族へのフォローに関して、各分野との関係の整理や、方向性の検討を行った。</p>																																																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																															
回数	-	5	3	6	6	3	0																																																																																																																																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																																																																																																														
理学療法	18,944	17,309	22,829	22,985	24,683	25,770	12,847	15,000																																																																																																																																																																																														
作業療法	6,656	6,039	4,546	3,813	7,794	11,495	6,166	-																																																																																																																																																																																														
言語聴覚療法	7,306	7,901	9,744	10,162	10,045	9,555	4,720	-																																																																																																																																																																																														
計	32,906	31,249	37,119	36,960	42,522	46,820	23,733	-																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																															
利用者数	-	-	-	-	0	3	1																																																																																																																																																																																															
	・効率的な病院運営を図り、また、県民に安全で質の高い医療の提供を行うため、病床稼働率及び入院・外来患者満足度について各事業年度で高い水準を達成する。	○効率的な病院運営による県民に安全で質の高い医療を提供 ①医療安全体制の徹底 ②入院支援センターを活用した患者サービスの向上 ③心臓カテーテル治療の増加 ④病床稼働率75%以上の維持 ⑤患者満足度[入院・外来]の向上 ⑥遠隔医療の適切な推進	60	①医療安全体制を徹底し、国際的な医療機能評価であるJCI取得を視野に入れた、院内機能強化を進める ②入院支援センターの業務の推進 ③No.51 ④効率的な病院運営を行い、高い病床稼働率を維持する。 ⑤No.8 ⑥遠隔による外来診療、セカンドオピニオンを実施する ⑦専門の指導医により、隣接する医療圏の小児二次救急医療機関が行う診療を遠隔で支援する。	<p>JCIワーキングの設置と開催回数 (単位:件)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>-</td><td>-</td><td>3</td><td>-</td><td>0</td></tr> </table> <p>病棟運営ワーキング開催回数(入院支援センターに係る検討)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>5</td><td>2</td></tr> </table> <p>入院支援センター設置ワーキング開催実績※ (単位:回)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>回数</td><td>-</td><td>-</td><td>13</td><td>12</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td></tr> </table> <p>※令和4年度以降は病棟運営ワーキングにて運用を検討</p> <p>病床稼働率 (単位:%)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>毎年度目標</th></tr> <tr><td>稼働率</td><td>76.4</td><td>76.2</td><td>76.4</td><td>66.4</td><td>76.7</td><td>75.9</td><td>73.0</td><td>75以上</td></tr> </table> <p>入院支援センター利用者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>利用者数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>5,382</td><td>4,573</td><td>4,814</td><td>2,355</td></tr> </table> <p>遠隔外来患者数 (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>患者数</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>117</td><td>217</td><td>181</td><td>78</td></tr> </table>	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	開催回数	-	-	3	-	0	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	開催回数	-	-	-	5	2	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	回数	-	-	13	12	4	0	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標	稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	75.9	73.0	75以上	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	利用者数	-	-	-	5,382	4,573	4,814	2,355	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	患者数	-	-	-	117	217	181	78	B	<p>令和5年5月の電子カルテの更新に伴い、安全確保を優先し、4月及び5月に入院患者の受入れ調整を行ったこともあり、令和5年9月末時点の病床稼働率は累計で73.0%であった。しかし6月以降は目標値の75.0%を大きく上回る5月も、年間で見ると病床稼働率の上昇が見込まれる。</p> <p>こども病院は極めて広域性があり、遠方から来院する患者の負担を軽減しながら安全で質の高い医療を提供するため、令和2年9月からオンラインによる外来診療体制を全国に先駆けて構築しており、令和5年度も継続して診療を実施した。</p> <p>また、地域・小児夜間救急における地域病院群オンライン連携による365日対応を試行する「小児救急リモート指導医相談支援事業」について、関係者会議での報告・協議を行いつつ、実証試験を進めている。課題である運用に乗せるための各病院への周知を進め、先行病院については12月の運用開始を目標としている。</p> <p>国際的な医療機能評価であるJCIの取得に向けた取組として、まずは令和6月に受審予定の日本医療機能評価機構による病院機能評価に向けた「病院の質向上プロジェクト」を実施し、病院の理念・基本方針の実現に向けて取り組んでいる。</p>																																																																																																					
区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																																	
開催回数	-	-	3	-	0																																																																																																																																																																																																	
区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																																	
開催回数	-	-	-	5	2																																																																																																																																																																																																	
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																															
回数	-	-	13	12	4	0	0																																																																																																																																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	毎年度目標																																																																																																																																																																																														
稼働率	76.4	76.2	76.4	66.4	76.7	75.9	73.0	75以上																																																																																																																																																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																															
利用者数	-	-	-	5,382	4,573	4,814	2,355																																																																																																																																																																																															
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																																																															
患者数	-	-	-	117	217	181	78																																																																																																																																																																																															
	【目標値】 ・心臓カテーテル治療実績(こども) ・病床稼働率(こども) ・患者満足度[入院・外来](こども)	【目標値】県立こども病院 ・心臓カテーテル治療実績(こども) ・病床稼働率(こども) ・患者満足度[入院・外来](こども) ・小児がん登録件数(こども) ・リハ実施件数(こども)	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																												
2 医療従事者の確保及び質の向上	2 医療従事者の確保及び質の向上	2 医療従事者の確保及び質の向上	-	-	-	-	-	-	-	-	-																																																																																																																																																																																											
各病院及び地域の医療水準の維持・向上を図るため、医師、看護師等医療従事者の確保に努めること。また、優秀な人材を育成するため、院内研修及び国内外との交流による研修機能の充実を図ること。さらに、医療従事者が働きやすい環境の整備に努めること。	県立病院が提供する医療の質の向上を図り、最適な医療を安全に提供するため、医療従事者が専門業務に専念できる体制や働きやすい環境の整備に努めることにより、優秀な人材の確保を行う。また、教育研修機能の充実や国内外の医療機関との交流などを推進し、医療従事者の育成に積極的に取り組む。	・業務運営に必要な人材の確保に努める。	61	本部・各病院(総務)	<p>職員の確保状況(各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th><th>5年度9月末</th><th>5年度9月末</th><th>5年度9月末</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td rowspan="10">正規職員</td><td>総合</td><td>医師</td><td>177</td><td>189</td><td>185</td><td>190</td><td>202</td><td>195</td><td>197</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>6</td><td>5</td><td>6</td><td>6</td><td>5</td><td>5</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>管理職</td><td>761</td><td>754</td><td>755</td><td>751</td><td>749</td><td>749</td><td>749</td><td>749</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>看護師</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td><td>13</td></tr> <tr><td>医師</td><td>120</td><td>116</td><td>120</td><td>120</td><td>119</td><td>119</td><td>119</td><td>119</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>91</td><td>92</td><td>99</td><td>104</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr> <tr><td>子ども</td><td>看護師</td><td>398</td><td>410</td><td>398</td><td>393</td><td>392</td><td>382</td><td>392</td></tr> <tr><td>医師</td><td>281</td><td>285</td><td>297</td><td>309</td><td>317</td><td>308</td><td>312</td><td>312</td></tr> <tr><td>計</td><td>看護師</td><td>7</td><td>7</td><td>8</td><td>7</td><td>7</td><td>7</td><td>-</td></tr> <tr><td>医師</td><td>1,279</td><td>1,280</td><td>1,273</td><td>1,264</td><td>1,310</td><td>1,300</td><td>1,310</td><td>1,310</td></tr> <tr><td rowspan="10">有期職員</td><td>総合</td><td>医師</td><td>39</td><td>39</td><td>110</td><td>100</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>62</td><td>61</td><td>60</td><td>70</td><td>70</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>医師</td><td>4</td><td>6</td><td>11</td><td>5</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>こころ</td><td>看護師</td><td>10</td><td>10</td><td>8</td><td>7</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>医師</td><td>48</td><td>50</td><td>45</td><td>45</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>子ども</td><td>看護師</td><td>117</td><td>118</td><td>115</td><td>114</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>医師</td><td>148</td><td>152</td><td>160</td><td>159</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>看護師</td><td>88</td><td>89</td><td>88</td><td>91</td><td>91</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>医師</td><td>165</td><td>168</td><td>155</td><td>154</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td></tr> <tr><td>計</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td><td>1,514</td></tr> </table> <p>※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※正規職員の看護師は、現員から退職者等を除いた実働数を記載している。 ※有期職員は、正規職員の状況により必要人員を確保するため、目標は設定しない。 ※年度計画数値と本表の定義は一致しない。</p>	区分	29年度	30年度	4年度	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末	正規職員	総合	医師	177	189	185	190	202	195	197	看護師	6	5	6	6	5	5	-	-	管理職	761	754	755	751	749	749	749	749	こころ	看護師	13	13	13	13	13	13	13	医師	120	116	120	120	119	119	119	119	看護師	91	92	99	104	100	100	100	100	子ども	看護師	398	410	398	393	392	382	392	医師	281	285	297	309	317	308	312	312	計	看護師	7	7	8	7	7	7	-	医師	1,279	1,280	1,273	1,264	1,310	1,300	1,310	1,310	有期職員	総合	医師	39	39	110	100	-	-	-	看護師	62	61	60	70	70	-	-	-	医師	4	6	11	5	-	-	-	-	こころ	看護師	10	10	8	7	-	-	-	医師	48	50	45	45	-	-	-	-	子ども	看護師	117	118	115	114	-	-	-	医師	148	152	160	159	-	-	-	-	計	看護師	88	89	88	91	91	-	-	医師	165	168	155	154	-	-	-	-	計	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	B	<p>令和5年度については、医師に関しては、派遣医局等への働きかけ等を行い、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝えるなど、確保に努めている。</p> <p>看護師の募集については、修学資金の貸与など確保対策を進めている。</p> <p>SARS-Cov2の影響で中止していた病院説明会や養成校訪問を再開したり、合同就職説明会への積極的な参加を行っているが、総合病院の看護師が定数に達しなかった。</p>
区分	29年度	30年度	4年度	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末	5年度9月末																																																																																																																																																																																														
正規職員	総合	医師	177	189	185	190	202	195	197																																																																																																																																																																																													
	看護師	6	5	6	6	5	5	-	-																																																																																																																																																																																													
	管理職	761	754	755	751	749	749	749	749																																																																																																																																																																																													
	こころ	看護師	13	13	13	13	13	13	13																																																																																																																																																																																													
	医師	120	116	120	120	119	119	119	119																																																																																																																																																																																													
	看護師	91	92	99	104	100	100	100	100																																																																																																																																																																																													
	子ども	看護師	398	410	398	393	392	382	392																																																																																																																																																																																													
	医師	281	285	297	309	317	308	312	312																																																																																																																																																																																													
	計	看護師	7	7	8	7	7	7	-																																																																																																																																																																																													
	医師	1,279	1,280	1,273	1,264	1,310	1,300	1,310	1,310																																																																																																																																																																																													
有期職員	総合	医師	39	39	110	100	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	看護師	62	61	60	70	70	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	医師	4	6	11	5	-	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	こころ	看護師	10	10	8	7	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	医師	48	50	45	45	-	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	子ども	看護師	117	118	115	114	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	医師	148	152	160	159	-	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	計	看護師	88	89	88	91	91	-	-																																																																																																																																																																																													
	医師	165	168	155	154	-	-	-	-																																																																																																																																																																																													
	計	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514	1,514																																																																																																																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																																																																																																																																						
						暫定	説明																																																																																																																																																																																																																																																																					
			62	・研修医の確保に努める。	<p>各病院(総務)</p> <p>初期臨床研修医数(総合病院) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1年次</td> <td>22(2)</td> <td>24(3)</td> <td>23(1)</td> <td>20(1)</td> <td>25(3)</td> <td>21(2)</td> <td>22(2)</td> <td>22(2)</td> </tr> <tr> <td>2年次</td> <td>21(2)</td> <td>20(2)</td> <td>22(3)</td> <td>19(4)</td> <td>20(1)</td> <td>23(3)</td> <td>20(3)</td> <td>20(3)</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43(4)</td> <td>44(5)</td> <td>46(4)</td> <td>39(5)</td> <td>45(4)</td> <td>44(5)</td> <td>42(5)</td> <td>42(5)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※( )うち自治医大出身者</p> <p>後期臨床研修医数 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総 合</td> <td>50</td> <td>46</td> <td>48</td> <td>58</td> <td>53</td> <td>54</td> <td>57</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>ニ 次</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>11</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>54</td> <td>48</td> <td>50</td> <td>62</td> <td>56</td> <td>65</td> <td>64</td> <td>64</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	1年次	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	25(3)	21(2)	22(2)	22(2)	2年次	21(2)	20(2)	22(3)	19(4)	20(1)	23(3)	20(3)	20(3)	計	43(4)	44(5)	46(4)	39(5)	45(4)	44(5)	42(5)	42(5)	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	総 合	50	46	48	58	53	54	57	57	ニ 次	4	2	2	4	3	11	7	7	計	54	48	50	62	56	65	64	64	A	総合病院では、対面式の合同説明会が開催され、東京および浜松でPR活動を行った。また、専攻医確保活動として、遠方で見学に来るのが難しい研修医等をターゲットにオンライン会議システムを活用した面談を実施し、PRを行った。																																																																																																																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度																																																																																																																																																																																																																																																																				
1年次	22(2)	24(3)	23(1)	20(1)	25(3)	21(2)	22(2)	22(2)																																																																																																																																																																																																																																																																				
2年次	21(2)	20(2)	22(3)	19(4)	20(1)	23(3)	20(3)	20(3)																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	43(4)	44(5)	46(4)	39(5)	45(4)	44(5)	42(5)	42(5)																																																																																																																																																																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度																																																																																																																																																																																																																																																																				
総 合	50	46	48	58	53	54	57	57																																																																																																																																																																																																																																																																				
ニ 次	4	2	2	4	3	11	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	54	48	50	62	56	65	64	64																																																																																																																																																																																																																																																																				
			63	・即時的で効果的な人材を確保するため、採用試験を適宜実施する。	<p>看護部</p> <p>看護師については、定時募集に加えて随時募集を実施し、切れ目のない採用試験を実施している。さらに優秀な人材確保のためメディカルのアソシエイトの公募試験を実施した。</p> <p>本部(総務)</p> <p>正規職員の確保状況(令和5年4月3日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医 師</td> <td>260</td> <td>269</td> <td>283</td> <td>289</td> <td>293</td> <td>307</td> <td>322</td> <td>318</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>7</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>法 人 合 併</td> <td>1,379</td> <td>1,370</td> <td>1,365</td> <td>1,365</td> <td>1,403</td> <td>1,398</td> <td>1,408</td> <td>1,391</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>33</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>36</td> <td>37</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>18</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>事 務</td> <td>2,085</td> <td>2,068</td> <td>2,112</td> <td>2,174</td> <td>2,201</td> <td>2,293</td> <td>2,282</td> <td>2,272</td> </tr> <tr> <td>医 師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事 務</td> <td>25</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>32</td> <td>34</td> <td>33</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>271</td> <td>34</td> <td>35</td> <td>34</td> <td>36</td> <td>38</td> <td>36</td> <td>36</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>117</td> <td>163</td> <td>179</td> <td>164</td> <td>189</td> <td>195</td> <td>202</td> <td>199</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>804</td> <td>806</td> <td>807</td> <td>829</td> <td>826</td> <td>837</td> <td>847</td> <td>830</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>208</td> <td>214</td> <td>220</td> <td>227</td> <td>249</td> <td>253</td> <td>260</td> <td>260</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>事 務</td> <td>52</td> <td>54</td> <td>53</td> <td>59</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>63</td> <td>64</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,224</td> <td>1,242</td> <td>1,271</td> <td>1,317</td> <td>1,331</td> <td>1,359</td> <td>1,390</td> <td>1,358</td> </tr> <tr> <td>医 師</td> <td>12</td> <td>14</td> <td>14</td> <td>15</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>15</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>115</td> <td>118</td> <td>120</td> <td>124</td> <td>122</td> <td>122</td> <td>127</td> <td>128</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>26</td> <td>25</td> <td>25</td> <td>26</td> <td>26</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>15</td> <td>14</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>168</td> <td>170</td> <td>170</td> <td>175</td> <td>174</td> <td>176</td> <td>182</td> <td>184</td> </tr> <tr> <td>医 師</td> <td>91</td> <td>90</td> <td>90</td> <td>91</td> <td>92</td> <td>90</td> <td>106</td> <td>104</td> </tr> <tr> <td>准 医 師</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> </tr> <tr> <td>看護部</td> <td>449</td> <td>444</td> <td>436</td> <td>444</td> <td>452</td> <td>436</td> <td>452</td> <td>431</td> </tr> <tr> <td>医療技術</td> <td>81</td> <td>80</td> <td>82</td> <td>84</td> <td>86</td> <td>86</td> <td>85</td> <td>85</td> </tr> <tr> <td>研 究 員</td> <td>29</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>28</td> <td>28</td> <td>27</td> <td>27</td> <td>27</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>650</td> <td>642</td> <td>636</td> <td>648</td> <td>660</td> <td>650</td> <td>652</td> <td>649</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	医 師	260	269	283	289	293	307	322	318	准 医 師	4	4	5	7	7	8	7	7	法 人 合 併	1,379	1,370	1,365	1,365	1,403	1,398	1,408	1,391	研 究 員	33	33	33	34	32	36	37	37	研 究 員	18	2	2	2	1	1	1	0	事 務	2,085	2,068	2,112	2,174	2,201	2,293	2,282	2,272	医 師	2	2	3	1	3	2	2	2	准 医 師	2	2	3	1	3	3	2	2	事 務	25	32	32	32	32	34	33	33	計	271	34	35	34	36	38	36	36	准 医 師	117	163	179	164	189	195	202	199	研 究 員	3	3	4	6	6	6	6	6	看護部	804	806	807	829	826	837	847	830	医療技術	208	214	220	227	249	253	260	260	研 究 員	2	2	2	2	2	2	2	2	事 務	52	54	53	59	63	63	63	64	計	1,224	1,242	1,271	1,317	1,331	1,359	1,390	1,358	医 師	12	14	14	15	13	13	14	15	准 医 師	115	118	120	124	122	122	127	128	医療技術	26	25	25	26	26	27	27	27	研 究 員	15	15	15	15	15	15	14	14	計	168	170	170	175	174	176	182	184	医 師	91	90	90	91	92	90	106	104	准 医 師	11	11	11	11	11	11	11	11	看護部	449	444	436	444	452	436	452	431	医療技術	81	80	82	84	86	86	85	85	研 究 員	29	27	27	28	28	27	27	27	計	650	642	636	648	660	650	652	649	A	医師については、専門医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力を伝え、募集に努めている。今後、新型コロナウイルス感染症の状況を見ながら、医学生向け説明会への参加や病院見学の受入などを行い確保に努める。令和5年度は、看護部募集について、定時募集を第1回から3病院対象に実施し、計4回実施予定。また、産院者を対象とした月次募集を毎月実施することにより切れ目のない募集を実施している。なお、看護部確保のため、就職説明会への参加や各種広報、養成校訪問、病院説明会など様々な確保対策を進め、採用数の増加に繋げている。メディカルは、必要な職種について適時、募集を実施しており、薬剤師、臨床検査技師、臨床工学技士、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、医療ソーシャルワーカー、心理療法士、歯科衛生士、遺伝カウンセラーについて公募試験を実施し優秀な人材の確保に努めている。事務についても、正規職員の公募試験を実施し、優秀な人材の確保に努めている。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度																																																																																																																																																																																																																																																																				
医 師	260	269	283	289	293	307	322	318																																																																																																																																																																																																																																																																				
准 医 師	4	4	5	7	7	8	7	7																																																																																																																																																																																																																																																																				
法 人 合 併	1,379	1,370	1,365	1,365	1,403	1,398	1,408	1,391																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	33	33	33	34	32	36	37	37																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	18	2	2	2	1	1	1	0																																																																																																																																																																																																																																																																				
事 務	2,085	2,068	2,112	2,174	2,201	2,293	2,282	2,272																																																																																																																																																																																																																																																																				
医 師	2	2	3	1	3	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																				
准 医 師	2	2	3	1	3	3	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																				
事 務	25	32	32	32	32	34	33	33																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	271	34	35	34	36	38	36	36																																																																																																																																																																																																																																																																				
准 医 師	117	163	179	164	189	195	202	199																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	3	3	4	6	6	6	6	6																																																																																																																																																																																																																																																																				
看護部	804	806	807	829	826	837	847	830																																																																																																																																																																																																																																																																				
医療技術	208	214	220	227	249	253	260	260																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	2	2	2	2	2	2	2	2																																																																																																																																																																																																																																																																				
事 務	52	54	53	59	63	63	63	64																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	1,224	1,242	1,271	1,317	1,331	1,359	1,390	1,358																																																																																																																																																																																																																																																																				
医 師	12	14	14	15	13	13	14	15																																																																																																																																																																																																																																																																				
准 医 師	115	118	120	124	122	122	127	128																																																																																																																																																																																																																																																																				
医療技術	26	25	25	26	26	27	27	27																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	15	15	15	15	15	15	14	14																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	168	170	170	175	174	176	182	184																																																																																																																																																																																																																																																																				
医 師	91	90	90	91	92	90	106	104																																																																																																																																																																																																																																																																				
准 医 師	11	11	11	11	11	11	11	11																																																																																																																																																																																																																																																																				
看護部	449	444	436	444	452	436	452	431																																																																																																																																																																																																																																																																				
医療技術	81	80	82	84	86	86	85	85																																																																																																																																																																																																																																																																				
研 究 員	29	27	27	28	28	27	27	27																																																																																																																																																																																																																																																																				
計	650	642	636	648	660	650	652	649																																																																																																																																																																																																																																																																				
			64	・就職説明会への参加、多角的な広報の実施や養成校の訪問などにより、必要な職員の確保を目指す。	<p>看護学生向け就職説明会(R5.9末時点) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>来場者数</th> <th>訪問者数</th> <th>受診者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ナース専科(静岡)</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>ナース(医務)</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>マイナビ(静岡)</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>マイナビ(沼津)</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>業者計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>静岡県立大学</td> <td>71</td> <td>127</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>常葉大学</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>聖隷クリストファー大学</td> <td>160</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>麗天泉大学</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>静岡市立看護専門学校</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>静岡県立看護専門学校</td> <td>---</td> <td>---</td> <td>---</td> </tr> <tr> <td>養成校計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> <p>※訪問者数は病院間の重複あり</p> <p>看護学生向け就職説明会 (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度</th> <th>6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>来場者数</td> <td>997</td> <td>990</td> <td>109</td> <td>109</td> <td>100</td> <td>160</td> <td>160</td> <td>160</td> </tr> <tr> <td>訪問者数</td> <td>608</td> <td>64</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>68</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>受診者数</td> <td>57</td> <td>345</td> <td>316</td> <td>316</td> <td>120</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>業者数</td> <td>53</td> <td>3</td> <td>12</td> <td>12</td> <td>82</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>養成校</td> <td>64</td> <td>73</td> <td>92</td> <td>92</td> <td>72</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	来場者数	訪問者数	受診者数	ナース専科(静岡)	---	---	---	ナース(医務)	---	---	---	マイナビ(静岡)	---	---	---	マイナビ(沼津)	---	---	---	業者計	0	0	0	静岡県立大学	71	127	---	常葉大学	---	---	---	聖隷クリストファー大学	160	---	---	麗天泉大学	---	---	---	静岡市立看護専門学校	---	---	---	静岡県立看護専門学校	---	---	---	養成校計	0	0	0	計	0	0	0	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度	来場者数	997	990	109	109	100	160	160	160	訪問者数	608	64	65	65	68	0	0	0	受診者数	57	345	316	316	120	0	0	0	業者数	53	3	12	12	82	0	0	0	養成校	64	73	92	92	72	0	0	0	—	少しでも学生の知りたい情報を提供するため、積極的に説明会への参加を予定している。総合病院の看護師不足は続いているため、県外の就職説明会にも参加を予定している。看護部確保対策の中でも企業・養成校主催の就職説明会は、看護学生が看護部長や先輩看護師等と直接話ができることから、病院の宣伝だけでなく、看護学生個人が知りたい情報を直接伝えることができる利点がある。説明会での内容は内定者からのアンケート結果を参考に検討をし、病院内での様子や伝わるよう動画などを用いて説明を行っている。今後も昨年に引き続き企業・養成校主催の説明会へ参加し、現在の学生の動向等をつまむことで、看護部確保に努める。																																																																																																																																																							
区 分	来場者数	訪問者数	受診者数																																																																																																																																																																																																																																																																									
ナース専科(静岡)	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
ナース(医務)	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
マイナビ(静岡)	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
マイナビ(沼津)	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
業者計	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																									
静岡県立大学	71	127	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
常葉大学	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
聖隷クリストファー大学	160	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
麗天泉大学	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
静岡市立看護専門学校	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
静岡県立看護専門学校	---	---	---																																																																																																																																																																																																																																																																									
養成校計	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																									
計	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																									
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度																																																																																																																																																																																																																																																																				
来場者数	997	990	109	109	100	160	160	160																																																																																																																																																																																																																																																																				
訪問者数	608	64	65	65	68	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																				
受診者数	57	345	316	316	120	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																				
業者数	53	3	12	12	82	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																				
養成校	64	73	92	92	72	0	0	0																																																																																																																																																																																																																																																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																															
						暫定	説明																																																																																																																														
(1) 医療従事者の確保・育成 各病院が有する物的・人的資源を活用した研修プログラムを充実させることにより、各病院において臨床研修医や専攻医の確保・育成に取り組むほか、県との協働により、本県の医師確保対策に取り組むこと。また、看護師及びその他の医療従事者の資質向上のため、所有施設を有効活用した研修の充実を図るとともに、看護師養成施設等からの実習生受け入れなど、県内の看護師の養成に協力すること。	(1) 医療従事者の確保・育成 県立病院が中心となり、医療技術向上と医師養成の特色のある取組を設け、充実した研修体制を整備し、臨床研修医や専攻医の技能や知識の向上に努めるほか、県との協働による本県の医師確保対策に取り組む。また、県立総合病院のメディカルスキルアップセンターの機能拡充や、県立こども病院のラーニングセンターを活用して、医師、看護師及びその他の医療従事者の教育研修体制の強化に努める。実習生の受け入れや職員の派遣などを通じて国内外の医療機関と交流を進める。	(1) 医療従事者の確保・育成 ①研修医に選ばれる良質な臨床研修指定病院としての臨床研修機能の充実 ②地域医療連携推進法人の参画医療機関等との連携による医療従事者の確保 ③医師の技術・知識の向上のための一般研修及び海外研修の充実、海外医師の招聘による研修の充実 ④県立総合病院メディカルスキルアップセンターを活用した教育研修の充実、複数病院との共同利用で合同一次・二次救命処置トレーニングの実施 ⑤県立こども病院ラーニングセンターの改修 ⑥国際交流の推進 ⑦認定看護師等の資格取得への支援 ⑧看護学生等に対する魅力的な実習の提供 ⑨コメディカル・事務職員の研修	65	○医師 ①③医師の技術力の向上を目指し、海外研修等を奨励する。 ①③医師の卒後臨床研修等の強化を図り、県立病院に相応しい医療従事者を確実に確保し、充足させる。 ②地域医療連携推進法人ふじのくに社会健康医療連合の円滑な運営に寄与する。	(総合) 例年、海外の学会に治療実績等の発表を行い、技術力の高さを示している。海外研修の報告は、院内には定例医局会・院内連絡会で行われており、対外的には研修医募集のホームページに掲載している。  海外での学会発表実績 (単位:件) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>23</td> <td>33</td> <td>65</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>11</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>22</td> <td>31</td> <td>31</td> <td>3</td> <td>19</td> <td>27</td> <td>19</td> </tr> </tbody> </table> 海外研修の主な実績 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>内 容</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>UCLA研修</td> <td>12</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他 海外学会</td> <td>17</td> <td>12</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td></td> <td>その他海外学会</td> <td>6</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	23	33	65	0	0	11	10	こども	22	31	31	3	19	27	19	区分	内 容	4年度	5年度9月末	総合	UCLA研修	12	3		その他 海外学会	17	12	こども	—	—	—		その他海外学会	6	9	—	(総合) 毎月、基礎臨床講座を開催し、各指導医から研修医等へ講義を行っているほか、医療英語・海外学会発表研修など臨床研修機能の充実を図っている。 この他、医師の技術力向上を目指し海外研修を奨励している。 また、海外学会発表を積極的に行っており、技術力の高さを示している。 令和2年度及び3年度は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、海外での学会発表や研修の実績はなかったが、令和4年度から徐々に増加しており、令和5年度も9月末の時点で前年度に迫る件数となっている。 (こども) 令和5年度は海外での学会発表が増加しており、新型コロナウイルス感染症拡大前の令和元年度の件数を上回る想定である。 また、6月には浙江省衛生健康委員会による当院視察が実施され、高度かつ先進的な質の高い小児医療を紹介した。																																																																																		
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																														
総合	23	33	65	0	0	11	10																																																																																																																														
こども	22	31	31	3	19	27	19																																																																																																																														
区分	内 容	4年度	5年度9月末																																																																																																																																		
総合	UCLA研修	12	3																																																																																																																																		
	その他 海外学会	17	12																																																																																																																																		
こども	—	—	—																																																																																																																																		
	その他海外学会	6	9																																																																																																																																		
		④メディカルスキルアップセンターの活用の促進を図る。	66	総合	メディカルスキルアップセンター利用状況 (単位:回、人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">29年度</th> <th rowspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">5年度9月末</th> </tr> <tr> <th>回</th> <th>人</th> <th>回</th> <th>人</th> <th>回</th> <th>人</th> <th>回</th> <th>人</th> <th>回</th> <th>人</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医師</td> <td>2,898</td> <td>3,041</td> <td>4,017</td> <td>3,111</td> <td>772</td> <td>491</td> <td>1,097</td> <td>78</td> <td>1,723</td> <td>9</td> <td>922</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>4,113</td> <td>4,197</td> <td>5,774</td> <td>4,643</td> <td>8,290</td> <td>490</td> <td>3,480</td> <td>10</td> <td>5,194</td> <td>41</td> <td>1,702</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>1,064</td> <td>1,067</td> <td>2,029</td> <td>1,025</td> <td>298</td> <td>301</td> <td>275</td> <td>173</td> <td>4</td> <td>62</td> <td>0</td> <td>41</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>3,380</td> <td>3,361</td> <td>4,314</td> <td>2,071</td> <td>3,862</td> <td>391</td> <td>4,468</td> <td>62</td> <td>2,982</td> <td>67</td> <td>2,016</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>147</td> <td>113</td> <td>188</td> <td>137</td> <td>310</td> <td>186</td> <td>238</td> <td>118</td> <td>122</td> <td>91</td> <td>102</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>2,288</td> <td>1,914</td> <td>2,560</td> <td>1,397</td> <td>2,671</td> <td>1,122</td> <td>1,863</td> <td>796</td> <td>503</td> <td>213</td> <td>302</td> <td>146</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,311</td> <td>2,071</td> <td>1,035</td> <td>2,009</td> <td>1,373</td> <td>267</td> <td>1,610</td> <td>130</td> <td>2,070</td> <td>100</td> <td>1,032</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>8,980</td> <td>2,407</td> <td>9,806</td> <td>1,779</td> <td>11,774</td> <td>1,579</td> <td>9,819</td> <td>819</td> <td>6,684</td> <td>323</td> <td>4,115</td> <td>163</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度		2年度		3年度		4年度		5年度9月末		回	人	回	人	回	人	回	人	回	人	医師	2,898	3,041	4,017	3,111	772	491	1,097	78	1,723	9	922	0	参加人数	4,113	4,197	5,774	4,643	8,290	490	3,480	10	5,194	41	1,702	21	看護師	1,064	1,067	2,029	1,025	298	301	275	173	4	62	0	41	参加人数	3,380	3,361	4,314	2,071	3,862	391	4,468	62	2,982	67	2,016	0	その他	147	113	188	137	310	186	238	118	122	91	102	0	参加人数	2,288	1,914	2,560	1,397	2,671	1,122	1,863	796	503	213	302	146	計	8,311	2,071	1,035	2,009	1,373	267	1,610	130	2,070	100	1,032	4	参加人数	8,980	2,407	9,806	1,779	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	4,115	163	(総合) メディカルスキルアップセンターでは、各種シミュレーターを導入し、研修医を始めとする医師や看護師等の医療従事者によるトレーニングや講習に活用している。外部利用については、医師会主催の研修会や高校生の見学ツアー時の診療体験などで活用されている。 令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類になったことから、前年比へ増加傾向となっている。 今後も医師をはじめとする院内利用だけでなく、外部利用の拡大に努める。
区分	29年度	30年度	元年度		2年度				3年度		4年度		5年度9月末																																																																																																																								
			回	人	回	人	回	人	回	人	回	人																																																																																																																									
医師	2,898	3,041	4,017	3,111	772	491	1,097	78	1,723	9	922	0																																																																																																																									
参加人数	4,113	4,197	5,774	4,643	8,290	490	3,480	10	5,194	41	1,702	21																																																																																																																									
看護師	1,064	1,067	2,029	1,025	298	301	275	173	4	62	0	41																																																																																																																									
参加人数	3,380	3,361	4,314	2,071	3,862	391	4,468	62	2,982	67	2,016	0																																																																																																																									
その他	147	113	188	137	310	186	238	118	122	91	102	0																																																																																																																									
参加人数	2,288	1,914	2,560	1,397	2,671	1,122	1,863	796	503	213	302	146																																																																																																																									
計	8,311	2,071	1,035	2,009	1,373	267	1,610	130	2,070	100	1,032	4																																																																																																																									
参加人数	8,980	2,407	9,806	1,779	11,774	1,579	9,819	819	6,684	323	4,115	163																																																																																																																									



中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																						
						暫定	説明																																					
(2) 勤務環境の向上  優秀な医療従事者を確保するため、働きやすく、また、働きがよいある病院となるよう、ワーク・ライフ・バランスの向上の推進や職員の精神面を含めた健康保持に配慮するほか、医師をはじめとした医療従事者の業務分担を行うなど、勤務環境の向上を図ること。	(2) 勤務環境の向上  医師をはじめとした医療従事者の業務分担をはじめ、仕事と生活の調和に配慮した雇用形態や勤務時間の設定、時間外勤務の縮減、職員の健康保持への配慮や院内保育所の活用など、職員が働きやすく、働きがいを実感できる勤務環境づくりを進める。	(2) 勤務環境の向上  ①ワーク・ライフ・バランスに配慮した多様な雇用形態や勤務時間など柔軟な勤務条件の設定 ②医療従事者が本来業務に専念できる環境の整備 ③職員の意欲を高め、勤務実績が的確に反映される人事・給与・制度の検討 ④職員が働きやすい施設等の環境整備 ⑤県立病院院内保育所の活用	-	-	-	-	-																																					
						72	①柔軟な職員採用や多様な雇用形態・勤務条件の設定を図る。  看護師の2交代制勤務については、総合病院18部署、こころの医療センター3部署、こども病院10部署となっている。看護師の夜勤専従については、3病院で実行を行っている。  アンソニエイト採用実績（単位：人） <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護師</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>事務</td> <td>10</td> <td>3</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>コメディカル</td> <td>3</td> <td>-</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>16</td> <td>4</td> <td>14</td> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>	区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	看護師	3	-	1	1	1	事務	10	3	8	1	2	コメディカル	3	-	5	1	1	計	16	4	14	3	4	A	令和5年度については、効果的な職員採用に繋げるため、看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアンソニエイト職員を採用し、優秀な人材確保を進めた。 看護師の2交代制や夜勤専従の取組など、雇用形態の多様化を図っている。 看護師や事務職員に続き、コメディカルでもアンソニエイト職員を採用し、優秀な人材確保を進めている。 平成29年4月以降、診療費等の導入により、医師の診療実績を的確に反映する給与体系となっている。					
						区分	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																	
						看護師	3	-	1	1	1																																	
						事務	10	3	8	1	2																																	
コメディカル	3	-	5	1	1																																							
計	16	4	14	3	4																																							
73	②医療従事者の事務的業務の軽減を図り、本来業務に専念できる環境の整備や業務多忙を解消するために、医療秘書・助手等を効果的に配置する。  医師の事務補助を行う職員の配置については、電子カルテの入力業務等により、医師が診療に専念できる等、事務負担軽減の効果が確認されている。 総合病院では、医師の増加、外来診療種の拡大に応じて、医療従事者が診療に専念できるように医師事務作業補助者を配置しており、令和5年度においても、診療報酬の施設基準上、最上位基準を維持している。 なお、令和4年度から派遣会社を活用した夜間看護補助者の配置を開始し、看護師の負担軽減および診療報酬上の加算も併せて取得することができている。 また、看護助手等の補助職員の配置により、医療従事者が国家資格所有者でなければできない業務に専念できている。	A																																										
74	③全職員を対象とした人事評価制度を円滑に実施する。  県準拠として職員組合と合意し、平成30年4月から試行を開始した人事評価制度については、令和2年度から給与(勤動手当)に活用、令和3年度の評価から昇給に活用を開始し(令和3年度前期、後期の評価を令和5年1月1日昇給に活用)、全職員(有期雇用職員、再雇用職員、休職中の職員等を除く)を対象に実施している。	A																																										
75	④就労環境の改善に向けた院内施設、子育て支援や相談など福利厚生の充実を進める。  【総合病院】 ・総合病院では、令和5年9月に静岡県から特定及び連携型特定地域医療提供機関の指定を受けたため、許可された医師の労働時間短縮計画等に基づき、医師の労働時間短縮の取組等を推進する。 ・院内保育所については、保育所運営協議会において、事務局、委託先、利用者間の意見交換を行い、院内保育所入所者を対象にインフルエンザ予防接種を令和5年度も実施予定である。 【こころの医療センター】 ・新電子カルテへの入力をスムーズに行うため、端末と移動カートを配備した。 【こども病院】 ・会議でのタブレット端末(ipad)の活用や、オンライン会議でのZoomRoomsの活用により、会議に係る業務の効率化を図っている。 ・職員研修にeラーニングツールであるSafetyPlusを導入し、受講や受講管理の効率化を図っている。  この医療センターでは、病棟に新型電子カルテに対応した端末と移動カートを配架し、患者情報の入力を迅速に行えるよう改善した。  こども病院では、タブレット端末(ipad)を活用した会議運営を拡大するとともに、オンライン会議におけるZoomRoomsの活用を継続して行っている。また、令和5年5月から、職員研修にeラーニングツールであるSafetyPlusを導入し、受講や受講管理の効率化を図っている。 看護師等が休職することを防止するため、こころのケアだけでなく体力低下で看護業務へ支障を来さないよう日常生活相談を含め、心身に対するきめ細かい対応を行い、長期的に就労できる環境を整える取組を行っている。 また、国に先駆けて「乳学前児童の養育資金貸付制度」を創設し、独立行政法人などでは前例のない取組であるとして、全国に先駆けて導入した。当該制度の制度モデルとして同様の制度が制定される動きが広がっている。 なお、政府が、子育てと職場復帰の両立のための支援のために、育児短時間勤務で働く人向けに、新たな奨学金貸付制度改善の方向で検討に入っている旨が確認されている。 引き続き、院内施設の充実や、就労環境の向上に取り組んでいる。	S																																										
76	⑤院内保育の活用を図る。  保育所利用者数 <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">定員</th> <th colspan="5">平均利用者数</th> </tr> <tr> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合「おひさま」</td> <td>100</td> <td>90</td> <td>82</td> <td>75</td> <td>65</td> <td>65</td> <td>70</td> <td>61</td> </tr> <tr> <td>こども「ことり」</td> <td>80</td> <td>13</td> <td>13</td> <td>16</td> <td>17</td> <td>19</td> <td>32</td> <td>30</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>180</td> <td>103</td> <td>95</td> <td>91</td> <td>82</td> <td>84</td> <td>102</td> <td>91</td> </tr> </tbody> </table>	区分	定員	平均利用者数					29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	70	61	こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	32	30	計	180	103	95	91	82	84	102	91	A	各病院の院内保育所では、育児しながら勤務する医師や看護師の就労環境の向上のため、保育メニュー等の更なる充実や努めている。 総合病院では、二重保育や夜間保育、土日預かり等の多様なメニューを揃え、子育てしながら働きやすい環境を引き続き提供できている。幼保無償化の影響により入所者数が減少しているため、有期コメディカル・正規事務の入所を開始した。また、院内保育所利用者者を対象としたインフルエンザ予防接種も実施している。 こども病院では、令和5年度は45人を上限に運用し、二重保育や病後児保育等の保育サービスに対応した。
区分	定員			平均利用者数																																								
		29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																				
総合「おひさま」	100	90	82	75	65	65	70	61																																				
こども「ことり」	80	13	13	16	17	19	32	30																																				
計	180	103	95	91	82	84	102	91																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																																																																					
						暫定	説明																																																																																																																																																				
3 医療に関する調査及び研究 医療や県民の健康寿命延伸に関する調査及び研究を行い、県立病院が提供する医療の高度化や本県の医療水準の向上、県民の健康寿命の延伸に寄与すること。	3 医療に関する調査及び研究 県内医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、病院が有する医療資源の活用、院外への情報発信、他の機関との連携を図りながら、調査及び研究に取り組む。また、それらを円滑に進めるため、診療録の電子化等の医療情報基盤の活用・充実強化に努める。	3 医療に関する調査及び研究 県内の医療水準の向上と県民の健康寿命延伸に寄与するため、県立病院としての医療資源の活用、院外への情報発信、他機関との連携等により調査・研究に取り組む。	-	-	-	-	-																																																																																																																																																				
(1) 研究機能の強化 各病院が臨床研究に取り組み、その研究成果の発信等により、県内医療水準の向上及び医療人材の確保に努めること。また、県立総合病院のリサーチサポートセンターにおいて、医療ビッグデータを活用した疫学、ゲノム研究など県が推進する社会健康医学研究に協力すること。さらに、産学官との連携による共同研究や治験に取り組むこと。	(1) 研究機能の強化 県立総合病院のリサーチサポートセンターを活用し、各病院が臨床研究に取り組み、その成果を発信することなどにより、県内医療水準の向上と医療人材の確保に努める。また、県が定めた社会健康医学研究推進計画に基づき、社会健康医学の研究推進に協力する。治験や調査研究事業の推進に参画できるよう引き続き体制の整備を行い、県立大学等の研究機関との共同研究にも取り組む。	(1) 研究機能の強化 ①各大学院や研究所等との連携を強化し、病院機構が行う特色ある研究の推進・発展 ②県立総合病院リサーチサポートセンターの臨床研究を行う環境整備及び研究支援体制の充実 ③静岡社会健康医学大学院大学と連携した社会健康医学研究の充実・推進 ④聴覚障害児における言語獲得の研究実施と早期治療体制の構築 ⑤県立総合病院リサーチサポートセンターにおいて、静岡県からの受託研究として、「県民の健康寿命の更なる延伸」に向けた社会健康医学研究の実施 ⑥治験や調査研究事業に積極的に参画できる体制の整備・充実による受託件数の増加 ⑦県立大学等の研究機関との共同研究	-	-	-	-	-																																																																																																																																																				
			77	①②臨床研究や疫学研究の充実 ・研究員を確保し、円滑な運用を行う。 ③④⑤研究体制を充実させ、研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ④聴覚障害児における言語獲得の研究支援について、外部機関との連携を推進する。 ④研究体制を充実させ、受託研究を円滑に行い、研究成果を体系的に蓄積するとともに、県民へ成果の還元を行う。 ⑥研究資金となる奨学寄附金を受入れる。 ⑥研究支援室による臨床研究の支援を行う。 ⑦県立大学との共同研究を行う。	総合	臨床研究数 (単位: 件、%) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>研究数</td><td>279</td><td>332</td><td>376</td><td>399</td><td>329</td><td>405</td><td>399</td></tr> <tr><td>支援研究数</td><td>43</td><td>38</td><td>50</td><td>57</td><td>68</td><td>67</td><td>64</td></tr> <tr><td>支援率</td><td>15.4</td><td>11.4</td><td>13.3</td><td>14.3</td><td>20.7</td><td>16.4</td><td>16.6</td></tr> </table> 客員研究員受入状況 (単位: 人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>静岡県立大学</td><td>14</td><td>14</td><td>15</td><td>15</td><td>15</td><td>13</td><td>13</td></tr> <tr><td>外部</td><td>9</td><td>11</td><td>22</td><td>25</td><td>16</td><td>16</td><td>19</td></tr> </table> 社会健康医学受託研究の実施状況 (単位: 件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>11</td><td>11</td><td>11</td><td>35</td><td>3</td><td>3</td><td>1</td></tr> </table> 奨学寄附金受入件数・金額 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>寄附者</th><th>目的</th><th>金額(千円)</th></tr> <tr><td rowspan="2">元年度</td><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>500</td></tr> <tr><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">2年度</td><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>500</td></tr> <tr><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">3年度</td><td>大正製薬株式会社</td><td>遺伝性疾患に関する研究支援</td><td>500</td></tr> <tr><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>整形外科疾患における研究</td><td>1,000</td></tr> <tr><td rowspan="2">4年度</td><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>糖尿病治療に関する研究</td><td>200</td></tr> <tr><td>日本ペプシコ・フード・システム株式会社</td><td>呼吸器疾患における研究</td><td>200</td></tr> <tr><td rowspan="2">5年度(9月末)</td><td>アズワン株式会社</td><td>心臓血管外科における研究</td><td>1,500</td></tr> <tr><td>アズワン株式会社</td><td>変形関節症に関する研究</td><td>500</td></tr> <tr><td colspan="3">合計</td><td>2,900</td></tr> </table> 新生児聴覚スクリーニング件数 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>491</td><td>471</td><td>511</td><td>567</td><td>549</td><td>488</td><td>260</td></tr> </table> 人工内耳埋込術件数 <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>件数</td><td>12</td><td>13</td><td>13</td><td>9</td><td>13</td><td>24</td><td>16</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	研究数	279	332	376	399	329	405	399	支援研究数	43	38	50	57	68	67	64	支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	16.4	16.6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	静岡県立大学	14	14	15	15	15	13	13	外部	9	11	22	25	16	16	19	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	11	11	11	35	3	3	1	区分	寄附者	目的	金額(千円)	元年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	500	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200	2年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	500	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200	3年度	大正製薬株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	整形外科疾患における研究	1,000	4年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	200	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200	5年度(9月末)	アズワン株式会社	心臓血管外科における研究	1,500	アズワン株式会社	変形関節症に関する研究	500	合計			2,900	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	491	471	511	567	549	488	260	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	件数	12	13	13	9	13	24	16	S	病院機構では、リサーチサポートセンターを活用した研究に取り組んでおり、令和5年度における文部科学省科学研究費の応募・採択状況は、応募件数3件、採択件数0件となっているが、継続件数は5件となっており、また、静岡社会健康医学大学院大学との連携も引き続き強化しており、令和5年度に博士前期課程に1名、博士後期課程に1名を選定している。 きこえことばのセンター(静岡県乳幼児聴覚支援センター)では、乳幼児期の聴覚や人工内耳の装着による脳の発達メカニズムに関する研究をNTTコミュニケーション科学基礎研究所と共同で実施している。また、聴覚障害児の音声言語獲得に高い実績を持つ、オーストラリアのシェパードセンターの療育プログラムによるパイロットセンター立ち上げの準備を静岡県と共に現地スタッフとのオンラインミーティングを重ねながら進めている。また、並行して新生児聴覚スクリーニング検査をオンライン入力することで、関係機関との情報共有を可能にし、聴覚の早期発見、早期介入、その後の支援につなげるための一元化された情報管理システムを開発し、県下での導入を進めるなど、きこえことばのセンターの事業について積極的に取り組んでいる。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
研究数	279	332	376	399	329	405	399																																																																																																																																																				
支援研究数	43	38	50	57	68	67	64																																																																																																																																																				
支援率	15.4	11.4	13.3	14.3	20.7	16.4	16.6																																																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
静岡県立大学	14	14	15	15	15	13	13																																																																																																																																																				
外部	9	11	22	25	16	16	19																																																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
件数	11	11	11	35	3	3	1																																																																																																																																																				
区分	寄附者	目的	金額(千円)																																																																																																																																																								
元年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	500																																																																																																																																																								
	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																								
2年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	500																																																																																																																																																								
	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																								
3年度	大正製薬株式会社	遺伝性疾患に関する研究支援	500																																																																																																																																																								
	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	整形外科疾患における研究	1,000																																																																																																																																																								
4年度	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	糖尿病治療に関する研究	200																																																																																																																																																								
	日本ペプシコ・フード・システム株式会社	呼吸器疾患における研究	200																																																																																																																																																								
5年度(9月末)	アズワン株式会社	心臓血管外科における研究	1,500																																																																																																																																																								
	アズワン株式会社	変形関節症に関する研究	500																																																																																																																																																								
合計			2,900																																																																																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
件数	491	471	511	567	549	488	260																																																																																																																																																				
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
件数	12	13	13	9	13	24	16																																																																																																																																																				
			78	⑤医療水準の向上と院内における医療の質の高度化に資するため、新薬開発や臨床研究などへ参画する。	各病院	医薬品受託研究事業費・契約件数 (単位: 千円、件) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>総 件数</td><td>29</td><td>24</td><td>17</td><td>17</td><td>23</td><td>25</td><td>20</td></tr> <tr><td>契約額</td><td>64,062</td><td>101,426</td><td>42,504</td><td>27,994</td><td>58,794</td><td>91,214</td><td>27,568</td></tr> <tr><td>こころ 件数</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>契約額</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>子ども 件数</td><td>15</td><td>23</td><td>35</td><td>23</td><td>37</td><td>38</td><td>54</td></tr> <tr><td>契約額</td><td>5,087</td><td>14,018</td><td>29,479</td><td>12,041</td><td>20,531</td><td>14,282</td><td>6,630</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総 件数	29	24	17	17	23	25	20	契約額	64,062	101,426	42,504	27,994	58,794	91,214	27,568	こころ 件数	0	0	0	0	0	0	0	契約額	0	0	0	0	0	0	0	子ども 件数	15	23	35	23	37	38	54	契約額	5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	14,282	6,630	A	令和5年度も、製薬会社等からの依頼を受け、新薬開発に係る治験を行っている。 治験が終了し市販に至った薬品があり、新薬提供の一助となっている。市販薬の市販後調査を適正に実施し、安心安全な医療に寄与している。																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
総 件数	29	24	17	17	23	25	20																																																																																																																																																				
契約額	64,062	101,426	42,504	27,994	58,794	91,214	27,568																																																																																																																																																				
こころ 件数	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																				
契約額	0	0	0	0	0	0	0																																																																																																																																																				
子ども 件数	15	23	35	23	37	38	54																																																																																																																																																				
契約額	5,087	14,018	29,479	12,041	20,531	14,282	6,630																																																																																																																																																				
(2) 診療等の情報の活用 診療等を通じて得られる情報を県立病院で提供する医療の質の向上のために活用するとともに、他の医療機関へ情報提供すること。	(2) 診療等の情報の活用 診療録等医療情報の電子化や管理機能の充実を図り、科学的根拠を集積・分析し、カンファレンス、臨床研修、臨床研究等において活用し、医療の質の向上を図る。また、学会、講習会、研究会等へ情報発信しやすい体制を整備する。	(2) 診療等の情報の活用 ①診療情報等の分析のできるシステムの活用	-	-	-	-	-																																																																																																																																																				
			79	①DPCの診療情報に基づく症例分析を行う。	総合	DPCコーディング部会開催実績 (単位: 回、人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>6</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td>出席者数</td><td>55</td><td>37</td><td>25</td><td>33</td><td>27</td><td>23</td><td>5</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	開催回数	6	4	4	4	4	4	1	出席者数	55	37	25	33	27	23	5	A	DPCデータの分析結果を元に、医局会においてDPC入院期間II以内の退院状況や副傷病名の付与率等を報告するとともに、DPCコーディング部会における議論等により平均在院日数の短縮やDPCコーディングの適正化に努めている。																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
開催回数	6	4	4	4	4	4	1																																																																																																																																																				
出席者数	55	37	25	33	27	23	5																																																																																																																																																				
			80	①DPCの診療情報を分析し、診療へフィードバックを行う。また、職員への分析にかかわるスキルアップに努める。	子ども	DPCデータの分析結果を診療へ活かすとともに適切なコーディングを周知するため、DPC部会兼コード検討委員会を開催した。 DPC部会兼コード検討委員会開催実績 (単位: 回、人) <table border="1"> <tr><th>区分</th><th>29年度</th><th>30年度</th><th>元年度</th><th>2年度</th><th>3年度</th><th>4年度</th><th>5年度9月末</th></tr> <tr><td>開催回数</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>4</td><td>1</td></tr> <tr><td>出席者数</td><td>53</td><td>49</td><td>49</td><td>58</td><td>40</td><td>42</td><td>9</td></tr> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	開催回数	4	4	4	4	4	4	1	出席者数	53	49	49	58	40	42	9	A	早期のデータ入力を継続して従って適切なコーディングを行うことで診療報酬を漏れなく請求した。																																																																																																																											
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																																																																				
開催回数	4	4	4	4	4	4	1																																																																																																																																																				
出席者数	53	49	49	58	40	42	9																																																																																																																																																				

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																									
						暫定	説明																																																																																								
4	医療に関する地域への支援	医療に関する地域への支援	4	医療に関する地域への支援	—	—	—																																																																																								
	本県の地域医療の確保のため、県立病院がその支援に大きな役割を果たし、信頼され、必要とされる病院であり続けるよう努めること。	地域医療を確保するための支援の中心的機能を果たすため、県立病院が有する医療資源を積極的に活用するなど、積極的な支援を進める。																																																																																													
(1)	地域の医療機関等との連携・支援	地域の医療機関等との連携・支援	(1)	地域の医療機関等との連携・支援	—	—	—																																																																																								
	県が策定する医師確保計画の推進に協力し、医師不足の公的医療機関に対し医師派遣を行うこと。また、他の医療機関から紹介された患者の受入れ及び患者に適した医療機関の紹介を積極的に行うこと。さらに、高度医療機器の共同利用の促進、ICTを活用した他の医療機関等との医療情報の共有など、地域医療の確保への支援を一層推進すること。	<p>①県内の医師確保・偏在解消等を県、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学等と連携して実施</p> <p>②県の医師派遣事業及び常勤医師の派遣への協力</p> <p>③地域医療連携推進法人制度を活用等による本県の医師確保、医師の人材育成、地域医療構想推進の支援及び病院の機能分化・連携強化</p> <p>④静岡市清水区の桜ヶ丘病院へ医師派遣等を行い清水区の病院医療の充実を支援</p> <p>⑤県内病院への常勤幹部医師の配置</p> <p>⑥専門医制度への対応</p> <p>⑦医療機器の共同利用の推進</p> <p>⑧ICT技術を活用した地域医療機関等との連携及び支援</p>	<p>①②⑤⑥県内の医師確保、偏在解消等を県、浜松医科大学、静岡社会健康医学大学院大学等と連携して実施するほか、地域医療支援病院としての使命を果たすため医師を確保したうえで、医師不足が顕著な公的病院に医師を派遣する。</p> <p>③④⑦⑧地域医療連携推進法人制度を活用して、静岡市清水区の桜ヶ丘病院への医師派遣等を行い、県の地域医療構想を推進することにより、地域において質が高く効率的な医療提供体制を構築する。</p>	<p>医師定数(各年度4月1日現在) (単位:人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>定数</td> <td>269</td> <td>271</td> <td>283</td> <td>314</td> <td>320</td> <td>317</td> <td>317</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師派遣実績 (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th rowspan="2">29年度</th> <th rowspan="2">30年度</th> <th rowspan="2">元年度</th> <th rowspan="2">2年度</th> <th rowspan="2">3年度</th> <th rowspan="2">4年度</th> <th rowspan="2">5年度9月末</th> <th rowspan="2">合計</th> </tr> <tr> <th>医療機関等</th> <th>診療科</th> <th>総人員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関等</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>6</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>68</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>11</td> <td>111</td> </tr> <tr> <td>総人員数</td> <td>577</td> <td>513</td> <td>752</td> <td>687</td> <td>501</td> <td>583</td> <td>310</td> <td>310</td> </tr> </tbody> </table> <p>医師派遣実績(公的病院等) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関等</td> <td>7</td> <td>5</td> <td>7</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>52</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>33</td> </tr> <tr> <td>総人員数</td> <td>803</td> <td>202</td> <td>282</td> <td>277</td> <td>351</td> <td>333</td> <td>193</td> <td>193</td> </tr> </tbody> </table> <p>※平成29年度までは後期研修医の派遣も含まれている。平成30年度からは小児科専攻医制度の制度変更に伴い、退職扱いの派遣となった。(平成29年度までと同様の算出であれば、令和4年度実績は2,523人、令和5年度見込みは1,431人となる)</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	定数	269	271	283	314	320	317	317	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	合計	医療機関等	診療科	総人員数	医療機関等	8	8	9	9	6	9	9	68	診療科	9	9	11	11	11	9	11	111	総人員数	577	513	752	687	501	583	310	310	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	医療機関等	7	5	7	7	8	8	8	52	診療科	2	2	2	3	3	3	3	33	総人員数	803	202	282	277	351	333	193	193	<p>県立病院としての役割を果たすため、継続的に医師確保に努めている一方、医師不足が顕著な公的病院等については医師派遣を行った。</p> <p>令和3年4月7日、静岡県知事より、県内初の地域医療連携推進法人となる「ふじのくに社会健康医療連合」の認定を受け、当院、桜ヶ丘病院、静岡社会健康医学大学院大学の3法人が参画している。静岡市清水区の医療を支える桜ヶ丘病院を存続させるため、総合病院から桜ヶ丘病院に対して医師派遣を行った。</p> <p>医療機関等に対しては、桜ヶ丘病院、焼津市立総合病院、島田市立総合医療センター、富士宮市立病院、伊豆赤十字病院、佐久間病院、川根本町いしの里診療所、静岡赤十字病院、つばさ静岡(ごども)に医師派遣を行った。</p> <p>令和5年度、県内の8医療機関等に医師を派遣し、県内各地の地域医療を支援した。また、公的病院だけでなく、県の要請に基づき、重症心身障害児施設にも医師を派遣し、地域貢献を果たした。小児科医が不足する医療機関からの派遣要請には可能な限り対応していく必要があり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応じた。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
定数	269	271	283	314	320	317	317																																																																																								
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	合計																																																																																							
									医療機関等	診療科	総人員数																																																																																				
医療機関等	8	8	9	9	6	9	9	68																																																																																							
診療科	9	9	11	11	11	9	11	111																																																																																							
総人員数	577	513	752	687	501	583	310	310																																																																																							
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
医療機関等	7	5	7	7	8	8	8	52																																																																																							
診療科	2	2	2	3	3	3	3	33																																																																																							
総人員数	803	202	282	277	351	333	193	193																																																																																							
					本部(総務・総合・ごども)		A																																																																																								
			82	②小児1次救急医療への応援を行う。	静岡市急病センター、志太権原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣した。	<p>医師派遣実績(急病センター) (単位:機関、科、人)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療機関</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>診療科</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>14</td> </tr> <tr> <td>総人員数</td> <td>294</td> <td>218</td> <td>214</td> <td>197</td> <td>165</td> <td>194</td> <td>159</td> <td>159</td> </tr> </tbody> </table> <p>【参考】医師派遣実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>医療機関</th> <th>診療科</th> <th>総人員数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>公的病院</td> <td>8</td> <td>3</td> <td>193</td> </tr> <tr> <td>急病センター</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>159</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>10</td> <td>5</td> <td>352</td> </tr> </tbody> </table> <p>※重複のため計が一致しない</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	医療機関	2	2	2	2	2	2	2	14	診療科	2	2	2	2	2	2	2	14	総人員数	294	218	214	197	165	194	159	159	区分	医療機関	診療科	総人員数	公的病院	8	3	193	急病センター	2	2	159	合計	10	5	352	<p>令和5年度は、静岡市急病センター及び志太権原地域救急医療センターへ継続的に医師を派遣し、地域の小児1次救急医療を支援した。小児1次救急医療の成立のため、派遣要請には可能な限り対応していく方針であり、働き方改革への対応とのバランスをとりながらも要請には全て応じた。</p>		A																																			
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
医療機関	2	2	2	2	2	2	2	14																																																																																							
診療科	2	2	2	2	2	2	2	14																																																																																							
総人員数	294	218	214	197	165	194	159	159																																																																																							
区分	医療機関	診療科	総人員数																																																																																												
公的病院	8	3	193																																																																																												
急病センター	2	2	159																																																																																												
合計	10	5	352																																																																																												
			83	④静岡社会健康大学院大学と連携して、医師の配置調整など「ふじのくに地域医療支援センター」業務を支援する。	『ふじのくに地域医療支援センター』の機能の一部業務である「県内での勤務を希望する医師および研修医の就業・キャリア形成等の相談」、「静岡県医学修学研修資金貸与者の勤務先病院の決定支援」の業務を受託し、県内医師確保のための役割の一部を担っている。	<p>配置調整医師数及び県内勤務開始者数 (単位:名)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>勤務開始年度</td> <td>64</td> <td>64</td> <td>76</td> <td>108</td> <td>125</td> <td>160</td> <td>163</td> </tr> <tr> <td>配置調整医師数</td> <td>41</td> <td>39</td> <td>47</td> <td>71</td> <td>83</td> <td>107</td> <td>108</td> </tr> </tbody> </table> <p>※配置調整は各前年度となる。</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	勤務開始年度	64	64	76	108	125	160	163	配置調整医師数	41	39	47	71	83	107	108	<p>静岡社会健康大学院大学と連携して、県の医師確保施策に寄与できるよう努めた。</p>		A																																																														
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
勤務開始年度	64	64	76	108	125	160	163																																																																																								
配置調整医師数	41	39	47	71	83	107	108																																																																																								

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価	
						暫定	説明
			84	⑥専攻医を受け入れる体制を整備し、専攻医の募集を行う。	<p>(総合)</p> <p>令和5年4月、12名が専門研修プログラムに所属し、研修を開始した。新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、当院ホームページにプログラム説明動画を公開のうえ専門研修プログラムの魅力を発信した。また、オンライン会議システムを利用し、面談を行うなど専攻医確保に努めている。</p> <p>(こども)</p> <p>病院見学の受入を積極的にを行い、専攻医の確保に努めている。</p> <p>(こども)</p> <p>平成29年度から新制度に準じて実施された小児科専門医制度の基幹研修施設として、新制度に則った研修を実施しており、令和5年度は13名が本研修に取り組んでいる。</p>	各病院	<p>(総合)</p> <p>19領域中10領域の専攻医確保に向けてホームページにプログラム説明動画を公開し、プログラムの魅力が伝わるような募集を行っている。また、オンライン会議システムを利用し、面談を行うなど専攻医確保に努めている。</p> <p>(こども)</p> <p>令和5年度は3人の専攻医を受け入れている。また病院見学は9名を受け入れている。</p> <p>(こども)</p> <p>小児科専攻医研修の基幹研修施設として、県中東部の連携施設10病院と作成した日本小児科学会の承認を受けたプログラムをもとに指導を行い、令和5年度は13名が本研修に取り組んでいる。</p>
			85	⑦地域の医療機関向けにCT・MRIの地域支援検査枠を増設し、共同利用件数の向上を図る。	<p>地域における医療機器の効率的な活用のため、CT・MRIの共同利用に取り組んでおり、地域医療の支援に貢献している。市内他施設における機器整備が進められており、共同利用件数も令和2年度を底に持ち直している。</p>	総合	<p>令和5年度のCT・MRI共同利用件数は、桜ヶ丘病院と令和3年度に改めて協定を締結し、前年度と同水準の利用件数となる見込である。</p>
			86	⑧ふじのくにねっとを活用し、地域の病院・診療所・調剤薬局・訪問看護ステーションとの連携を強化する。 ・ふじのくにパッチャル・メガ・ホスピタル協議会の運営を維持する。	<p>地域医療連携推進事業費補助金を活用し、ふじのくにねっと参加施設の新規システム構築及び機器更新を実施している(令和5年度にはデータセンターの機器更新を実施)。</p> <p>また、令和2年3月からは、地域医療情報連携ネットワークにおける同意取得方法に関する厚生労働省通知を受け、患者への参加同意取得手続き等の運用の見直しを進め、令和3年度についても、ふじのくにねっと参加施設の利便性に貢献した。令和4年度以降は協議会の会長を中東遠総合医療センターから選出して運営を継続している。</p>	総合	<p>ネットワーク全体で病病・病診連携における積極開示をルール化することを理事会で方針として採択し、先進事例の共有等の取組を推進している。</p>
			87	⑨国内外の医療機関との映像情報システムを用い、カンファレンス等を実施する。	<p>小児医療ネットワークを通じて、浜松医科大学等との合同カンファレンスやマレーシア国立循環器病センター(LIN)との接続試験を兼ねた症例検討会を実施している。また、他医療機関(4施設)と連携し、心エコー画像遠隔診断を実施している。</p>	こども	<p>小児循環器科専門医研修施設として、浜松医科大学等との映像情報を通じたカンファレンスを実施している。また、マレーシア国立循環器病センターともカンファレンスを実施している。</p> <p>令和5年度、連携医療機関との心エコー画像遠隔診断を9月末で5件実施し、医療機関からの相談について映像情報を活用して対応した。</p>

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価				
						暫定	説明			
(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 鑑定、調査、講師派遣など社会的な要請に対し、県立病院が有する人材や知見を積極的に提供し、県内の医療従事者の養成に貢献すること。	(2) 社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請に対し、引き続き柔軟に対応していくほか、医療従事者が他の機関・団体における研修や研究等の活動に参画しやすい体制づくりに取り組む。また、院内研修等の教育研修を県内の医療従事者へ積極的に開放していく。	社会的な要請への協力及び知識や技術の普及 ①公的機関からの医療に係る鑑定や調査、講師派遣等の社会的な要請への対応 ②学会や研修会等へ積極的に参加できる仕組みづくり ③認定看護師等の資格保有者の活用 ④県内の医療従事者への教育研修機能の開放 ⑤児童虐待早期発見医療体制整備事業を推進	-	-	-	-	-			
						88	①院内外の研修会等を定期的に開催し、地域の医療機関へ情報提供する。	総合 拡大キャンサーボード実績 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 回数(回) 6 6 33 33 27 4 2 参加人数 院内 153 194 178 73 78 101 61 院外 128 162 108 49 36 49 17 合計 281 356 286 122 114 150 78	A	がん診療部主催の拡大キャンサーボード(多職種カンファレンス)では、がん症例の診断や治療方法等について、院内外の多職種による包括的な議論が行われている。令和5年度も、新型コロナウイルス・インフルエンザ感染症等を考慮し、開催回数を制限して開催している。
						89	①他団体の講師派遣依頼に協力する。	総合 講師派遣実績 (単位:件) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 医師 51 43 56 38 43 51 35 その他 31 40 38 34 21 41 14 計 82 83 94 72 64 92 49	A	他団体等が主催する講演会の講師として、医師や認定看護師を派遣しており、令和5年度も、令和4年度に引き続き、積極的に実施している。
						90	①②他団体等が主催する講習会、研究会、学会への講師派遣を推進する。	院内 院内講演会講師派遣状況(医師) (単位:回) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 講演回数 31 21 29 4 31 29 3 院内講演会講師派遣状況(看護師) (単位:回) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 講演回数 29 29 33 17 30 37 20	A	他団体等が主催する講演会の講師やアドバイザーとして医師や看護師を派遣する等、積極的な地域支援を行っている。派遣実績は前年度のベースを上回っている。また、令和5年7月に全国自治体病院協議会の精神科部会を静岡市内で開催し、他の病院の先進的な取り組みについて知見を得る機会となった。
						91	①医療にかかる鑑定等の要請への協力など積極的に対応する。	医療観察法による鑑定院として協力するなど、積極的な対応を図っている。 医療観察法による鑑定入院受入実績 (単位:件) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 こころ 12 4 5 10 8 5 1	A	医療観察法に係る鑑定を受入を行っており、令和5年度については9月末現在で1件である。
92	①特別支援学校や児童相談所など教育機関や福祉機関との連携を強化するため、講座や相談会などを継続的に開催する。	精神保健講座等開催実績 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 精神保健 児童養護 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 講座 施設巡回 対象 県内小中 県内小中 学校教諭・家族 学校教諭・家族 学校教諭・家族 参加者数等 58回 11回 58回 10回 58回 11回 48回 10回 48回 11回 48回 11回 48回 11回 48回 11回 156人 11施設 159人 10施設 96人 11施設 49人 11施設 140人 10施設 75人 11施設 60人 7施設	医療機関に対する相談・助言件数 (単位:件) 区分 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 件数 82 31 教育研修の実施回数 (単位:回) 区分 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 実施回数 5 1	A	こころの診療科では、教師を対象とした精神保健講座や児童養護施設の巡回相談を定期的に行い、学校・地域との連携強化を図っている。 令和4年度から受託している、静岡県内の児童虐待早期発見医療体制整備事業について、育児環境支援室を中心に、令和5年度も事業を実施した。医療機関向け窓口への相談に対応したり、児童虐待が疑われる事例に対する緊急子育て支援対策委員会を開催し、必要と判断した場合には児童相談所への通告を行った。また、令和5年度下半期には、県と連携して、医療従事者のための子ども虐待対応研修の実施を予定している。					
						93	①小児慢性特定疾患治療研究事業や障害者総合支援法、児童福祉法、精神保健福祉法等の公費負担医療を実施する。	公費負担患者状況 (単位:人) 区分 29年度 30年度 元年度 2年度 3年度 4年度 5年度9月末 小児慢性 1,842 1,837 1,771 1,691 1,674 1,571 1,427 育成医療 471 114 55 36 20 10 4 養育医療 164 189 182 190 195 165 97 障害児療 115 83 64 61 65 74 10 4 障害児療 115 83 64 61 65 74 10 4 生活保護 176 182 182 181 188 185 182 精神保健 83 89 69 52 60 32 28 その他 119 143 140 204 231 207 219 計 2,975 2,645 2,517 2,452 2,402 2,304 2,097	A	公費負担医療を提供するためには、本人による申請が必要となることから、証明書・診断書の発行など公費適用患者の利便性を重視して対応した。





中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績(R5(暫定))	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																											
						暫定	説明																																																																																										
5	災害等における医療救護	5	災害等における医療救護	-	-	-	-																																																																																										
	県民の安心・安全を守るため、医療救護活動の拠点機能を担い、災害医療チームを派遣するなど医療救護に取り組むこと。	地震などによる大規模災害の発生が危惧される静岡県内の県立病院として、災害等への日頃からの備えを進め、発生時には静岡県医療救護計画等に基づき、医療救護活動に従事する。	県立病院として、県内外の災害等の発生に対し十分な備えをするとともに、医療救護活動の拠点としての役割を果たす。																																																																																														
(1)	医療救護活動の拠点機能	(1)	医療救護活動の拠点機能	-	-	-	-																																																																																										
	災害等における本県の医療救護活動の拠点機能を担うこと。特に、県立総合病院は、基幹災害拠点病院として、県内の災害時医療の中心的役割を果たすことができるよう機能強化を図ること。あわせて、国の原子力災害対策指針に基づく新たな原子力災害医療体制の整備に努めること。また、県立こころの医療センターは災害時における精神医療分野の、県立こども病院は災害時における小児医療分野の、それぞれにおける基幹的役割を果たすよう、日頃から備えること。	日頃から実践的な災害医療訓練を定期的に開催するなど、医療救護活動の拠点となる病院としての機能を維持向上し、災害等の発生時には重篤患者の受入れ、県内外のDMAT(災害派遣医療チーム)・DPAT(災害派遣精神医療チーム)との連携など求められる機能を発揮する。特に、県立総合病院は基幹災害拠点病院として県内の災害医療の中心的役割を、県立こころの医療センター及び県立こども病院は、それぞれの分野で基幹的役割を果たすことができるよう体制整備に取り組む。	①災害拠点病院(小児分野を含む)等として、災害時の医療救護活動の拠点機能を担う ②災害時における精神医療分野の拠点病院として、中心的役割を担う ③小児専門医療機関間の災害時情報交換システムと相互協力関係の構築	①災害医療訓練を実施する。 ①災害対応マニュアル等の整備、見直しを行い発生時に迅速な対応ができるようにする。 ①【心】・災害等に対する日頃の備えに努め、大規模災害等における本県の精神分野の災害時医療に対応する。 ①【子】・災害時における小児医療の拠点としての院内体制の整備に努める。 ②【心】・一時避難所機能等災害時における精神医療分野の拠点病院としての役割を担うための訓練を実施する。 ③【子】・小児医療総合施設協議会において実施する小児専門医療機関間の災害時における情報交換システムに参加、協力していく。	<p>年度別実績</p> <table border="1"> <tr> <td>元年度</td> <td>令和6.20 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和7.7.13 県立総合病院災害時医療訓練(院内)実施</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和7.5 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和7.11 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和7.20 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和11.20 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施</td> <td>令和12.4 院内防災訓練実施(参加者61名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和12.1 県立総合病院防災訓練</td> <td>令和12.15 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.7.10 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和2.7.17 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.7.7 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加</td> <td>令和2.23 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.10.30 小児専門医療機関間の災害時情報交換システム構築(西田 大博様(受講生1名))</td> <td>令和5.6.18 県立総合病院防災訓練(院内)実施(受講生1名)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.11.27 静岡県DMAT看護訓練を県立総合病院にて実施</td> <td>令和7.7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.12.5 院内防災訓練実施(参加者61名)</td> <td>令和5.9.30 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和4.3.18 静岡県DMAT通信訓練を企画・実施</td> <td>令和5.10.29 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施</td> </tr> </table> <p>主な活動実績</p> <table border="1"> <tr> <td>3年度</td> <td>令和3.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡県DMAT隊員派遣(県庁警本部・保健所等)(DMAT隊員2名)</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>令和4.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所)(DMAT隊員2名)</td> </tr> <tr> <td>5年度(9月末)</td> <td>なし</td> </tr> </table> <p>令和3年2月に県内初となる災害拠点精神科病院の指定を受けている。大規模災害等における本県の精神分野における中核的拠点として災害時医療に対応できるよう、各種訓練を実施したほか、災害発生時には要請に応じてDPAT隊を派遣できる体制を維持している。</p> <p>防災訓練(避難訓練)実績</p> <table border="1"> <tr> <td>元年度</td> <td>令和7.11 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> <td>令和7.13 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和8.22 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施</td> <td>令和8.24 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和8.29 県立総合病院防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施</td> <td>令和8.31 院内防災訓練</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和8.31 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加</td> <td>令和10.1 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和9.7 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加</td> <td>令和11.29 院内防災訓練(院内)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和10.18 静岡県健康福祉部防災訓練(小児専門)に参加</td> <td>令和1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>令和2.7.16 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> <td>令和5.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.8.31 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施</td> <td>令和5.8.22 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.10.26 院内防災訓練(第1回)</td> <td>令和5.9.3 静岡県・浜北市・瀬戸市合同防災訓練(防災訓練)参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.1.25 院内防災訓練(第2回)</td> <td>令和5.9.4 院内防災訓練(院内) 災害医療訓練メール受講訓練の参加</td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> <td>令和5.9.30 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>令和3.8.30 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.11.29 院内防災訓練</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和4.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和4.1.31 院内防災訓練(第2回)</td> <td></td> </tr> </table> <p>令和5年9月に新採職員向け消火避難訓練を実施した。 令和5年10月以降に、総合防災訓練及び夜間想定防火避難誘導訓練を予定している。</p>	元年度	令和6.20 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.7.13 県立総合病院災害時医療訓練(院内)実施		令和7.5 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和7.11 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.20 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和11.20 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施	令和12.4 院内防災訓練実施(参加者61名)		令和12.1 県立総合病院防災訓練	令和12.15 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和2.7.10 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.7.17 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和2.7.7 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.23 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和3.10.30 小児専門医療機関間の災害時情報交換システム構築(西田 大博様(受講生1名))	令和5.6.18 県立総合病院防災訓練(院内)実施(受講生1名)		令和3.11.27 静岡県DMAT看護訓練を県立総合病院にて実施	令和7.7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和3.12.5 院内防災訓練実施(参加者61名)	令和5.9.30 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加		令和4.3.18 静岡県DMAT通信訓練を企画・実施	令和5.10.29 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施	3年度	令和3.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡県DMAT隊員派遣(県庁警本部・保健所等)(DMAT隊員2名)	4年度	令和4.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所)(DMAT隊員2名)	5年度(9月末)	なし	元年度	令和7.11 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和7.13 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		令和8.22 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和8.24 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		令和8.29 県立総合病院防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和8.31 院内防災訓練		令和8.31 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加	令和10.1 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加		令和9.7 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加	令和11.29 院内防災訓練(院内)		令和10.18 静岡県健康福祉部防災訓練(小児専門)に参加	令和1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		令和2.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		2年度	令和2.7.16 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和5.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		令和2.8.31 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和5.8.22 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加		令和2.10.26 院内防災訓練(第1回)	令和5.9.3 静岡県・浜北市・瀬戸市合同防災訓練(防災訓練)参加		令和3.1.25 院内防災訓練(第2回)	令和5.9.4 院内防災訓練(院内) 災害医療訓練メール受講訓練の参加		令和3.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和5.9.30 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加	3年度	令和3.8.30 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施			令和3.11.29 院内防災訓練			令和4.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加			令和4.1.31 院内防災訓練(第2回)		情報伝達・避難訓練等、災害の発生を想定し、基幹災害拠点病院の役割を果たすべく各種訓練及び研修を企画、実施している。静岡県DMAT-L隊員養成研修は、昨年よりも約10名多くの受講生を受け入れ、県下のDMAT隊員を増加させた。静岡県DMAT看護師研修を年3回実施し、東部、中部、西部で各1回ずつ実施することにより、県下のDMAT隊員が参加しやすくなった。看護師部会を発足させ、部会を通じて各課題の検討や意見交換をする等、基幹災害拠点病院として、県全体の連携向上に努めている。また、静岡DMATロジスティック研修を実施している。原子力災害拠点病院としての役割を果たすため、放射線部を中心に設備・備品の整備・更新を進めている。引き続き、災害発生に備えた病院の機能の充実に努める。	令和5年度は、9月末現在でDPAT隊の派遣実績はなかったが、県主催の訓練や政府主催の大規模地震時医療活動訓練に参加し、災害時における活動に備えている。
元年度	令和6.20 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.7.13 県立総合病院災害時医療訓練(院内)実施																																																																																															
	令和7.5 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和7.11 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加	令和7.20 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和11.20 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施	令和12.4 院内防災訓練実施(参加者61名)																																																																																															
	令和12.1 県立総合病院防災訓練	令和12.15 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和2.7.10 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和2.7.16 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.7.17 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和2.7.7 静岡県DMAT通信訓練の情報伝達訓練に参加	令和2.23 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和3.10.30 小児専門医療機関間の災害時情報交換システム構築(西田 大博様(受講生1名))	令和5.6.18 県立総合病院防災訓練(院内)実施(受講生1名)																																																																																															
	令和3.11.27 静岡県DMAT看護訓練を県立総合病院にて実施	令和7.7.13 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和3.12.5 院内防災訓練実施(参加者61名)	令和5.9.30 静岡県健康福祉部防災訓練の情報伝達訓練に参加																																																																																															
	令和4.3.18 静岡県DMAT通信訓練を企画・実施	令和5.10.29 静岡県DMAT-1隊員養成研修を県立総合病院にて実施																																																																																															
3年度	令和3.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴う静岡県DMAT隊員派遣(県庁警本部・保健所等)(DMAT隊員2名)																																																																																																
4年度	令和4.4～ 新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所)(DMAT隊員2名)																																																																																																
5年度(9月末)	なし																																																																																																
元年度	令和7.11 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和7.13 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																															
	令和8.22 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和8.24 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																															
	令和8.29 県立総合病院防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和8.31 院内防災訓練																																																																																															
	令和8.31 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加	令和10.1 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																															
	令和9.7 防災訓練(大規模地震時避難活動訓練)参加	令和11.29 院内防災訓練(院内)																																																																																															
	令和10.18 静岡県健康福祉部防災訓練(小児専門)に参加	令和1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																															
	令和2.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																																
2年度	令和2.7.16 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和5.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																															
	令和2.8.31 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施	令和5.8.22 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																															
	令和2.10.26 院内防災訓練(第1回)	令和5.9.3 静岡県・浜北市・瀬戸市合同防災訓練(防災訓練)参加																																																																																															
	令和3.1.25 院内防災訓練(第2回)	令和5.9.4 院内防災訓練(院内) 災害医療訓練メール受講訓練の参加																																																																																															
	令和3.7.7 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加	令和5.9.30 政府訓練(大規模地震時医療活動訓練)参加																																																																																															
3年度	令和3.8.30 院内防災訓練(避難訓練・避難誘導訓練)を実施																																																																																																
	令和3.11.29 院内防災訓練																																																																																																
	令和4.1.17 県立総合病院防災訓練におけるDMAT通信訓練に参加																																																																																																
	令和4.1.31 院内防災訓練(第2回)																																																																																																
							新採職員向け消火避難訓練では、初期消火訓練、病棟患者を想定した模擬患者の避難誘導及び避難訓練を実施した。総合防災訓練では、平日昼間の時間帯で発生した際の初動チェック訓練、発災1日後のベントコントロール訓練、コロナ禍中に一時中止していた災害医療ゾーンの立ち上げ訓練の実施を予定している。夜間想定防火避難誘導訓練では、夜間想定に限られた人的資源ができるだけ生かした安全な避難経路を設定する訓練などを予定している。																																																																																										

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																						
						暫定	説明																																																																																					
(2) 他県等の医療救護への協力 他県等の大規模災害等においても、災害医療チームを派遣するなど、積極的に医療救護に協力すること。	(2) 他県等の医療救護への協力 災害時医療救護派遣マニュアルに基づき、速やかに医療チームを派遣できるよう定期的な要員訓練やマニュアルの点検を行う。	(2) 他県等の医療救護への協力 ①災害発生初期におけるDMAT(災害派遣医療チーム)・DPAT(災害派遣精神医療チーム)の派遣及び県からの要請に基づく支援等の実施	-	-	-	-	-																																																																																					
								103	①災害医療救護応援班の訓練を実施する。	<p>年度別実績</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">元年度</th> <th colspan="2">令和元年度</th> <th rowspan="2">4年度</th> <th colspan="2">5年度(9月末)</th> </tr> <tr> <th>令和元年度</th> <th>令和2年度</th> <th>令和5年度</th> <th>令和6年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>令和元.8.23</td> <td>静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)にDMAT隊員1人が参加した。</td> <td>令和4.7.21</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元.8.1</td> <td>静岡県総合防災訓練(実演訓練)にDMAT隊員1人が参加した。</td> <td>令和4.8.30</td> <td>静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員4名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和元.8.25</td> <td>静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)</td> <td>令和4.9.4</td> <td>静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員7名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.1.17</td> <td>静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)</td> <td>令和5.3.20~20.1</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員1名、補助員1名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.9.17</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)</td> <td>令和4.10.20</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(4県院参加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.10.7</td> <td>富士山静岡空港航空機事故対応訓練(DMAT隊員5名)</td> <td>令和4.11.13</td> <td>緊急防災救護隊員合同訓練(実演)に参加(DMAT隊員7名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和2.4~3</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)</td> <td>令和4.11.29~27</td> <td>中部ブロックDMAT実演訓練(石川)に参加(DMAT隊員7名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和3.10.30</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)</td> <td>令和5.1.17</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員5名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>令和4.3.18</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)</td> <td>令和5.1.19</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)</td> <td>令和5.7.20</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和5.8.29</td> <td>静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員6名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和5.9.3</td> <td>静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員6名)</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>令和5.10.19</td> <td>静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(4県院参加)</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	元年度	令和元年度		4年度	5年度(9月末)		令和元年度	令和2年度	令和5年度	令和6年度		令和元.8.23	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)にDMAT隊員1人が参加した。	令和4.7.21	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)			令和元.8.1	静岡県総合防災訓練(実演訓練)にDMAT隊員1人が参加した。	令和4.8.30	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員4名)			令和元.8.25	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和4.9.4	静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員7名)			令和2.1.17	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和5.3.20~20.1	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員1名、補助員1名)			令和2.9.17	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和4.10.20	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(4県院参加)			令和2.10.7	富士山静岡空港航空機事故対応訓練(DMAT隊員5名)	令和4.11.13	緊急防災救護隊員合同訓練(実演)に参加(DMAT隊員7名)			令和2.4~3	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和4.11.29~27	中部ブロックDMAT実演訓練(石川)に参加(DMAT隊員7名)			令和3.10.30	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.1.17	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員5名)			令和4.3.18	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.1.19	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)				静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.7.20	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)					令和5.8.29	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員6名)					令和5.9.3	静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員6名)	
元年度	令和元年度		4年度	5年度(9月末)																																																																																								
	令和元年度	令和2年度		令和5年度	令和6年度																																																																																							
	令和元.8.23	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)にDMAT隊員1人が参加した。	令和4.7.21	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)																																																																																								
	令和元.8.1	静岡県総合防災訓練(実演訓練)にDMAT隊員1人が参加した。	令和4.8.30	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員4名)																																																																																								
	令和元.8.25	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和4.9.4	静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員7名)																																																																																								
	令和2.1.17	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和5.3.20~20.1	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員1名、補助員1名)																																																																																								
	令和2.9.17	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1人が参加した。)	令和4.10.20	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(4県院参加)																																																																																								
	令和2.10.7	富士山静岡空港航空機事故対応訓練(DMAT隊員5名)	令和4.11.13	緊急防災救護隊員合同訓練(実演)に参加(DMAT隊員7名)																																																																																								
	令和2.4~3	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和4.11.29~27	中部ブロックDMAT実演訓練(石川)に参加(DMAT隊員7名)																																																																																								
	令和3.10.30	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.1.17	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)に参加(DMAT隊員5名)																																																																																								
	令和4.3.18	静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.1.19	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)																																																																																								
		静岡県DMAT隊長選任訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員1名)	令和5.7.20	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(5県院参加)																																																																																								
			令和5.8.29	静岡県総合防災訓練(本県運営訓練)に参加(DMAT隊員6名)																																																																																								
			令和5.9.3	静岡県総合防災訓練(実演訓練)に参加(DMAT隊員6名)																																																																																								
			令和5.10.19	静岡県DMAT隊長選任訓練(中部地区)を実施(4県院参加)																																																																																								
					<p>主な活動実績</p> <table border="1"> <tbody> <tr> <td>3年度</td> <td>令和3.4~</td> <td>新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>令和3.7~</td> <td>熱海伊豆山土砂災害派遣へのDMAT派遣(県対策本部・熱海被災地) (DMAT隊員19名)</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>令和4.4~</td> <td>新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)</td> </tr> <tr> <td>5年度(9月末)</td> <td></td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> <p>DMAT訓練回数 (単位:回)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>訓練</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>1</td> <td>4</td> <td>9</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>	3年度	令和3.4~	新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)	4年度	令和3.7~	熱海伊豆山土砂災害派遣へのDMAT派遣(県対策本部・熱海被災地) (DMAT隊員19名)	4年度	令和4.4~	新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)	5年度(9月末)		なし	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	訓練	8	8	8	1	4	9	5																																																											
3年度	令和3.4~	新型コロナウイルス感染症に伴う静岡DMAT隊員派遣(県対策本部・保健所等) (DMAT隊員2名)																																																																																										
4年度	令和3.7~	熱海伊豆山土砂災害派遣へのDMAT派遣(県対策本部・熱海被災地) (DMAT隊員19名)																																																																																										
4年度	令和4.4~	新型コロナウイルス感染症に伴うDMAT隊員派遣(宿泊療養施設・保健所) (DMAT隊員2名)																																																																																										
5年度(9月末)		なし																																																																																										
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																					
訓練	8	8	8	1	4	9	5																																																																																					



中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																														
						暫定	説明																																													
			107	<p>⑩⑪毎月の理事会や病院幹部会議において、経営状況を報告・分析するとともに、それらの経営状況の職員への周知を図る。</p> <p>⑩⑫機構の直近の経営状況を職員(特に病院の幹部職員、県からの新しい派遣職員や新規採用職員)に認識させるため、会議や研修、広報誌等を通じて周知徹底する。</p>	<p>各病院(企画・経営)</p> <p>理事会や運営会議において、毎月の月次決算により経営状況を分析し、報告を行っている。また、3病院合同幹部会議において各病院の幹部職員に定期的に報告し、周知を図っている。職員研修などにおいて、病院経営や効率的な業務運営に関する取組等の科目を設け、意識の醸成を図った。院内コミュニケーションシステムや職員報(トライアングル等)を通じて、理事会資料等の経営情報を全職員に向け提供し、意識醸成を図っている。上記取組を継続して行い、経営情報の把握や適時適切な措置を講じられる体制整備を図っている。</p>	A	<p>月次決算等により、経営状況の報告・分析を確実に進めている。また、会議や職員報を通じた経営分析結果の職員への周知、理事長、副理事長自らによる研修等により、職員の経営に対する意識啓発を図っている。</p> <p>令和4年度は、コロナ禍による診療収益の減と、補助金の見込額を随時把握し、月次決算報告に反映させた。</p>																																													
	<p>【目標値】</p> <p>・業務改善運動推進制度実績件数(総合、こども、本部)</p>	<p>【目標値】</p> <p>・業務改善運動推進制度実績件数(総合、こども、本部)</p>	108	<p>⑬院内コミュニケーションシステムを活用するなどして、職員が経営・業務改善を常時提案できる体制を整備する。</p>	<p>各病院(企画)</p> <p>業務改善について、院内コミュニケーションシステム等を利用して、誰もが経営・業務改善を常時提案できる体制の整備に努めた。また、他職員の改善提案を確認できるよう仕組みを整備している。</p> <p>業務改善運動推進制度実績件数 (単位:件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度(9月末)</th> <th>記録項目</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>50</td> <td>72</td> <td>113</td> <td>27</td> <td>164</td> <td>95</td> <td></td> <td>80件以上</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>29</td> <td>34</td> <td>32</td> <td>4</td> <td>53</td> <td>30</td> <td></td> <td>36件以上</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>19</td> <td>10</td> <td>8</td> <td>8</td> <td>21</td> <td>50</td> <td></td> <td>71件以上</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>178</td> <td>140</td> <td>203</td> <td>68</td> <td>276</td> <td>226</td> <td></td> <td>19件以上</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	記録項目	総合	50	72	113	27	164	95		80件以上	こども	29	34	32	4	53	30		36件以上	本部	19	10	8	8	21	50		71件以上	計	178	140	203	68	276	226		19件以上	—	<p>令和5年度については、各病院・所属で取組を実施しており、優れた取組については、ホームページやマスコミを活用し、他の医療機関に広く周知を図る予定である。</p>
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度(9月末)	記録項目																																												
総合	50	72	113	27	164	95		80件以上																																												
こども	29	34	32	4	53	30		36件以上																																												
本部	19	10	8	8	21	50		71件以上																																												
計	178	140	203	68	276	226		19件以上																																												

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																																						
						暫定	説明																																																																																																					
<b>2 事務部門の専門性の向上</b> 事務部門において、病院特有の事務に精通した職員を確保及び育成することにより、専門性の向上を図ること。	<b>2 事務部門の専門性の向上</b> 経営管理機能を強化するため、引き続き法人固有の事務職員を採用して業務量に応じた柔軟な職員配置に努め、専門性を十分に発揮できるよう体制を整備する。また、急速な経営環境の変化にも迅速に対応できるように病院運営や医療事務等に精通した人材の確保にも努める。	<b>2 事務部門の専門性の向上</b> ①階層や職務に応じた効果的な研修の実施、学会発表等への事務職員の参加など ②異動方針の弾力的運用及び各部署におけるOJT (on-the-job training)をはじめとする人材の育成・研修の推進 ③診療情報管理機能の強化	-	-	-	-	-																																																																																																					
						109	①階層や職務に応じた各種研修を実施する。 ・また、事務職員の機構外研修への積極的な参加を促す。 ②職員の適性等を考慮した弾力的な人事異動を行う。	事務職員に対する研修状況 <table border="1"> <thead> <tr> <th>受講時期</th> <th>研修名</th> <th>開催状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新年度</td> <td>新年度採用職員研修</td> <td>6月 2日間</td> </tr> <tr> <td>新年度</td> <td>新年度採用職員研修</td> <td>5月 3日間</td> </tr> <tr> <td>管理職</td> <td>事務管理職者研修</td> <td>6月 2日間</td> </tr> <tr> <td>管理職</td> <td>コミュニケーション研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>インストラクター研修</td> <td>9月 1日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>事務職員基礎研修</td> <td>2月 6日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>事務職員基礎研修</td> <td>8月 3日間</td> </tr> <tr> <td>希望により任意参加</td> <td>事務職員基礎研修</td> <td>9月 3日間</td> </tr> </tbody> </table>	受講時期	研修名	開催状況	新年度	新年度採用職員研修	6月 2日間	新年度	新年度採用職員研修	5月 3日間	管理職	事務管理職者研修	6月 2日間	管理職	コミュニケーション研修	9月 1日間	希望により任意参加	インストラクター研修	9月 1日間	希望により任意参加	事務職員基礎研修	2月 6日間	希望により任意参加	事務職員基礎研修	8月 3日間	希望により任意参加	事務職員基礎研修	9月 3日間	A	階層別、業務に必要なスキルを身につける専門研修を実施している。																																																																							
						受講時期	研修名	開催状況																																																																																																				
新年度	新年度採用職員研修	6月 2日間																																																																																																										
新年度	新年度採用職員研修	5月 3日間																																																																																																										
管理職	事務管理職者研修	6月 2日間																																																																																																										
管理職	コミュニケーション研修	9月 1日間																																																																																																										
希望により任意参加	インストラクター研修	9月 1日間																																																																																																										
希望により任意参加	事務職員基礎研修	2月 6日間																																																																																																										
希望により任意参加	事務職員基礎研修	8月 3日間																																																																																																										
希望により任意参加	事務職員基礎研修	9月 3日間																																																																																																										
110	③診療情報管理業務に専門的に携わることができる知識・技能を有する職員を育成する。	診療情報管理士資格取得状況 (単位:人) <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="2">29年度</th> <th colspan="2">30年度</th> <th colspan="2">元年度</th> <th colspan="2">2年度</th> <th colspan="2">3年度</th> <th colspan="2">4年度</th> <th colspan="2">5年度9月末</th> </tr> <tr> <th>資格取得者</th> <th>専門課程修了者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>6</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>10</td> <td>7</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>7</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>本部</td> <td>2</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>12</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>17</td> <td>13</td> <td>14</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>17</td> <td>16</td> </tr> </tbody> </table> ※ 専門課程修了者・資格試験受験資格を有する者	区分	29年度		30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		5年度9月末		資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9	9	7	こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	こども	3	4	3	4	3	3	5	5	5	5	5	5	5	6	本部	2	1	2	0	1	0	1	1	2	2	2	2	2	2	合計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17	17	16	A	令和5年度については、診療情報管理機能の強化をするため、引き続き診療情報管理士資格の取得支援制度を活用するなど、必要な資格者を育成するとともに、適切な人員配置を行った。
区分	29年度			30年度		元年度		2年度		3年度		4年度		5年度9月末																																																																																														
	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者	資格取得者	専門課程修了者																																																																																														
総合	6	10	7	10	7	9	9	9	9	9	9	9	9	7																																																																																														
こころ	1	2	1	3	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1																																																																																														
こども	3	4	3	4	3	3	5	5	5	5	5	5	5	6																																																																																														
本部	2	1	2	0	1	0	1	1	2	2	2	2	2	2																																																																																														
合計	12	17	13	17	13	14	17	17	17	17	17	17	17	16																																																																																														
<b>3 収益の確保と費用の節減</b> 新たな診療報酬の取得可能性やDPCの係数向上等について積極的に検討を行うほか、診療報酬制度の改定に迅速に対応し、収益の確保を図ること。また、診療報酬請求漏れの防止や未収金の発生防止及び早期回収に努めること。 費用面においては、診療材料・医薬品等の適切な管理によるコスト削減に努めるほか、経営状況の分析を随時行い、費用対効果の改善に向けた進捗管理に取り組むこと。	<b>3 収益の確保と費用の節減</b> 診療報酬制度の改定に迅速に対応し、収益の確保を図る。また、様々な診療報酬の取得可能性やDPCの係数向上等について積極的に検討を行うほか、診療報酬請求漏れの防止、未収金の発生防止や早期回収に努める。 費用面においては、診療材料・医薬品等の適切な管理によるコスト削減に努めるほか、経営状況の分析を随時行い、費用対効果の改善に向けた進捗管理に取り組む。	<b>3 収益の確保と費用の節減</b> ①平均在院日数の短縮に向けた取り組み ②医薬品、診療材料の適正かつ計画的な購入 ③診療報酬など収入の適正な確保 ④業務の質を担保しつつ、多様な契約手法の活用や事務の効率化などによるコスト削減 ⑤未収金対策の実施	-	-	-	-	-																																																																																																					
						111	①平均在院日数の短縮に向け、DPC入院期間Ⅱ以内での退院を促進する。 【こころ】①長期入院患者の退院促進に取り組む。	DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>61.2</td> <td>62.0</td> <td>64.1</td> <td>66.3</td> <td>65.8</td> <td>62.9</td> <td>70.2</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>59.9</td> <td>67.0</td> <td>67.8</td> <td>67.6</td> <td>68.1</td> <td>74.2</td> <td>70.6</td> </tr> </tbody> </table> 長期入院患者率 (単位:%) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>こころ</td> <td>40.7</td> <td>38.9</td> <td>37.5</td> <td>43.1</td> <td>44.0</td> <td>42.0</td> <td>41.0</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9	70.2	こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2	70.6	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	42.0	41.0	A	(総合) DPC入院期間Ⅱ以内の退院割合を高めるため、定例医局会で月次報告を行い、入院期間Ⅱ以内の退院について協力を求めるとともに、クリニカルパス見直し等の取組を行っている。 (こころ) 患者の早期入院・早期退院に努めており、長期入院患者率が前年度を下回っている。 (こども) DPC部会を開催し、状況確認や課題の解決について取り組んだ。																																																										
						区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																															
総合	61.2	62.0	64.1	66.3	65.8	62.9	70.2																																																																																																					
こども	59.9	67.0	67.8	67.6	68.1	74.2	70.6																																																																																																					
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																																					
こころ	40.7	38.9	37.5	43.1	44.0	42.0	41.0																																																																																																					
112	②診療材料、薬品の廃棄状況を要因別・部門別に明らかにし、破棄・破損について、削減のための対策を講じる。	破棄・破損額 (5年度9月末) (単位:千円) <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>診療材料費</th> <th>薬品費</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>2,209</td> <td>851</td> <td>3,060</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>311</td> <td>55</td> <td>366</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>1,578</td> <td>1,530</td> <td>3,108</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>4,098</td> <td>2,436</td> <td>6,534</td> </tr> </tbody> </table>	区分	診療材料費	薬品費	合計	総合	2,209	851	3,060	こころ	311	55	366	こども	1,578	1,530	3,108	合計	4,098	2,436	6,534	A	(総合) 破棄・破損については、部署、原因、金額等の記録を徹底し、特に高額なものはインシデントレポートの提出を義務化している。また、委員会において事象報告を行い、対応策を議論することにより、破棄・破損の削減に努めている。前年同期に比べ▲1,789千円となっている。 (こころ) 薬品類については、前年度までの取組に引き続き、破棄・破損額の抑制のため、3病院間での薬品の譲受譲渡を推進し、不動在庫の軽減に努めた。 診療材料については、病棟内における在庫の適正化をすすめ、病棟内の在庫を減らし必要時に度発注することとして、前年度までの取組を継続して、期限切れによる廃棄の削減に努めた。 (こども) 各部署と金額等の情報共有を徹底するとともに、委員会等で破棄・破損額の情報共有、適切な在庫管理の周知を行い、破棄・破損の削減に努めた。																																																																																				
区分	診療材料費	薬品費	合計																																																																																																									
総合	2,209	851	3,060																																																																																																									
こころ	311	55	366																																																																																																									
こども	1,578	1,530	3,108																																																																																																									
合計	4,098	2,436	6,534																																																																																																									

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																														
						暫定	説明																																																																																													
			113	③積極的に施設基準を取得する。 ・診療報酬の適正請求にかかわる研修会等を実施する。	<p>(総合) 4月から精神科病棟を開棟した。1ヶ月間の実績をもって5月から10対1看護の届出を行うことが出来た。また精神科病棟の開棟に伴い、総合入院体制加算も2から1へランクアップすることができた。派遣による看護補助者の増員により、急性期看護補助体制加算を50対1から25対1にランクアップした。下肢創傷処置や静脈圧追処置など、新しい医療技術についても導入を進め、要件を満たすことができたため、届出を行った。外部のコンサルタント等に研修会の講師を依頼することで、適切な最新の情報で研修会を開催出来ている。またこの研修会を行うことで、臨床研修病院の施設基準の要件も維持することが出来ている。</p> <p>(子ども) 人員要件、診療実績要件、他施設との連携構築、マニュアル等体制整備、院内施設整備などにより、クワン・ブリッジ維持管理料、指アデブ補完ウイルス9型(AAV9)抗体、情報通信機器を用いた診療に係る基準の新規届出を行った。さらに、勤務する看護職員等の処遇を改善するための措置を実施している場合の評価で新設された看護職員処遇改善評価料において、診療実績要件にある実績の変化に迅速に対応し、前年度区分(98)から区分(109)へと変更の届出も遅延なく行った。</p> <p>随時、各職種との連携を図り、適正な収入確保を念頭に施設基準取得に努めた。</p>	A	各病院において、施設基準の新規及び変更の届出を積極的にを行い、診療単価の向上に寄与している。 また、研修会等を通じて、病院全体として適正請求に関する意識を高めるよう努めている。																																																																																													
			114	④SPD導入により、薬品・診療材料の期限切れ、病棟の在庫額減少に努める。	<p>薬品、診療材料期限切れ廃棄額 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品</td> <td>2,832</td> <td>2,931</td> <td>2,279</td> <td>2,553</td> <td>2,638</td> <td>2,031</td> <td>1,880</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>675</td> <td>969</td> <td>973</td> <td>627</td> <td>1,631</td> <td>979</td> <td>372</td> </tr> </tbody> </table> <p>薬品・診療材料在庫額 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬品</td> <td>102,777</td> <td>92,244</td> <td>136,694</td> <td>153,688</td> <td>160,916</td> <td>168,436</td> <td>193,696</td> </tr> <tr> <td>診療材料</td> <td>216,079</td> <td>224,292</td> <td>221,511</td> <td>227,708</td> <td>239,545</td> <td>251,101</td> <td>257,309</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	2,031	1,880	診療材料	675	969	973	627	1,631	979	372	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	薬品	102,777	92,244	136,694	153,688	160,916	168,436	193,696	診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	251,101	257,309	A	薬品及び診療材料については、使用期限を確認し、期限切迫品の表示や使用頻度の高い部署へ移管を行うことにより、多くのロスを防ぐなどSPD業務の改善を図っている。しかしながら、稀な症例に使用する物品(ただし緊急時になければ困るもの)が期限切れになっており、今後も管理方法について検討を行っている。 薬品は、SPDによる在庫管理に加え、3病院間における移管や担当職員の関与により、期限切れ廃棄額の削減と在庫額減少に努めている。 診療材料は、手術室において期限切迫品カートを設置し、使用を促している。医療の高度化により高額材料が増加したが、ピッキングリストの見直し提案を行う等、在庫の削減に努めている。 新型コロナウイルス感染症の影響により、マスクや手袋等、供給体制が不安定な物品について、在庫量を一時的に増やす対応、また値上げ物品の増加に伴い在庫額が増えている。																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																													
薬品	2,832	2,931	2,279	2,553	2,638	2,031	1,880																																																																																													
診療材料	675	969	973	627	1,631	979	372																																																																																													
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																													
薬品	102,777	92,244	136,694	153,688	160,916	168,436	193,696																																																																																													
診療材料	216,079	224,292	221,511	227,708	239,545	251,101	257,309																																																																																													
			115	④材料費等の節減のための対策を実施する。	<p>診療材料コスト縮減実績 (単位：千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>27,923</td> <td>85,869</td> <td>82,971</td> <td>71,680</td> <td>132,620</td> <td>81,872</td> <td>50,209</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>446</td> <td>95</td> <td>13</td> <td>3</td> <td>105</td> <td>99</td> <td>21</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>6,182</td> <td>15,458</td> <td>16,734</td> <td>12,229</td> <td>22,956</td> <td>24,366</td> <td>12,761</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>34,551</td> <td>101,422</td> <td>99,718</td> <td>83,912</td> <td>155,681</td> <td>106,337</td> <td>62,991</td> </tr> </tbody> </table> <p>5年度9月末 新規導入・廃止した診療材料・薬品 品目数の実績 (単位：件)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">区分</th> <th colspan="4">診療材料品目数</th> <th colspan="4">薬品品目数</th> </tr> <tr> <th>5年度当初 契約数(a)</th> <th>新規採用数 (b)</th> <th>廃止数 (c)</th> <th>契約数 (a+b-c)</th> <th>5年度当初 契約数(a)</th> <th>新規採用数 (b)</th> <th>廃止数 (c)</th> <th>契約数 (a+b-c)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>17,429</td> <td>177</td> <td>0</td> <td>17,606</td> <td>2,076</td> <td>119</td> <td>40</td> <td>2,155</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>418</td> <td>14</td> <td>10</td> <td>422</td> <td>1,092</td> <td>86</td> <td>552</td> <td>626</td> </tr> <tr> <td>子ども</td> <td>3,827</td> <td>131</td> <td>47</td> <td>3,911</td> <td>1,335</td> <td>19</td> <td>18</td> <td>1,336</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>21,674</td> <td>322</td> <td>57</td> <td>21,939</td> <td>4,503</td> <td>224</td> <td>610</td> <td>4,117</td> </tr> </tbody> </table>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	81,872	50,209	こころ	446	95	13	3	105	99	21	子ども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	24,366	12,761	合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	106,337	62,991	区分	診療材料品目数				薬品品目数				5年度当初 契約数(a)	新規採用数 (b)	廃止数 (c)	契約数 (a+b-c)	5年度当初 契約数(a)	新規採用数 (b)	廃止数 (c)	契約数 (a+b-c)	総合	17,429	177	0	17,606	2,076	119	40	2,155	こころ	418	14	10	422	1,092	86	552	626	子ども	3,827	131	47	3,911	1,335	19	18	1,336	合計	21,674	322	57	21,939	4,503	224	610	4,117	A	診療材料は共同購入の取組を継続しており、一層の価格削減を進めているほか、令和4年度以降、燃料費の高騰を受け、電気料金が上昇していることから、3病院に空調・照明をはじめとした節電対策への呼びかけを行い、電気使用量について継続的に情報共有を図るなど、経費の削減に努めている。 (総合) 診療材料の値上げ物品増加に伴いなかなか価格交渉ができない中、共同購入では、切替活動を積極的にに行った結果、上期の還元額が50,209千円になり、前年同期より18,379千円増加となった。(こころ) 診療材料、薬品とも適正な在庫管理とコスト削減に努めている。9月末現在では薬品費、診療材料費ともに前年度より減少している。(子ども) 後発医薬品への切り替えに当たっては、小児病院の特性から、先発品との同等性を十分に確認することが必要であるため、安全性・使用性・生物学的同等性の視点を重視し、他の小児専門病院の採用状況を参考にしながら切替え候補品目を選定した。
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																													
総合	27,923	85,869	82,971	71,680	132,620	81,872	50,209																																																																																													
こころ	446	95	13	3	105	99	21																																																																																													
子ども	6,182	15,458	16,734	12,229	22,956	24,366	12,761																																																																																													
合計	34,551	101,422	99,718	83,912	155,681	106,337	62,991																																																																																													
区分	診療材料品目数				薬品品目数																																																																																															
	5年度当初 契約数(a)	新規採用数 (b)	廃止数 (c)	契約数 (a+b-c)	5年度当初 契約数(a)	新規採用数 (b)	廃止数 (c)	契約数 (a+b-c)																																																																																												
総合	17,429	177	0	17,606	2,076	119	40	2,155																																																																																												
こころ	418	14	10	422	1,092	86	552	626																																																																																												
子ども	3,827	131	47	3,911	1,335	19	18	1,336																																																																																												
合計	21,674	322	57	21,939	4,503	224	610	4,117																																																																																												
			116	④効率的な医療機器購入及び管理のための対策を実施する。	<p>各病院において、徹底した価格交渉や価格調査を行い、入札・見積合わせ等により競争性を確保することなどにより、効率的な購入及び管理に努めている。 価格交渉では事務局と連携して医師等自らも業者と交渉するほか、スケールメリットを生かした複数台購入も行っている。 価格調査では、他病院実績の調査や関係団体への照会、ベンチマーク調査により目安となる金額の把握を徹底し、適正な金額設計に生かしている。 医療機器保守委託では、3病院一括の契約を結ぶなど、機器に応じた契約や不要になった保守機器の随時の見直しを行いコスト低減を図っている。</p>	A	総合病院では、仕様の見直し、入札、見積合わせによる交渉の結果、今年度購入予定機器全体の予算に対して、約90,000千円の削減ができた。 3病院一括での契約については、保守の必要性が低下した機器につき、随時必要性の見直しを行い変更契約している。 引き続き各病院と連携し、コスト低減を図っていく。																																																																																													

中期目標	中期計画	年度計画	No	行動計画	業務の実績 (R5 暫定)	令和5年度(暫定)実績 自己評価																																																																																									
						暫定	説明																																																																																								
			117	④複数年契約や集約化等による契約方法の見直しを継続的に実施する。	<p>委託費の節減を図るため、契約更新時に引き続き一括化・複数年化を行うか適するか検討している。コスト削減による業務水準の低下を防ぐため、一部の委託については、定期的にモニタリング（委託業者の業務を評価）を行い、質の維持・向上を図っている。</p> <table border="1"> <caption>5年度 委託契約等の見直し状況 (単年度ベース・令和5年度9月末時点) (単位：千円)</caption> <thead> <tr> <th>業務名(連携)</th> <th>連携先</th> <th>年数</th> <th>期間</th> <th>種類</th> <th>令5決算額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>感染症産業廃棄物処理業務委託</td> <td>3病院</td> <td>3年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>単価</td> <td>64,758</td> </tr> <tr> <td>隊員講習費用</td> <td>3病院</td> <td>3年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>単価</td> <td>104,128</td> </tr> <tr> <td>消防設備点検業務委託</td> <td>3病院</td> <td>3年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>10,658</td> </tr> <tr> <td>設備管理業務委託</td> <td>心・子</td> <td>3年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>9,884</td> </tr> <tr> <td>医療機器等保守点検業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>274,197</td> </tr> <tr> <td>放射線機器保守管理業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>234,834</td> </tr> <tr> <td>ビームライン医療機器保守業務委託</td> <td>総・子</td> <td>1年</td> <td>令和5.4～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>85,293</td> </tr> <tr> <td>構築基準等の定期報告業務委託</td> <td>3病院</td> <td>1年</td> <td>令和5.5～令和6.3</td> <td>定額</td> <td>6,600</td> </tr> <tr> <td></td> <td>合 計</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>799,332</td> </tr> </tbody> </table> <p>5年度 委託モニタリング評価結果 (令和5年度9月末時点)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>第1期</th> <th>第2期</th> <th>第3期</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>達成</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>区分</td> <td>第1四半期</td> <td>第2四半期</td> <td>第3四半期</td> <td>第4四半期</td> </tr> <tr> <td>達成</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>整備(心・子)</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>改善(心・心)</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> <td>可</td> </tr> </tbody> </table> <p>※業務に関するアンケートや業務提案の有無などにより業務内容の評価。 ※○%：業務実績が不良だったため、契約に基づき委託料を一部減額したものの</p>	業務名(連携)	連携先	年数	期間	種類	令5決算額	感染症産業廃棄物処理業務委託	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	単価	64,758	隊員講習費用	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	単価	104,128	消防設備点検業務委託	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	定額	10,658	設備管理業務委託	心・子	3年	令和5.4～令和6.3	定額	9,884	医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令和5.4～令和6.3	定額	274,197	放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令和5.4～令和6.3	定額	234,834	ビームライン医療機器保守業務委託	総・子	1年	令和5.4～令和6.3	定額	85,293	構築基準等の定期報告業務委託	3病院	1年	令和5.5～令和6.3	定額	6,600		合 計				799,332	区分	第1期	第2期	第3期	達成	可	可	可	区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	達成	可	可	可	可	整備(心・子)	可	可	可	可	改善(心・心)	可	可	可	可	A	複数病院で集約化した委託費等の契約は20件、うち複数年化を行ったものは、16件に上っており、一括化・複数年化による費用削減及び事務の簡素化につながっている。医事や警備を始めとした一部の委託については、定期的にモニタリング(委託業者の業務を評価)を行い、質の維持・向上が図られている。
業務名(連携)	連携先	年数	期間	種類	令5決算額																																																																																										
感染症産業廃棄物処理業務委託	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	単価	64,758																																																																																										
隊員講習費用	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	単価	104,128																																																																																										
消防設備点検業務委託	3病院	3年	令和5.4～令和6.3	定額	10,658																																																																																										
設備管理業務委託	心・子	3年	令和5.4～令和6.3	定額	9,884																																																																																										
医療機器等保守点検業務委託	3病院	1年	令和5.4～令和6.3	定額	274,197																																																																																										
放射線機器保守管理業務委託	3病院	1年	令和5.4～令和6.3	定額	234,834																																																																																										
ビームライン医療機器保守業務委託	総・子	1年	令和5.4～令和6.3	定額	85,293																																																																																										
構築基準等の定期報告業務委託	3病院	1年	令和5.5～令和6.3	定額	6,600																																																																																										
	合 計				799,332																																																																																										
区分	第1期	第2期	第3期																																																																																												
達成	可	可	可																																																																																												
区分	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期																																																																																											
達成	可	可	可	可																																																																																											
整備(心・子)	可	可	可	可																																																																																											
改善(心・心)	可	可	可	可																																																																																											
			118	⑤弁護士事務所への未収金回収業務委託を活用し、未収金の縮減、効率的な回収を実施する。 ⑥未収金に関する研修や、弁護士事務所への相談等により、事務担当者のレベルアップを図る。	<p>平成24年度から弁護士法人へ委託先を変更。</p> <table border="1"> <caption>未収金回収実績 (弁護士事務所委託分) (単位：百万円)</caption> <thead> <tr> <th>年度</th> <th>新規</th> <th>回収額</th> <th>累計回収率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>24～28年度</td> <td>186</td> <td>88</td> <td>47.5%</td> </tr> <tr> <td>29年度</td> <td>38</td> <td>17</td> <td>47.1%</td> </tr> <tr> <td>30年度</td> <td>23</td> <td>16</td> <td>49.4%</td> </tr> <tr> <td>元年度</td> <td>26</td> <td>20</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>2年度</td> <td>30</td> <td>16</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>3年度</td> <td>24</td> <td>12</td> <td>52.0%</td> </tr> <tr> <td>4年度</td> <td>32</td> <td>17</td> <td>52.1%</td> </tr> <tr> <td>5年度9月末</td> <td>11</td> <td>8</td> <td>52.7%</td> </tr> </tbody> </table>	年度	新規	回収額	累計回収率	24～28年度	186	88	47.5%	29年度	38	17	47.1%	30年度	23	16	49.4%	元年度	26	20	52.0%	2年度	30	16	52.0%	3年度	24	12	52.0%	4年度	32	17	52.1%	5年度9月末	11	8	52.7%	A	累計回収率については、令和元年度以降50%を超えており、令和5年9月末時点で52.7%となった。 平成23年度以前に委託していたサービスの回収率が20.4%であったのに対して、高い回収率を維持している。																																																				
年度	新規	回収額	累計回収率																																																																																												
24～28年度	186	88	47.5%																																																																																												
29年度	38	17	47.1%																																																																																												
30年度	23	16	49.4%																																																																																												
元年度	26	20	52.0%																																																																																												
2年度	30	16	52.0%																																																																																												
3年度	24	12	52.0%																																																																																												
4年度	32	17	52.1%																																																																																												
5年度9月末	11	8	52.7%																																																																																												
第4 財務内容の改善に関する事項	第4 予算、収支計画及び資金計画	第5 予算、収支計画、資金計画及び収支予算等	—	—	—	—	—																																																																																								
<p>業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすること。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握するとともに、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図ること。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図ること。</p>	<p>「第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置」で定めた計画を確実に実施することにより、業務運営の改善及び効率化を進めるなどして、第3期中期目標期間を累計した損益計算において、経常収支比率を100%以上とすることを目指す。</p> <p>業務運営に当たっては、日頃から経営状況を的確に把握し、社会保障制度の見直しや診療報酬制度の改定など、病院経営に大きく関わる環境変化に対しても適切な対応を図り、経営情報を職員が共有するなど、職員全員の経営意識の向上に努める。これら取組を通じて、中長期的な病院運営の健全化や経営基盤の強化を図る。</p>	<p>・新規施設基準取得などによる増収への取組みと業務見直しによる支出節減への取組みを効率的に進めることにより、各年度での3病院黒字化を図る。</p>	119	—	<p>各病院(経営)</p> <table border="1"> <caption>経常収支の状況 (単位：%)</caption> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>4年度</th> <th>5年度9月末</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>総合</td> <td>100.4</td> <td>100.8</td> <td>100.6</td> <td>100.6</td> <td>102.4</td> <td>100.9</td> <td>98.5</td> </tr> <tr> <td>こころ</td> <td>113.3</td> <td>112.9</td> <td>103.1</td> <td>108.6</td> <td>106.8</td> <td>103.9</td> <td>98.6</td> </tr> <tr> <td>こども</td> <td>103.1</td> <td>103.4</td> <td>101.4</td> <td>102.3</td> <td>102.9</td> <td>100.6</td> <td>92.7</td> </tr> <tr> <td>機構全体</td> <td>101.9</td> <td>102.2</td> <td>100.9</td> <td>101.5</td> <td>102.7</td> <td>101.0</td> <td>97.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>目標：第3期目標期間を累計した損益計算において経常収支100%以上</p>	区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末	総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.9	98.5	こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	103.9	98.6	こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	100.6	92.7	機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.0	97.0	B	第3期中期計画(令和5)の最終年度となる令和5年度は、コロナ禍後の患者の受診行動の変化や、エネルギー価格の高騰・物価の高騰による経費の増加等により、経常収支比率は100%を下回る見込みである。																																																
区分	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	4年度	5年度9月末																																																																																								
総合	100.4	100.8	100.6	100.6	102.4	100.9	98.5																																																																																								
こころ	113.3	112.9	103.1	108.6	106.8	103.9	98.6																																																																																								
こども	103.1	103.4	101.4	102.3	102.9	100.6	92.7																																																																																								
機構全体	101.9	102.2	100.9	101.5	102.7	101.0	97.0																																																																																								

用語 (50音順)	解 説
ACT	ACTとは、Assertive Community Treatment(包括型地域生活支援プログラム)の略で、重い精神障害を持つ人たちに対して、住み慣れた地域で支援する、集中型・包括型ケースマネジメントプログラム。
CCU	CCUとは、Coronary Care Unitの略で、冠疾患集中治療室と呼ばれ、主に心筋梗塞などの冠動脈疾患の急性危機状態の患者を収容し、専門の医師・看護師により、厳重な監視モニター下で持続的・集中的に管理・治療する部門。 ※こども病院では、CCUをCardiac(心臓病の)ICUと位置付けている。
DMAT	DMATとは、Disaster Medical Assistance Teamの略で、医師、看護師、業務調整員(医師・看護師以外の医療職及び事務職員)で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)に活動できる機動性を持ち、専門的な訓練を受けた医療チーム(DMAT:ディーマツト)
DPAT	DPATとは、disaster psychiatric assistance teamの略で、大規模災害発生後、被災地域に入り、精神科医療及び精神保健活動の支援を行う災害派遣精神医療チーム(DPAT:ディーパツト)
DPC	DPCとは、Diagnosis Procedure Combinationの略で、診断群分類のこと。これに基づく診断群分類包括評価(しんだんぐんぶんるいほうかつひょうか)により、日本の急性期入院医療費の定額支払制度が平成18年から(試行は平成15年から)運用されている。(総合:H20.7導入、こども:H21.7導入)
ESCO	ESCOとは、Energy Service Companyの略で、1970年代アメリカで始まり、1990年代後半に日本に導入された省エネ化を目指す事業で、省エネルギーに関わる一連の業務を一括して請け負うことや、計画した省エネ効果が出なかった場合、省エネ相当分を顧客に補償する義務を負うことなどが特徴。
HCU	HCUとは、High Care Unitの略で、集中治療室に準ずる機能を持つ高度な治療室。看護配置数は集中治療室の1/2であるが、一般の病棟よりはるかに多いため両者の中間に位置する病室。集中治療室から一般病棟への転室は落差が大き過ぎ、移行が難しいため、一般病棟への移行を円滑に行うために設置される。手術後の患者や集中治療を脱した重症患者の経過観察を受け持つことが多い。
ICU	ICUとは、Intensive Care Unitの略で、集中治療室と呼ばれ、内科系・外科系を問わず呼吸、循環、代謝そのほかの重篤な急性機能不全の患者を収容し、強力かつ集中的に治療看護を行う部門。
IMRT	IMRTとは、Intensity Modulated Radiation Therapyの略で、強度変調放射線治療を言い、コンピュータの助けを借りて正常組織への照射線量を抑えつつ、腫瘍部分に放射線を集中して照射することができる放射線治療である。
m-ECT	m-ECTとは、修正型電気けいれん療法で麻酔科医による全身麻酔の下、筋弛緩剤の投与により体幹のけいれんを起こさせないもので、うつ病、躁うつ病、統合失調症などの治療に用いられており、従来の有けいれん療法に比べ、安全で有効な治療法とされている。
MFIUCU	MFIUCUとは、Maternal Fetal Intensive Care Unitの略で、重い妊娠中毒症、前置胎盤、合併症妊娠、切迫早産や胎児異常など、ハイリスク出産の危険度が高い母体・胎児に対応するための設備と医療スタッフを備えた集中治療室
Mitra Clip	Mitra Clip(マイトラクリップ)とは、手術リスクの高い僧帽弁閉鎖不全症患者に対して行う経カテーテル僧帽弁クリップ術である。2003年にヨーロッパで始まり、欧米を中心に6万人以上の治療実績を有する。日本では2017年10月に認可があり、全国12施設で約300症例に対して治療が行われている。
MSW	MSWとは、Medical Social Workerの略で、疾病を有する患者が、病気になることで生じる生活上の様々な困難に対して、自立した生活を送ることができるように、社会福祉の立場から、患者の生活全体を支援していく専門家のこと。

用語 (50音順)	解 説
N I C U	N I C Uとは、Neonatal Intensive Care Unitの略で、未熟児をはじめとするハイリスク新生児は専門的な医療機関で集中治療・管理する必要があり、このような医療を展開する場所全体を一般的に広義の新生児集中治療室と呼んでいる。
P C I	血管に刺入する管（カテーテルという）を用いて冠動脈疾患に様々な治療を行うことを総称して（経皮的）冠動脈インターベンション（PCI）と呼ぶ。 風船療法（カテーテルの先端の風船（バルーン）で狭窄した冠動脈を拡げる）や経皮的冠動脈ステント留置術（拡げた冠動脈にステントという金属のコイルを内側に張り付けて血管を支え再狭窄を防ぐ）やDCA（カッターで狭窄病変部位を削り取り拡げる治療法）やローターブレードというドリルのような先端を回転させて病変を削り取るなどの治療法がある。
P E T	P E Tとは、Positron Emission Tomography（ポジトロン・エミッション・トモグラフィ）の略で、PET検査とは、陽電子（ポジトロン）を放出する放射性核種（ポジトロン核種）で標識した薬剤を静脈から注射して、細胞の活動状態を画像化する診断技術である。 がん等の診断、治療効果・治療後の経過観察に有用な最先端の検査法で、同様にがんの早期発見にも有用である。
P I C U	P I C Uとは、Pediatric Intensive Care Unitの略で、小児集中治療室と呼ばれ、専属の専門医が配置され独立病棟として24時間小児重症患者を受け入れている。
P S W	P S Wとは、Psychiatric Social Workerの略で、精神保健福祉士と言い、社会福祉学を学問的基盤として、精神障害者の抱える生活問題や社会的問題の解決のための援助や、社会参加に向けての支援活動を通じて、患者を支援していく専門家のこと。
S P D	S P Dとは、Supply Processing Distributionの略で、物品・物流の包括的管理業務のことを指す。物品の発注、検収、入庫、払出、搬送、格納、出庫、在庫確認、棚卸を一元管理すること。
T A V I	T A V I（タビ）とは、Transcatheter Aortic Valve Implantationの略で、「経カテーテル大動脈弁置換術」と言い、重症の大動脈弁狭窄症に対する手術療法である。T A V Iは、胸を開かずに、心臓が動いている状態で、カテーテルを用いて人工弁を患者の心臓に装着する治療法である。
医療観察制度	心神喪失又は心神耗弱の状態で大変な他害行為を行った人を対象として、国の責任による手厚い専門的な医療と、退院後の継続的な医療を確保するための仕組み等によって、その円滑な社会復帰を促進することを目的とした制度であり、こころの医療センターにおいては、平成21年3月24日付で指定入院医療機関指定書（東海北陸厚生局長指定、第0004号）により指定入院医療機関として指定された。
医療ビッグデータ	医療ビッグデータとは、人の健康、病気、治療等に関するビッグデータを言い、レセプトデータ、電子カルテ等に記録された診療データ、特定の疾患に関する臨床データ、薬局における調剤データ、健康診断データ等があげられる。
がんゲノム医療	がんゲノム医療とは、がんの組織を用いて多数の遺伝子を同時に調べ（がん遺伝子パネル検査）、遺伝子変異を明らかにすることにより、一人一人の体質や病状に合わせて治療等を行う医療である。
看護師修学資金制度	当機構への就職を希望する看護学生に対して、資質の向上に資することを目的に修学資金（月5万円）を貸与する制度のこと。なお、当機構に看護師として就職した期間に相当する額の返還が免除される。 また、既に静岡県外の病院等から貸与を受けている同種の修学資金に対して、借り換えをするための資金（返還資金）を貸与するメニューも用意している。

用語（50音順）	解 説
緩和ケア	主に治癒を目的とする治療ではなく、全人的なケアで、痛み、その他の症状コントロール、心理面、社会面、精神面のケアを行うもの。
がんセンターボード	がんの症例について、手術・化学療法・放射線治療・緩和医療、画像診断、病理診断等、院内のがん診療・診断に携わる医師をはじめ、看護師、薬剤師等関連する専門職が、診療科や職種の垣根を越えて一堂に集まって、さらに連携する地域の医療者（医師会の医師、看護師、薬剤師、訪問看護師、介護関係職等）にも参加してもらい、それぞれの専門的な知識・技能を集約して、がん患者の症状・状態や治療法・治療方針等の情報を共有して意見交換し、最適な治療方針を協議・決定する場のことを言う。
クリニカルパス	クリニカルパスとは、ある病気の治療や検査に対して、標準化された患者様のスケジュールを表にまとめたもので、1つの治療や検査ごとに1つずつ作られている。クリニカルパスには、病院用、患者様用と2つ準備されており、患者用クリニカルパスには、「入院診療計画書」として、患者が入院してからの食事や処置、検査・治療、そのための準備、退院後の説明等が日ごとに詳しく説明されている。
クロザピン	クロザピンは抗精神病薬で、H21.4月に製造承認され、7月より発売開始となった。クロザピンの使用にあたっては、高い治療効果の反面、重篤な副作用（白血球の減少）が報告されていることから、安全管理体制の整備が義務付けられている。
ゲノムコホート研究	コホート研究とは、ある特定の集団を一定期間にわたり追跡し、生活習慣等の環境因子や遺伝的要因と疾病発症との関係を解析するための研究である。ゲノムコホート研究は、遺伝子型と疾病発症との関係を解析する研究である。
コーディング	疾病や手術、検査などをコード化する仕事。 最近、病院では診療情報を活用するために、あるいはDPCやがん登録などの国の制度の義務付けにより、標準化されたコードへのコーディングとそのシステムへの登録が必要となり、そのためコーディングする人の需要が、増えている。正しいコーディングのためには、コード体系の知識とともに医学知識やカルテを読み解く能力が要求される。 疾病のコーディング：膝の関節炎⇒M13.96（Mは骨・筋肉などを示す。13は関節炎を示す。9は詳細不明を示す。6は膝を示す）
コメディカル	薬剤師・診療放射線技師・臨床検査技師・歯科衛生士・理学療法士・作業療法士などの、医師・看護師以外の医療従事者の総称のこと。
紹介率・逆紹介率	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介率とは、初診患者のうち、他の医療機関から紹介状により紹介された患者の数が占める割合のことである。 紹介率＝（初診患者のうち紹介患者数）÷初診患者数×100</li> <li>逆紹介率とは、地域医療支援病院の全患者のうちから他の医療機関に紹介した者で、診療情報提供料を算定したもの数（同一人に複数回又は複数紹介先算定の場合あり）と、初診患者の総数との比較のことである。 逆紹介率＝逆紹介患者数÷初診患者数×100</li> </ul>
初期臨床研修医 後期臨床研修医	免許取得の後に、臨床研修の名で上級医の指導の下に臨床経験を積む卒業後教育が制度化された。病院独自に「前期・後期研修医」の名称を使用することがあるが、研修医（広義、1-5年目程度）＝研修医（狭義、＝前期研修医、1-2年目）＋後期研修医（3-5年目程度）としていることが一般的である。 一般に「研修医」の語を使う場合、「前期研修医」を指す。後期研修医とほぼ同義の語として、専修医、修練医、などがあるが、各々の病院独自のものである。

用語（50音順）	解 説
新専門医制度	<p>新専門医制度とは、平成29年度以降に専門研修を開始する医師を主な対象として開始を予定していた制度で、今まで各学会が独自に定めた基準により認定をしていた専門医資格を、中立的第三者機関である日本専門医機構が統一的に専門研修プログラムの審査・承認を行い、承認を受けたプログラムに基づいて専門研修施設群がカリキュラムの修了を判定。その判定をもとに日本専門医機構が専門医の認定を行うものとされていたものである。</p> <p>ただし、医師の地域偏在への懸念が解消されなかったことから1年の延期が決定された。（小児科学会（小児科専門医）はH29より先行実施）</p>
心理教育・家族教室	<p>心理教育とは、精神障害やエイズなど受容しにくい問題を持つ人たちに、病気に関する必要な基礎知識を提供するとともに、療養生活を営む自信と地域で暮らしていく力量を身につけ、医療機関で提供される各種リハビリテーションプログラムや、地域の援助プログラムを主体的に利用することを促すことによって、医療機関における治療や援助から、精神障害者を日常的に支える地域リハビリテーションへの連続的な移行を目指して行う支援法のこと。</p> <p>患者の家族だけを対象に行う支援を家族教室と言う。</p>
心理・社会的治療	<p>精神科における薬物療法と電気けいれん療法以外の心理療法的プログラムの総称で、多職種のチーム医療が原則である。</p> <p>デイケア、作業療法、認知行動療法、心理教育・家族教室、ACTなどの各種治療法を含む。</p>
診療情報管理士	<p>診療情報管理士とは、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）及び医療研修推進財団が付与する民間資格のこと。</p> <p>主な業務内容として、診療録の物理的な管理や内容の精査を行う「物の管理」、診療情報をコーディングするなどしてデータベースを構築する「情報の管理」、構築されたデータベースから必要な情報を抽出・加工・分析する「情報の活用」がある。</p>
ステントグラフト内挿術	<p>ステントグラフト内挿術とは、大動脈瘤に対する手術療法で、胸部、腹部を切開することなく足の付け根の血管から人工血管（ステントグラフト）を大動脈瘤内に誘導して蓋をする治療法である。</p>
精神科リエゾンチーム	<p>リエゾンとはフランス語で連携、連絡を意味する言葉である。精神科リエゾンチームとは、身体疾患に伴うさまざまな精神症状を有する患者に対して、身体科及び精神科の医師、看護師、公認心理師、精神保健福祉士等の連携による専門チームが高度な精神科治療を提供するものである。</p>
ダ・ヴィンチ	<p>3D画像を確認しながら、離れた場所からロボットアームを操作して内視鏡下手術を行うもので、皮膚切開を最小限にすることで、患者の負担をできるだけ抑えることが可能（術中の出血量が少ない、術後の疼痛が少ない）。</p>
地域医療支援病院	<p>1997年（平成9年）4月の医療法の第3次改正で制度化された医療機関の機能別区分のひとつ。</p> <p>目的としては、地域の病院、診療所などを後方支援するという形で医療機関の役割分担と連携を目的に創設された。都道府県知事によって承認される。</p> <p>（承認要件）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・病院の規模は原則として病床数が200床以上の病院であること。</li> <li>・紹介率及び逆紹介率が基準を満たしていること。</li> <li>・他の医療機関に対して高額な医療機器や病床を提供し共同利用すること。</li> <li>・地域の医療従事者の向上のための生涯教育等の研修を実施していること。</li> <li>・救急医療を提供する能力を有すること。</li> </ul>
地域医療連携推進法人	<p>地域医療連携推進法人とは、地域において良質かつ適切な医療を効率的に提供するため、病院等に係る業務の連携を推進するための方針（医療連携推進方針）を定め、医療連携推進業務を行う一般社団法人を都道府県知事が認定（医療連携推進認定）する制度である。</p>

用語 (50音順)	解 説
地域連携クリニカルパス	病院の医師と診療所の医師、疾患によってはリハビリ施設など地域の医療提供施設が役割分担して連携して患者を診る仕組みの中で、疾患別に、以降の診療予定をスケジュール表の形式で表わしたもの。患者は診療所にいつ受診し、病院にいつ受診し、あるいはリハビリ施設にいつ受診し、どういう治療を受けるのかが分かり、医療施設は患者の診療の進捗管理をし、施設間で情報を共有するために使われる。診療報酬点数表上では、疾患が限られているが、「地域連携計画書」といい、計画管理料や退院時指導料等が算定できる。
頭部冷却装置 (PAXMAN)	がん薬物療法に伴う脱毛抑制を目的とした頭部冷却装置 頭皮冷却を継続的に実施すると頭皮血管が収縮し、毛包への抗がん剤量の到達を減少させることが可能になる
ドクターカー	平成20年4月25日に道路交通法施行令の一部が改正され緊急自動車の指定対象に追加された乗用車型のドクターカー（患者搬送のための特別な構造又は装置を有しない医師派遣用自動車）。静岡市消防局の要請により「ドクターカー」に当院の救命救急センターのスタッフが搭乗し、災害や事故の現場に急行したり、搬送途中の救急車とドッキングして治療を開始する。
認知行動療法	認知行動療法とは、人間の気分や行動が認知のあり方（ものの考え方や受け取り方）の影響を受けることから認知の偏りを修正し、問題解決を手助けすることによって精神疾患を治療することを目的とした精神療法であり、2010年から、一部保険点数化がされた。
認定看護師	認定看護師とは、日本看護協会及び日本精神科看護協会の認定看護師認定審査に合格し、ある特定の看護分野において、熟練した看護技術と知識を有することを認められた者をいい、水準の高い看護実践を通して看護師に対する指導・相談活動を行う者をいう。
ハイブリッド手術室	据置型血管撮影装置（アンギオ）を設置した手術室であり、カテーテル血管内治療と外科的手術の双方に対応が可能。 ・合併症などの緊急時の対応が可能。（カテーテル治療から外科的手術への移行） ・手術のみでは到達困難な部位に対する治療が可能。 ・カテーテルのみでは治療できない緊急時の病変に対しても外科的手術を同時に行うことで対応が可能。 ・鮮明な透視画像により治療精度が向上
バンコマイシン耐性腸球菌 (VRE)	バンコマイシンに対する薬剤耐性を獲得した腸球菌 (VRE)
リニアック	リニアックとは、日本語では「直線加速器」といわれるもので、荷電粒子を一直線上で加速させて発生した放射線を当てることで、がんなどの治療をする機器です。 多方向からピンポイントで放射線を当てることにより、正常組織への放射線の照射量を低減し、腫瘍部分の放射線量が高くなり細胞を死滅させる治療方法。
レスパイト	レスパイト(レスパイトケア)とは、患者や要介護者等を在宅で日常的にケアしている家族を、他の者がケアを代替することで一時的にケアから解放させ、休息させる家族介護者支援のこと。
レジデント	初期臨床研修医はジュニアレジデント、初期レジデント、スーパーローテーターなどと呼ばれ、それ以降に専門科での研修を行うものを単にレジデントと呼んだり、後期研修医、後期レジデント、シニアレジデント、専攻医などと呼ばれている。